滿洲日報
發行人　編輯人　印刷人
發行所　大連市東公園町　株式會社滿洲日報社
定價　一ケ月金一圓二十錢　郵稅金十五錢　一部金五錢
廣告料　普通一行金一圓三十錢　特別一行金二圓六十錢

和平交渉により根本的に解決したい
わが軍使との會見以前に馬占山と語る

【海倫特電八日發】馬占山と胸襟を開き黑省問題を平和裡に解決のため身に寸鐵をも帶びず馬占山の本據地海倫訪問の我軍使その他一行十九名は準備その他のため四時間を遲れ七日夜八時二十分目的地海倫到着、謝黑軍參謀長、劉民政廳長等の出迎へをうけ物凄い戒嚴令下を通過、會見場所[illegible]に落ついた、午前零時馬占山は十數名の新兵を隨へ應接室に現はれた　彼は一見四十五、六身長五尺足らずの小男、黑色の粗末な支那服を身につけチチハル以來の心痛に面やつれ我軍使その他に挨拶記者請ひを入れ快よく語る

日支兩軍は非常な誤解から事端を起したがこれは戰爭ではない、黑軍は日本側との衝突を決して欲しては居なかつた、大興、三間房方面の衝突は余の命令が部下に徹底せず黑省の不幸を招來した、東四省は日支共存共榮飽まで平和裡に收めて行かねばならぬ、現在のまゝ放任出來ぬ、和平交渉により平和に解決したい、日本新聞通信社の力により日支兩國民の敵視感情を知らず、誤解原因を追究、黑省のみならず滿洲問題を根本的に解決し度い、張景惠氏は余に使者を送り平和解決を希望して居る、余も贊成だ、余は日本と敵對するを好まぬ、一兩日來風邪で遠來の客を出迎へなかつた點は幾重にも御詫びする

記者との會見を終へ別室に我軍使に膝を交へ胸襟を開き同寄時三十分より黑省解決の大問題を討議した、圓滿妥協か、物別れか、三時間に亙る重要會見は終つた、馬占山は所信を遺憾なく打ちあけ意思の疏通出來た模樣で同三時會見は終を告げたがわが軍使は語る

馬は物判りのよい男だ、黑龍江省の反抗態度は本人の意思ではない、會見の內容は滿足だといふ外に語れぬ

馬は今回の會見により滿足な意思の疏通を見たので二週間內にチチハル入城の決意を固め八日朝秘書謝康を張景惠の許に送り具體的の打合せ中、圓滿解決の日は近い【寫眞は馬占山】

張學良の勢力は一切滿洲に存在を許さず
錦州の現狀維持は絕對に反對　外務省から强硬訓電

【東京八日發】七日の理事會十二國代表會議で錦州地方中立地帶設置案を放棄し錦州地方の現狀維持を勸告するに決したとの報道に對し外務當局は左の如く言明した

理事會が中立地帶案を放棄するは日本政府が同問題を日支兩國直接交渉で解決せんとする建前とも一致する處であつて、放棄に關する限り異論はないが**錦州地方の現狀維持を勸告する事は現在の錦州地方の不安狀態を繼續せしむる事となる、**卽ち錦州地方には舊奉天軍が集結し前面に馬賊が跳梁して日本軍に對し依然不穩の行動に出んとして居り聯盟の認むる如く若し日本軍が馬賊討伐をなす場合延いては奉天軍の主力との衝突を惹き起さぬとも限らぬ、この惧れを避けるためには舊奉天軍の關內撤退は飽くまで必要であると同時に**錦州政府を解消し同政府をも撤退せしめねばならない、**卽ち張學良の勢力が滿洲に復歸する可能性のある限り滿洲の治安維持は不可能であるからだ尙外務省は强硬反對するやう芳澤大使に訓電を發する筈

軍部も絕對反對

【東京八日發】聯盟理事國十二ケ國代表は錦州中立地帶案を放棄するに決したが右に就き陸軍側の意向は左の如くである

錦州中立地帶の問題は最初から理事會の問題でなく支那側が英佛兩國を通じて我國に提案して來たものである從つて理事會が中立地帶案を放棄する必要もなく又錦州方面に於ける現狀の維持を勸告する事は事實に反する偏頗の措置である卽ち支那側は現狀を維持すれば錦州にある支那軍は現狀の儘となり此處を策謀地として今後に於いても滿鐵沿線の治安は破壞される譯で軍部としては勸告であつても之には絕對に反對である

委員一行は四、五十名
調査地は全支の一流都市

【東京八日發】支那調査委員會の構成は未定であるが既に呼聲高きはフランスペタン將軍、ドイツゾルフ前駐日大使、イタリーアエルツチイ前駐支公使、アメリカモンロー又はデービス前海軍次官でイギリスからは一流法律家が選ばれる筈、なほ日本側補助員には永井外務次官、松田條約局長、有吉ブラジル大使等が噂されてゐる、而して各國委員共隨員を從へて結局四五十名の多數が一團となつて派遣されるべく調査地も上海、南京、漢口、北平、天津、奉天、ハルピン等一流都市に留まるであらう

調查委員權限請訓

【パリ七日發】決議案起草委員會は七日夜に入り匪賊討伐權に關する宣言形式を變更する事に決定した、卽ち日本側は一方的留保宣言も可なりといふ回訓案を伊藤氏が携へてセシル卿を訪へばセシル卿は日本の匪賊討伐權留保宣言に就ては南米理事國代表の反對あり起草委員會としては之を承認せず、元の如く匪賊に對する日本軍の行動の自由に就ては議長宣言の中に明記せよと主張するに至つた旨を告げた、而してこの方式によれば日本の軍事行動の自由は米案より直接的に理事會が認むる事となつた　なほ調査委員の報告規定に關しては

九月三十日の決議趣旨が實行されるや否やに就き理事會は調査委員會に對し報告提出を命ずる事を得べし

とする代りに

調査委員會は理事會に報告を提出する事を得

能動的なものとしたい意嚮で日本代表はセシル卿の希望により此等の點につき請訓した

匪賊討伐權は議長宣言にても可
わが外務當局の意見

【東京八日發】匪賊討伐權に關する日本側の留保を芳澤代表の一方的留保聲明とせず議長宣言とせんとする形勢になつたとの報我外務省にはまだ何等の報がないが外務省としては斯る事はあり得るものと觀て居り何れにしても大體差支ないとの方針の樣である

匪賊討伐自由
第五項目的對案の內容

【パリ七日發】七日の十二ケ國會議は所謂中立地帶設定案（但し現在は禁止地域と稱す）を放棄し更に決議草案第五項を修正する事となり大體日本の勝利となつたが此處に至つた經緯及び內容左の如くである、卽ち去る四日の十二ケ國會議で芳澤大使が質問に答へて「禁止地域は日支直接交渉に依つてのみ設定せらるべし且その地域は萬里長城迄擴大せらるべきである」と提示した、この問答が發表せらるゝや英代表は深き失望の念を發表したが十二ケ國會議は「理事會は禁止地域條項を全然放棄し日支兩國をして欲する處に委れるを可とす」との意見に一致した、然しブリアン氏は公開理事會における宣言において飽く迄錦州方面における事態が惡化せざる事を期待する旨を宣する筈である、一方セシル卿と日本側伊藤述史氏との間に審議された日本の修正案に對する對策に關し日本政府は之を受諾する旨回訓して來たのでこの結果今後日本軍が兵匪、土匪討伐をなすに當り中立國オブザーバーを附すべしとの案は消滅し、同時に日本代表は兵匪、土匪に對する行動の自由を宣言し且つこの點につき支那又は理事會の如何なる保留をも容認せぬ事となるべく又決議案第五項は新たに左の意味に修正される事となつた

調査委員會は理事會希望せば九月三十日の理事會決議の實施情況につき報告する事を要す

錦州軍の挑戰に對し壓力を加へる必要あり
芳澤代表ブリアン議長を說く

【パリ七日發】芳澤代表は本日午後三時半ブリアン議長を訪ひ會談三十分に及んだが、右會見において芳澤代表は、日本政府が支那側の提案を容れ、既に錦州地方より撤兵を實行したるにも拘らず**支那軍が依然同地方に占據して事態を惡化せしめつゝある事實を指摘し日支兩軍の衝突を避けるため支那側に對して壓力を加へるの必要**を說いた、更に中立地帶案に關しては中立地帶の境界協定のため現地において日支兩國間に直接交渉を行ふの必要を强調した

對日戰備を充實して錦州に依然大兵集結
正規兵別働隊八萬を擁す

【北平八日發】錦州方面の支那軍は逐次對日戰備を充實し錦州を以て東北軍最後の防禦地として愈々開戰の場合は打通線と北寧線は溝帮子以東を放棄し大凌河間の最堅固な陣地により項羽の破釜沈船の故智にならひ錦州の集結を固むる事とし榮臻麾下の正規兵三萬と別働隊五萬の大軍を擁し居り正面衝突は免れぬ形勢である

積極的に匪賊掃蕩　外務當局も諒解

【東京八日發】錦州軍最近の日本攻擊的大勢に關し陸軍は出來得る限り武力使用を避けるため外交交渉は今後も引續き行はしむるが、各地に横行してゐる馬賊に對しては從來の消極戰法を排し治安維持のため積極的に掃蕩を期するに決し七日外務省の諒解を得た

芳澤代表と午餐　理事國七氏

【パリ七日發】聯盟理事會は漸く日支紛爭解決案に到達し九日公開會議で調査委員六名を任命して一段落を告げることゝなつたが、七日午後所勞休養中のブリアン議長と所用缺席の支那、秘露、イタリー三國代表を除く理事國代表七氏は芳澤大使以下と午餐を共にし會議の骨折を語り合つた

北平市黨部の解散を要求
學生團押寄せて暴行

【北平七日發】北平各驛を占領して南京行列車の發車を强要した北平大學生團は遂にその目的を達して七日正午約一千五百名が乘車赴寧したが殘留せる學生六百名は發車後北平市黨部に押寄せ

一、南京で拘束されてゐる學生の釋放
二、施肇基、顧維鈞の免職
三、北平市黨部の解散

の三項を要求し遂に室內に入つて暴動を起し軍警のため五十名檢束され張學良の命令を俟つて處分する筈である、學生團が北平市黨部に反對した右現象は今回の學生の對日宣戰請願の南京行に同黨部が冷淡な態度を執つたためである、なほ學生團が室內に入るまで柔順にして室內に入るや暴行したのは過般南京で王正廷を毆打したのと同一手段で共產黨の遣り口であると注目されてゐる

援馬抗日學生　列車運行を妨害

【上海七日發】自ら進んで馬占山援助に東北に赴かんとする援馬抗日青年團は昨夜九時頃から鐵道當局に無賃乘車を交渉し既に列車內に進入占領したが、學生團の諸運動禁止令により之を絕對阻止すべしと嚴命し來つたため發車を取止め乘客に切符拂戻しをしたが學生は特別列車を出せと頑張り小雨降る寒氣も物かは夜を徹して動かず今朝五時半發の急行列車が發車せんとするやレールを枕に横たはり發車出來ず學生團も交渉らちあかずと見て遂に徒步にて南京に向ふ事になり今朝十時線路に沿ふて列を爲して出發した、鐵道側は十一時十五分始めて第一列車を出したが學生團にまたも妨害され引返し午後二時十七分再び發車したがこれがため運輸系統に大支障を來した

學生代表遂に北停車場を占領

【上海七日發】南京で監禁された北平學生代表の釋放と對日宣戰請願のため南京に赴かんとする各大學選拔學生救國團代表と青年團數百名は北停車場を占領し南京行無賃取扱ひを要求したが許されず、彼等は公安局巡査と對峙險惡な空氣を漲らしてゐる、青年團は郵務工會、基督教青年團を中心とする過激分子で蔣介石以下國民政府要人暗殺を決議した事實もありその南京入は最も危險視されるので公安局も頑强に之を阻止してゐる

李外交次長辭職は不許可

【南京七日發】外交次長李錦綸氏は辭表提出中の處國民政府命令を以て不許可となつた

張海鵬軍の兵力配備

張海鵬軍現在の配備は次の如くである

景星千五百、拐子城千三百、興隆川四百、泰來四百、五廟子百、街基四百、二龍索口五百、安廣百五十、洮南六百五十、開通六百、李家店三百、突泉二百、瞻榆四百、泰平川二百、蘇鄂公府百、合計七千二百名で洮南の六百五十、泰來の四百が步兵であるのを除く外は全部騎兵であろ、なほ張海鵬軍管下の馬賊は鐵東、東屏地方に登山を頭目とする約四百、索倫地方に報屯鞭軍の兵匪二百五十、瞻榆に大文字を頭目とする百五十、安廣地方に海紅を頭目とする二百五十等がある【四平街電話】

天津租界の戒嚴令を解く
桑島總領事から布告

【天津八日發】支那町は謠言依然流布され租界內居住民にも影響あるため桑島總領事は七日左の布告を發し人心の安定に努めてゐる

十一月二十六日來租界に戒嚴令施行され居りしところ十二月五日午前零時これが解かれるについては商民徒らに恐慌することなくその業に專念されんことを望む

増援隊着平

【北平八日發】天津駐屯軍の増援隊〇〇名は八日午後一時十分着列車で着平居留民の熱誠な歡迎を受けた

北寧線列車を匪賊が襲擊
全乘客の金品を掠奪　運輸課長ス氏も遭難

八日午後一時ごろ北寧線新民と柳家溝の中間において北平行き列車が十二名よりなる匪賊團の襲擊を受け乘客全部金品を掠奪された、その際北寧鐵路運輸課長スチイル氏も赤丸裸にされた【奉天電話】

西部沿線に兵變續發

【ハルピン八日發】海拉爾駐屯の蘇炳文の部下二百五十名は突如兵變を起し片ツ端から掠奪を行ひ武裝の儘何れかへ逃走したがハルピンの西の滿溝方面でも隊長を殺害して荒狂ひ東鐵西部沿線は今や馬賊と敗兵の跳梁の巷と化さんとしてゐる

漢口財界恐慌　排日貨の影響

【漢口七日發】反日排日貨から商人は經濟恐慌襲來に苦んでゐるが省政府の徵稅は益々苛酷となり最近湖北省內錢莊は苛斂誅求に倒產續出してゐる

增稅問題を協議
臨時行財政審議會

【東京八日發】臨時行財政審議會は時頭井上藏相より稅制整理案は收入の增減をしないで整理案を樹てるつもりであつたが、その後ドイツ經濟界の變化滿洲事變英國の金輸禁止により歲入が著るしく減じたので公債だけでは支辨する事不可能となり一時的增稅の止むなきに至つたと說明し續いて母木、片岡、加藤氏らの質問あり午後は一時半再開審議の結果

一、酒釀稅の部で味醂の原料として淸酒を使用する事を原則として認めず若し淸酒を混合酒として釀造した時は之れを混合酒として課稅す
二、今回の非常時特別稅（三年期限附增稅）はこれに地方附加稅を課せざる事
三、左の項を原案より撤回す
イ、所得稅原案中の所得稅調査委員會の市部郡部別制を廢止一稅務署一調査會とす
ロ、小笠原伊豆七島に所得稅法を施行す

其の他原案通り可決し午後三時散會九日の閣議に附して正式決定をなす筈である

陸軍首腦部對策協議
二宮次長報告

【東京八日發】二宮次長は八日午前十時南陸相を訪ひ報告をなしたる後十一時から首腦部會議を開き對滿政策につき協議した

廣東代表赴滬

【香港八日發】廣東四全大會で選出された中央執行及び監察委員は昨朝第二回連席會議を開き和平本會議に出席すべき代表に就き協議先づ孫科、陳友仁、李文範三氏を選拔せしめ上海で汪精衛、鄒魯等と對策協議の上南京に乘込む事となり右三代表は本日正午汽車で廣東から當地に來り今夜プレジデントクーリッヂ號で上海に向ふ筈で伍朝樞氏は暫く廣東に殘り形勢を觀望する模樣である

臨時艦艇の支那派遣費支出

【東京八日發】井上藏相は支那臨時艦艇派遣費補足（十一月分）十七萬千二百十五圓の第二豫備金支出の勅裁を經て八日官報で布告した

天津外紙正論

天津よりの來電によれば本月一日來天津英字新聞は時局に關し論說を揭載してゐるが七日B、Tタイムスは左の要旨の論說を揭げた

國際聯盟施代表及び顧維鈞は日を同じうして辭職を申出で聯盟も支那現狀を看破せるもの、如く、こゝにおいて支那側は一日も早く「面子」を維持し能はざることを自覺すればこれに過ぎたる幸福はない、この際支那のとるべき手段としては猶豫せず日本と直接交渉をなすか、錦州を固守するかの法あるのみで若し後者をとらんか北支那一帶をして戰時の狀態に陷いらしめるであらう【奉天電話】

軍部見舞ひに塚本長官北行

塚本長官は本庄軍司令官及び多門第二師團長、森獨立守備隊司令官以下朔北の原野に奮闘せる在滿將兵見舞ひのため十一日朝大連驛發急行にて室田秘書官、國警部巡査各一名を隨行北行の筈であるが、同日本庄軍司令官を訪問一泊して十二日遼陽に多門師團長以下を見舞ひ更に奉天に引返して一泊、十三日四平街に森守備隊司令官を訪問十四日午後一時二十七分奉天發同夜歸任するさ

英國から紡績機械購入契約

【南京七日發】國匪賠償金を引當とする英國よりの紡績機械購入の契約は實業部と英國財團との間に成立した

十河理事また入院

【大阪特電八日發】十河滿鐵理事は夫人同伴七日神戸上陸多數の出迎へを受け小憩の後神戸市葺合衞生病院に入院した、大體全快してゐるが人々の切なる勸告に隨ひ四五日の間同病院で靜養することになつたのであるさ

社說

警察力充實と其財源 恒久確保の方法如何

關東廳は事變に善處する應急の處置として、警察官の增員を行ふことになつたが、警察力の充實に就ては、此際基幹的に重要なる問題が横はつてゐる。夫れは軍隊撤退後の治安の維持である。今日威力ある軍隊の駐備してゐる間は可なるも、一朝原狀に復することになると、當然警察力に依りて一般の治安維持に當らねばならぬ。而して其範圍は當然擴大される。威力も亦隨つて强化されねばならぬ。その爲めには今日企てられてゐるが如き區々の增員では事足りないであらう。現狀から卽斷すれば、軍隊に代るべき警察力を要することになるが、軍は撤退迄に匪馬賊の掃蕩を行ふ筈であるから、自ら其の實力の程度は違ふけれども、相當有力な充實を行はざれば、實際に差したる治安の維持は至難である。勿論其增員充實の程度は、當局者に自ら成案があらうが、從來よりも二倍三倍の警察力を要することは何人も首肯し得る狀況である。

◇

貧弱なる關東廳の財政に於て直に此警官增員の大負擔に當ることは、問はずして不可能であるから、當面便宜の增員方法として、滿鐵の自警團費？負擔の如き案が生れるやうであるが、夫れよりも取急いで根幹的に、財政上確保し得べく充實計畫を立てる必要がある。其財政上の確保を理由づける財源の詮索は今後充實さるべき警察官の任務に對照して自ら決定さるゝであらうが、卽今の事態に對しては軍隊に代るべき警察官の任務として當然國庫の支辨に待つべきものである。軍事行動費を支出する國家は、又警察充實費をも支出すべしといふ理由が立つ。斯くして當面の警察機構を整へたる後、其任務を對照して、徐ろに財源の詮索＝經費の振當が行はるゝことを至當とする。關東廳や滿鐵だけが、獨り此爲めに苦惱するの要はない。軍事行動費の支出に吝ならざる政府は又警察官充實費に對しても容認すべき、略同一の事態と理由を認めればならぬ。

◇

當局は如何なる考を有するか知らぬが、假りに一萬人の警察官を增員するとして、一人一年當り千五百圓とすれば、合計一千五百萬圓の經費を要する。之れ正に財政上の重大問題である。軍事行動費は一時的のものであるけれども、警察費は恒久性を帶ぶるものとして、政府の苦惱が存するわけだが、併しながら滿洲の實情が、是れを要するといふ事實の前には、全く致方がない。今次事變のために警備地域が擴大し、又匪馬賊の多數を散在せしむることゝなり、更に鮮人＝邦人保護の徹底を期するがために、實際的要求が現はれてゐるとすれば、多額なりと雖も之を拒否する譯には行かぬ。故に當局は、實情を具して政府を動かし、現在並に將來の對策を完成せねばならぬが、假りに右の如く一千五百萬圓の年費を要するものとして、果して斯かる警察力の充實が效果的であるや否やは將來の財源の詮索に直接の交涉がある譯で、要は此の如き必要性と效果性とを兼備することに依つて、問題は直に解決し得る筈である。

◇

事變の前と後とによりて、我領域？が變つた譯ではないが、支那側が治安維持能力を缺くが故に、邦人の生命財產の保護のために、我警察行爲を必要とすることは、議論好きの國際聯盟でも承認してゐる。而して此狀態は今後も或期間——若くは永久的に——必ず續くものと見られるので、自然警察行爲——任務の地帶が擴大されることになる。誠に厄介千萬であるが、自衛的警察行爲のために、其範圍が廣くなるのだから、當然其實力を强化せしめざるを得ない。卽ち充實增員を有力に理由づけた所以である。更に、張學良氏が關內へ送つた奉天軍が改編を見ずして、敗走軍と同樣の事象を呈することにもならば、我警備線を脅威すべき匪馬賊は多數の動向を見ることになるし、更に所在の鮮人——邦人の保護を完うするには、隨分有力なる警察力を必要とする。而もこれ皆今回の事變を契機とする更生滿洲に對する我權益保持のために已むを得ざる事象であり、又必須の事態であるからは、其增加せる經費を負擔しても其警備を完くせねばならぬ。

◇

此の如くして、事變後の滿洲に對する我警務は、一段の任務を加へ負荷を增すことになるが今後財源詮索の對照となるべきものは果して何があるか。鮮人の保護のために朝鮮總督府の關心を有するは論なく、又其安定に依る間接の影響をも考察して政府は至大の關心を有する筈であるから、これ等の經費は政府として朝鮮總督府と聯關して第一に考慮すべきである。又現地に於ける警察官の任務のために、有形無形に受くる效果の均霑者は、當然其經費を負擔する義務あること言を俟たないから經濟的利益の伸張を見る受益者は、特殊の負擔を甘受すべきである。吾人は關東廳當局が、時局に對する警務に惱みつゝ、其要求する擴大强化の財源に苦むが如き樣を見て、甚だ同情を禁ぜざると共に、觀點を大にしては國家的に、又之を小にしては地方的に、自ら適當の源泉を詮索して、應急善處の方法を構究せんことを望むものである。

邪惡を掃蕩し 極樂土建立

自治指導部令と布告

【奉天】自治指導部では八日省城各縣に對し左記部令第一號並に布告第一號を以て自治指導部の根本精神は過去一切の惡を除き邪惡の思想の一掃を期するにある旨通達した

部令第一號

自治指導部組織成立しこゝに自治指導部條令並に自治指導部評議會章程を制定し爾今縣知事執行を指導監督することゝせり各縣にこれを令す

民國廿年十一月十日

地方維持委員會委員長　袁金鎧

自治指導部々長　于冲漢

布告

自治指導部の至誠天日の下に過去一切の苛政誤解迷想紛糾等を掃蕩し盡して極樂土の建立を志すにありこゝに盜吏あるべからず民心の離反又は反感不信等もさよりあらしむべからず、住民の何國人たるを問はず胸奧の大慈悲心を喚發せしめて信義を重んじ共敬相愛以てこの劃時代的天業を完成すべく至誠事に當るの襟懷と覺悟あるべし、謂ふところのアジア不安はやがて東亞の光となり全世界を光被し全人類間に至誠の大唱和を齎すべき瑞兆なり、こゝ大乘相應の地に史上未だ見ざる理想鄕を創建すべく全努力を傾くるは卽ち興亞の大源となり人種的偏見を是正し中外に悖らざる世界正義の確立を目差す旣に旣に三千萬民衆の吸血鬼は斃る、更に進一步して盜匪の影を沒せしめ暴政の殘黨を排除し惡稅を廢止せしめ贈收賄の惡弊を打破し產業交通の暢達を盡し宗敎、敎育を振興する等一々公明正大裡に運營せざる可らず

指導部は前途幾重の難關を前に大理想の實行者として無我の一道を邁進す、大眼目は善政の實施にありと雖も焦燥は避く可しご古來の制度および地方的事業などよく究め風俗民情を尊重し革む可きは革め存す可きは存し仁風靈氣、民心の歸投、火を睹るよりも瞭かなり、本部より漸次各縣に指導員を派し善政を行ふ縣民は安んじて其の指導を受く可し玆に布告す

因に自治指導部は九日同澤女子中學校跡に移轉し十日より事務開始の筈である

米議會開會 劈頭から緊張

【ワシントン七日發】米國第七十二議會は愈々本日から開會、上下兩院共共和民主兩黨の勢力伯仲せる事とて幾多の重大懸案を前途に控へて開會劈頭旣に非常なる緊張を呈し今後の波瀾重疊を豫想せしむるものがある、本日は議長選擧始め各種委員會を任命しただけで數分間にして散會した、旣に新議會には數千の法案が提出されたが重要法案は八日フーヴアー大統領によつて議會に與へらるべき敎書中に指示さるべく、兩院とも主として世界不況に對應すべき經濟政策について論議の花咲かんとするであらう【安東電話】

ボンド爲替 大暴落

【東京八日發】ボンド爲替は歐洲大陸市場賣物續出のため連日軟調を辿つてゐるが八日入電の米英クロスは三弗二十五仙四分の三と四仙四分の三方暴落十年來の安値を現出した、よつて正金では對英建値を八分の五方引上げ三シル零ペンス四分の一に引上げた右建値は我國幣制確立以來の最高値である

國債現在高

【東京八日發】大藏省發表十一月末の國債現在高（單位千圓）

內國債	四、四八六、七三七
外國債	一、四七七、三三四
計	五、九六四、〇七二
外に	
大藏證券	一七五、〇〇〇
米穀證券	五九、七一四

全滿一齊に 市民大會を開催

聯合大會の決議によつて 時局後援會が主催

在滿日本人時局後援會では八日午後四時三十分から市役所會議室において常任及び實行委員會を開催相川委員より奉天で開催された時局聯合大會の報告あり、仙波委員よりこれを敷衍し時局聯合大會で決議された特別委員五名、政府問責委員州內より三名各決定の件は九日午後三時より更に常任委員會を開いて協議する事とし倘みぎ時局聯合大會の決議に基き十日全滿各都市一齊に開く市民大會には大連に於ても同樣市民大會を開催に決定し同五時三十分閉會した

安東で時局後援演說會開催

全滿一齊に擧行される時局後援演說會に際し安東に於てもこれと行動を共にして十日午後六時より青年聯盟安東支部主催、安東時局民會後援にて安東劇場にて擧行する事となつた、同日は各方面を網羅した論士の出場のため大盛況を呈しあります

前助役退職金 五千圓可決

修正案が出て一紛糾 喧噪裡に市會遂ひに流會

大連第六十二回市會は八日午後二時四十分より議員三十二名の出席を得て開會された、直に日程に入り

▲第一號　區長代理者辭任の件

▲第二號　區長辭任の件

を一括して上程、小川市長登壇「市外へ轉居のため十一月十五日出町區長代理者濱野重雄は市明治町區長高橋利吉は病氣のため十二月四日各辭職の儀屆出がありました」と報告次いで

▲第三號　退職給與金支給の件を上程、小川市長再び登壇「前大連市助役永井準一郎は十一月十日退職したが昭和五年四月就任以來在職一年八箇月間、この功勞に酬ゆる爲め有給吏員退職死亡給與金規則により退職給與金五千圓を支給したいと思ひます、何卒御贊成の上御決定を願ひます」と說明、これに對し

仙波議員　五千圓の算出基礎をお訊ねいたします

眞鍋總務課長　助役の退職給與金は從來市長の半額となつてゐます、前田中市長の退職慰勞金は一萬五千圓でしたがその半額とすれば七千五百圓になります、併し永井助役は病氣その他の事故が多かつたのでそれ等を斟酌し五千圓として提案した次第であります

芦刈議員　眞鍋總務課長は七千五百圓が至當であるも五千圓にしたと云はれてゐます、それは病氣その他で休んだが功勞を認めたいと云ふ結果になります、私は助役も市吏員である、市吏員なれば普通市吏員並に取扱つたがよいではないかと思ふ、病氣で休んだ者を何故功勞者と認めるか

小川市長　助役は市長並に取扱つてゐます、その前例もあり功勞を認めて五千圓とした次第であります

芦刈議員　前例ありと市長は言はれるが石本前市長は三千圓で瀨谷前助役は一千圓で各追拂はれた、此點特に小川市長に考慮して頂きたい、永井助役恐らく遊んで仕事をしなかつた人はなかつたであらう、算定の基礎が前例によるならば市の財政窮迫の今日考慮の餘地はなきものか

小川市長　事にもそれ〴〵理由がある、石本前市長、瀨谷前助役の場合にもそれ〴〵理由があつたので御決定になつたものと思ふ、永井君に對してはその功勞に對して五千圓が適當と思つて算定した

芦刈議員は繰返し執拗に肉薄し仙波議員また共同戰線を張り鋭く追及したが小川市長巧に應酬し敢然原案を主張するので鈴木議員は皮肉まじりに三千圓の修正說を主張する

小川市長　功勞のあるか無しは却々むづかしい問題である、人には各々觀方があります、私は永井前助役が相當長い間勤めたのであるから功勞あると思ひます

大內議長　本案を續會に移したいと思ひますが如何ですか

宮崎議員　本案は協議會に於て相當練つた案でありますから讀會を省略して可決確定あらん事を望みます

この時「贊成」と叫ぶ者「否々」と怒號する者で議場漸く騷然となり芦刈議員は稍昂奮し乍ら三千圓の修正案、高塚議員は四千圓の修正案を各提出したが、議長採決の結果、三千圓修正案に贊成するものは芦刈、仙波の兩議員のみ大多數を以て五千圓の原案は通過した芦刈議員餘憤醒めず「私は原案に絕對反對であります」と絕叫し紛爭裡に

▲第四號　基本財產繰入に關する件

を上程する、小川市長登壇「市財政の運用上基本財產蓄積金現在高金十萬八千九百六十六圓五十九錢の內金五千圓也を吏員退職死亡給與金特別會計に繰入るべく關東州市制第十條第六號に依り本案を提出します」

岡野議員と大久保財務課長の間に問答あつた後宮崎議員の動議により大內議長採決に入らんとしたが芦刈議員「議長々々」と連呼し發言を求めて登壇し議長に對し議事進行に就いて質問せんとするに宮崎議員の動議により本議員の質問を封じ無理に原案を通過させんとするは怪しからぬと一矢を酬ゐ原案に反對の意思を表示したが議長採決の結果大多數を以て可決確定し

▲第五號　昭和六年度大連市特別會計吏員退職死亡給與金歲入歲出追加豫算の件

これは永井前助役に支給すべき退職給與金に豫算の不足を生じた爲め提出したものでこれも可決確定し次いで

▲第六號　昭和六年度大連市歲入歲出豫算追加更正の件

を上程、小川市長登壇「滿洲事變に關し時局後援會に補助三千圓、戰歿者慰靈祭軍人慰問費に二千圓、屎尿拂下代未納金請求その他訴訟に訴訟費用として三千圓、合計八千圓を要するので六年度本市一般會計歲出豫算に追加更正の必要生じ本案を提出した次第であります」

仙波議員　屎尿拂下未納の訴訟費用に三千圓を要すと云ふが現在未納高は如何程になつてゐるか

眞鍋總務課長　二萬九千四百七十一圓六十三錢になつてゐます

仙波議員　約三萬圓の未納金に對し三千圓の訴訟費用を計上し何れ丈け回收出來ると思はれるか

眞鍋總務課長　三千圓は全部屎尿拂下代未納金の訴訟費用ではありません、その他市營住宅の家賃請求訴訟費用や屎尿運搬車の小兒轢殺事件で一萬圓の慰藉料請求訴訟を受けてゐる、この費用なども含まれてゐます、何程回收出來るかの御質問に對しては訴訟の性質上豫斷が出來ません

仙波議員　訴訟を依頼してゐる辯護士は何人であるか、費用は渡して居るのか

眞鍋總務課長　五人の辯護士に依賴してゐます、費用の一部は既に支出してゐます

仙波議員　今まで渡してゐる外に更らに三千圓を渡さうとするのか

眞鍋總務課長　今まで着手料として八百三十一圓九十六錢、供託金一千百圓、訴訟印紙代二百十圓四十錢、合計二千百四十二圓三十六錢を支出してゐますがこれは豫備費の中から支出してゐます

仙波議員　現に二千百四十二圓三十六錢をかけて效果を齎さなかつたのにこの上三千圓を支出しようと云ふ理由を承りたい

眞鍋總務課長　訴訟は御承知の通り依賴したからとて直に效果が現はれるものでなく目下進行中で結果は申上げ兼れるのであります

この時大內議長は議員に諮り採決したが滿場一致で可決確定し更に

▲第七號　市參事會委任事項中改正の件

を上程、大內議長より「本案は私よりの提案であります卽ち市參事會委任事項第十一號中『訴訟』を『訴訟及和解』に改正したいからなのであります」と說明、木原、仙波兩議員からの質問あつた後仙波議員から修正動議出て採決の結果修正案通過、更に仙波議員の動議で議長指名左記七名の委員附託となり二讀會に移し一般質問に入つたが質問通告により鈴木議員登壇と見るや議員は總立ちとなり定員に足らぬ十三名を殘し全部退場したので鈴木議員は壇上に立往生となり遂に第六十二回市會は喧噪裡に流會となる、時に同四時

參事會委任事項改正委員會

市參事會委任事項中改正の件は八日の市會で修正案が通過し委員附託となり議長より仙波、木原、高塚、野本、小野、岡野、鬫の七議員が委員に指名されたがその第一回委員會は市會散會後直に議長室に集合し委員長を互選した結果高塚議員推薦され第二回委員會は十日午後二時から招集に決定した

參事會員辭表提出

十一月廿五日を以て協定の任期滿了した市參事會員有馬邊、高橋猪兒喜、高橋仁一立石保福、相川米太郞、顧睦堂の六議員は八日市會の散會後直に市長の手許まで辭表を提出した

利子引上げ 東京貯蓄銀行

【東京八日發】東京貯蓄銀行は八日協議の上市中銀行協定預金利率引上げに伴ふ貯蓄銀行預金利子を左の如く十四日から引上げ實行に決定した

定期預金四分七厘（五厘上げ）

据置貯金四分七厘（二厘上げ）

その他の普通貯金、定期積金は据置

英支治廢條約案

假調印の運びには至らず 英サイモン外相聲明

【ロンドン七日發】本日英下院でサイモン外相は支那における治外法權撤廢問題交涉經過に關し次の如く聲明した

治外法權撤廢に關する條約草案は旣に起草を終へてゐるも未だランプソン氏をして假調印する運びには至つてゐない

南京のイギリス在留民は去る三日治外法權撤廢反對の決議をなし本國政府に打電した

第一戰に立つ滿鐵社員（1）

『新滿蒙の歌』に 意氣は昂る合宿の彼氏等

奉天にて　五百旗頭佐一

今滿鐵は鐵道、總務兩部を中心に幾多の少壯有爲の社員を奉天に出張させてゐるが、偶々大連に殘つて行くそれ等の人々は本社譜の社員羨望の的になつてゐる。

◇

事變直後滿鐵の仕事が一部奉天に移ると共に出張を命ぜられた者は最初のうちは極度の不安に襲はれてゐたといふ、學良が命ずる便衣隊の活動を警戒して自然にそれ等の人々は合宿を形造つてしまつたのだ、不安な氣持と興奮に等しい心の緊張さに、夜となれば合宿の中で軍歌や腕相撲に滿鐵社員の意氣を養つてゐたものであるが、次は鐵道部の若手一派が營んでゐる合宿のその頃の今昔である、幼論かうした合宿の名殘は今でもあちらこちらで觀見出來るが、旣に完全に治安の維持されたけふこの頃では彼等合宿員も互に隊伍を組んで一週に一度位は「氣晴らし」と自稱する夜の散步に出かける程度の餘裕は持つてゐる。

◇

彼氏は語る「初めは隨分たくさん居たよ、しかも年若いタイピストまでもれ、タイピスト二人で八疊一室を占領し吾々男子多數は次の八疊に押込められてゐたが、隨分緊張してゐたれ、仕事も忙しかつたよ、タイピストなども合宿に歸つてまで仕事に追はれ、朝七時から夜十一時まで働くことが度々だつた、吾々男達は別に苦痛でもないが女としては辛かつたらう、然し滿存に嫌な顏一つせず極めて朗かに働いてくれた、そしてこの意氣がどれほど自分達を勵ましてくれたか知れやしない、その時誰かゞ何か元氣をつけるものをと言ひ出して衆議一決『新滿蒙の歌』なるものを合作で作つたと思ひ給へ、節は例の『こゝは大連準頭の』つて奴さ、これを朝飯、晩飯の後に合唱するんだ、ソプラノも入ると堂々たるものだつたぜ、人こそ少くなつたが今だつて毎日やつてゐる、今は『南嶺の戰』までしかないが追々これから增やして行くよ、兎に角歌詞をお敎へしやう

◇

一、鐵路守るは吾同胞からの生命あづかるつはもの共よ砲聲とどろく北大營にかゞやく朝日は平和の光

二、東北四省に秋風すさび榮華誇りし張家の末路奉天城頭夕陽は落ちて哀れ昔の名殘りやいづこ

三、眞紅の砲煙砂礫を燒いて燃ゆる南嶺吾等が精兵長春城外天日暗く染めし血潮は平和の守

◇

この歌だつた、記者が竹森、門野の兩氏と大連驛に見送つた時二人はホームで聲聲を張りあげてこの歌を歌つたつけ、彼氏の話はつゞく「安心してくれ俺達の意氣は益々盛んだ、男ばかりの殺風景な合宿だが歌の合唱で吾々の結束は固くなる一方だ、忙しいことは以前に變りないが平氣だよ、時には『灑は淚か』なんて流行歌を歌ふ粹人もあるし、それに今は將棋がとても盛んなんだ。

◇

更生の第一線に働く人々の合宿に幸よあれ（五日夜記）

團旗の旗手

實見生

◇滿日社主催の護國祈願祭とその行進には小生も個人參加の一人として非常に感激に滿ちた熱誠の迸しるのを感じ日本人として血潮を沸かしたもので、滿日社並に後援各位に厚く感謝の意を捧ぐるものである、しかしこの祈願行進に際して大連某組合の組合旗と某女學校の校旗捧持者が支那人であつたことは何とも悲しむべきことであつた

◇これら團體旗は聯隊旗とは多少その趣旨を異にするとも、その團體なりその學校なりを代表するものなることには違ひはあるまい、その團體を代表するためには組合長なり校長なり在りとはいへ、大衆に向つて團體旗がその團體を代表し、且團體旗はその團體にとり最も尊重すべきものなることに異論はなき筈である。

◇日支事變による祈願祭の參加團體がこの尊敬すべき團體旗の旗手として支那人を使用することは、その團體員の心事をも忖度せしめて甚だ物淋しい限りだ。

◇大分過去のことではあるが、事變發生以來大連埠頭では戰役戰死者の遺骨と傷病將兵の歸還があり、その見送りの場合には祈願祭にも增して團旗捧持者の大半が支那人であり、その支那人の心なき行動に人々を顰蹙せしめたものであつた。

◇團體なり學校なりには洗練されたる常識の持主が一人位あつてもよい筈だ、またある筈と思ふ日本人的潔癖さといふ人があるかも知れぬが、小生は日本人團體の團旗は當然日本人が持つべきものと固く信ずる、敢て識者の一考を望む。

お斷り　右と同趣旨、更に他の團體旗が支那人により捧持されてゐたことを注意されたもの一通、栗金生（係）

相　投書歡迎　五十行以內　中傷はとらず

時局映畫講演會

京城で公開し大好評

【京城特電八日發】本社京城支局主催、朝鮮總督府、朝鮮軍司令部、京城府後援在城各新聞社後援の朝鮮軍及び警察官慰問の「時局映畫及び講演會」は七日、三回に亘つて公開、午前十時から總督府大食堂において本府一千名の職員に對して公開、森本社記者の說明に滿堂の觀衆は固唾を吞んで「滿蒙破邪行」を觀る、次いで第二回は總督府鐵道局從業員のために同俱樂部において開催、龜井支局長の開會の挨拶の後森記者の「從軍觀感」と題する參戰經觀の講演ありて引續き映畫に移る、聽衆約八百名に上り同クラブ未曾有の盛況を極めた、更に一般市民に對する公開は同夜午後七時から社會館樓上において催されたが、定刻前立錐の餘地なき迄に觀衆詰めかけ、森記者の一時間に亘る講演の後映寫に移り映畫の眞實性に强き感激の拍手と讚嘆の聲起り午後九時三十分映寫を終り龜井支局長の發聲でわが出動皇軍の萬歲を三唱、稀有の盛會裡に第一日を終へた【寫眞は京城社會館の盛況】

平壤でも開催

關東軍司令部附滿鐵弘報係撮影の滿洲破邪行全五卷は十一日午後一時から平壤第七十七聯隊と午後七時公會堂において帝國在鄕軍人平壤分會平安南道平壤府平壤每日新聞社西鮮日報社の後援のもとに本社主催で公開することになつた

慰問金殺到に 軍部で感激

年內に百萬圓を突破

【東京八日發】在滿部隊に對する國民の感謝と同情は夥たゞしき慰問品と慰問金となつて陸軍省に屆けられてゐるが、東京實業家團體の第一回慰問金は三井、三菱の五萬圓口を筆頭に總計七十四十三萬五千圓が八日陸軍省に屆けられ、事變勃發以來の慰問金は總額六十萬圓に達し年內には百萬圓を越えるだらうといはれてゐるが、陸軍側では前後二ケ年に亘る日露役當時の總慰問金額百二十萬圓に比し格段の相違なるに驚き感激してゐる

大觀小觀

滿鐵社員またも殉職、敦化東方地區における中村、伊東兩社員一行の遭難とその最期が如何に壯烈なものであつたか▲われ等はその尊い犧牲に對して衷心よりの感謝と痛惜の意を表せざるを得ない▲と共にわれ等はまた惡鬼羅刹の如き兵匪、馬賊の跳梁に對して今更乍ら湧きあがる憎惡の感を禁じ難い▲それにつけてもこの事變勃發以來、わが國がこの滿蒙各地において拂つた犧牲の如何に大きいことか▲忠勇義烈なる皇軍將卒の尊い鮮血が各地に彩られたことはいふも更なり、沿線各地において活躍しつゝある警官諸氏の辛勞とその犧牲も亦多とせざるを得ない▲更に武裝せざる第一線の勇士、滿鐵社員その他の活動とその勞苦も亦銘記すべく▲その仕事が地味であり地味であるだけに一入の同情と敬意を表すべきであらう▲「誤解や蠅の巢除けて通りけり」▲聯盟理事會の印象は「日本勝てり」とある▲またその反面「われ〳〵の失敗は事實だ」と洩らした某國代表がある▲日本が果して勝つたか敗けたか、それは見る人の立場によつて違ふだらうが若し「日本勝てり」が事實とするならば▲それは「正義」の勝ちであり同時に「偏頗」の敗であると解すべきだらう▲「實多き寄客の眠る夜ながかな＝邪道句子」

市況

株式

東新引軟弱　當市閑散

內地東新の大引軟化も小一圓安と軟化し商賣らず閑散

特產

人氣添はず　無味閑散

後場の定期は依然たる大豆、豆粕、豆油のみは纔落し大引した

錢鈔

標金不變　當市弱含み

上海標金は不變なるも當地は弱含み商狀を呈した

商品

麻袋變らず　綿糸小睨り

奧地市況

市場電報

東京株式（短期）、東京株式（長期）、大阪株式、大阪綿糸、橫濱生糸、大阪期米、東京期米、神戶特產

特に本年の忘年會宴に就て

皆さん

多事多難にして眞に千歲一遇の本年も將に暮れんと致します就きましては平素皆樣方格別の御引立に深く〳〵感謝致して居りますゝ弊店も此秋に鑑み輕佻浮薄を戒め最も實質的最大勉强を以て御下命に應じ各位の御期待に御添申上たいと存じます何卒倍舊の御利用の程御待ち申上ます

日支英テーブル　日本食席　よせなべ　ちり　鶏肉スキ　魚スキ

吉野町二七番地　ライオン　電六二七四・七二三四

毛糸廉賣

大連市信濃町市場　山本洋行　電話四四五七番

木炭のねさげ

特上小丸（本溪湖產八貫俵）一俵　一圓三十五錢

朝鮮根炭　一俵　八十八錢

に下りました是非一度お買上げ下さい飛行式にお屆けいたします

若狹町安番隣　たばた商店　電話二八三、二五〇三番

支店　聖德街三丁目電話九五五番　和音町サツマ溫泉電話四七四〇番

●頭痛に　ノーシン●

RYOTO HOTEL

お知らせ

十二月五日より開業

北京料理〜〜テーブル小洋十七圓五〇錢より

小洋勘定〜〜一品料理もどうぞ

遼東ホテル　遼東飯莊　電3171番

意譯直譯對照 自修支那語

和田正勝氏著　ポケツト型、總クロース、金文字入、三〇七頁　定價金壹圓　送料六錢

滿洲事變に端を發して日支の風雲は急!!! それに正比例して支那語の必要も亦急!!!

發兌　大阪屋號書店　賣捌處　全滿各地書店

百日咳 內服藥 チミツシン

味は蜜の如く、小兒は喜んで服用し服用に與ふれば良く安眠を得せしむ

安全にして效果的、本病の豫防と治療に最も賞用せらるゝ藥劑なり。一般の咳嗽にも勿論良效あり。

東京日本橋區本町　田邊商店

童話 濱のお家（上）

八木橋ゆじう

夕暮の海に嵐が來ました。青黒い沖は、大きな目玉のやうに波頭をギラ／＼白く立てました。濱の人々は、今朝沖に出て行つた漁師達を心配して、濱邊に集つて來ました。

「無事で歸つてきて呉れゝばよいが……」

「もう見えてもよい頃だが、こんなにむけては、船足も鈍かろ」

「ほんとになあ、あ、あんなに沖は暗くなつた。もしもの事があつたらどうしやう」

「心配ばかりしてゐたつて仕方がねえ、さ、暗くなるといけねえ、どんなことになるとも限られねえから、みんなでかゞり火の用意をすることだ」

沖は次第に暗くなつて、さつきまで光つてゐた波頭も見えなくなつて了ひました。どす黒い雲と海の境、若しや漁船の影が見えはしまいかと、人々の注意を集めてゐた水平線も、まつたく暗に吸ひとられて了ひました。

ゴーツ、ゴーツ、ザブン、ザブン、波は生きもの、やうに岸に押寄せました。それが碎けては、のやうに吠え叫びました。

風の音、波の音、かん高い聲、手に手に提灯やたい松を持つた人々が走りまはり、どなる者、泣き叫ぶもの、濱は嵐の上に嵐でした。

「おーい」

「おーい」

人々は、口々に、ありつたけの聲をしぼつて、吠るやうに沖に向つて叫びました。

………

その晩、久のお父さんは、船が難破して死んだのです。お父さんの死體が濱に上つたとき、お母さんが倒れるほど泣き悲しみました。

「たくさんの魚を積んで歸つて來るから、久、お前はお母さんと濱に迎へに來るんだよ」と言つて、今朝ほどあんなに元氣に出て行つたお父さんでしたのに、何といふ思ひがけない運命のいたづらでせう。

「あゝ、わたしどうしやう」

お母さんは、お父さんの亡骸のそばに坐つたきり、氣を失つたやうになつて了ひました。

「ねえ、お父さん、そんな所に[illegible]てないでお家へ歸らう。お父さんてば、さあ、お起きよお起きつて！」

未だ五つの久は、お父さんの死を知らないで、お父さんを搖り起さうとしました。

「お母さん、ねえ、お父さんを起してお家へ歸らう、ねえ」

お母さんは、久を抱きかゝえてわつと泣きました。

「あゝ、おい等も泣けて來るだ」

「なんて、むごい事をするだあ」

「神さまもあんまりだあ」

そのありさまを見て泣かないものはありませんでした。

この凄じい嵐、この大きな力の海に打ち勝つことが出來ず、命をとられた漁師は、久のお父さんばかりでなく、ずゐぶんたくさんありました。

アサヒノボウル 中溝しんいち作 河野さしむ画 （四）

一 シメタ ト バカリ トビ ダシタ タイチヤン ト ニイサン ハ ギラギラ ヒカル カタナ ヲ フリアゲル

二 オホカミ ハ イクラ アセツテモ アナノ ナカ タスケテ クダサイト オモツテモ ヒトノ コトバハ ワカラナイ

三 スルト ドコカラカ ヒトノ アシオト ホシアカリ デミルト オソロシイ シナジン ノ ドロボウ

四 ニニン トモ カタナヲ フリアゲテ チカヅク モツテル モノヲ ミンナ クレヌト コロスゾ ト ドナツタ

子供の「獨立心を養ふ」 獨り遊びの習慣

お母さん方も負擔が輕くなる

それには斯んな注意が肝要

いつも幼兒と一しよにゐて幼兒の行動を靜かに見てゐますと、幼兒が自分獨りで遊んでゐる時ほどたのしさうで又得意さうな時はないやうです、もと／＼幼兒の教育は遊戯と玩具から導かれる機會が非常に多く、いろ／＼な

◆…品物を 右の手から左へ、左の手から右へとうつしかへたり、一つの場所から他の場所へと置きかへたりして運動の熟練と正確とを習得し、これによつて手と腦の働きを發達させるのですそしてその玩具又は品物が幼兒に適してふさはしいものであれば、子供は他のあらゆる事柄を忘れ自分の周圍に若し何事が起らうとも我關せず焉として全心全勢力をそれに傾注してしまふもので、かういふ風に子供が獨り遊びをするといふ事は子供の教育上極めて

◆…大切な ことであります、ところが子供がすぐに獨り遊びをやめてしまつたり、他の相手を欲しがつたりすることが間々ありますが、これはその玩具又は品物が子供の性質や年齢に不適當であるからで與へるものの選擇をあやまらぬやうにしなければなりません、幼い子供にはあまり念の入つたものや高價なものは不向で崩したり積んだりして遊ぶやうな

◆…積木式 のものや、引つぱつたり押したりして遊ぶ木製の自動車や汽車など大がいの幼兒に適してゐます、又籠に品物を入れたり出したりすることも幼兒には非常に興があるらしいのですしかしあまり小さいものは口に入れたりする危險がありますし、マツチや鋏など怪我の原因となるやうなものはさけなければなりません、で獨り遊びの習慣をつけるには最初子供の樣子をだまつて見てゐて、子供が遊びに興味を覺えた樣子であれば二三回その部屋から遠ざかつて見ます、それでも子供が平氣で遊んでゐるやうであればその部屋からすつかり離れてもよいのです、はじめから全く獨り置きつぱなしにしますと子供はやがて

◆…不安に なつて相手を求めますが、かうして徐々に獨りにしますとしまひには平氣で遊ぶやうになります、そして全く周圍の人々を忘れ全心をその品物に集中するやうになりますから、こゝに玩具の眞の目的が達せられ幼兒の手と腦との習練が出來るばかりでなく、知らず識らずのうちに將來の社會生活のもとゝなるべき獨立心が養はれるのです、又子供に獨り遊びの習慣を養ふてやることによつて、お母さんたちはどれほどその負擔を輕くせられるかわかりません

折角のお見舞が仇・に・な・る

感冒に罹りたてには出來るだけ遠慮の事

增し行く寒さと共に感冒も勢力を出し、小兒の罹病者がいつも病院の病室を一つぱいに滿たします、感冒も初めの手當が悪いと肺炎となり、いつまでも苦まればなりません、病氣は何によらず、初めの

手當が 最も肝心なので看護如何で早く治つたり、或は長引いたりします、病床に臥してゐることが知人、友人間に知れるや早速見舞客が引きも切らず病室を訪れます、これも麗しい友情の現はれで大へん嬉しく感ぜられますしかし時によつては折角の麗しい友情が全く無情となる場合があります病人も消化器系病人でしたら安眠を妨げない程度で見舞ふとひねもす天井ばかり眺めて淋しく病床にある

病人に とつてはこの上もない嬉しいもので歡迎するのですが、これに反し呼吸器系病即ち肺結核、肋膜、氣管支肺炎、インフルエンザーなどの場合に無理をして話をやるときつと歸宅後病人は熱が上り今まで醫師の命令通り服藥、手當を怠らず靜養してゐても少しの効も上らず病人一人苦みます、これらの病人には決して無理に話させる樣なことなく充分安靜を保ち靜養させたいものです、流感など靜養すれば

治り方 も從つて早いのですから看護に當る者は如何なる見舞客に對しても病人との面會はことわつて欲しいのです、見舞ふ方でも初め大切な場合には遠慮し快方に向ひ、病人が淋しくなつた頃合を見計らつて病人を訪れ懇ろに見舞はれたいものです

月極讀者に カレンダー贈呈

美麗な本紙新年附錄

本紙新年附錄として昭和七年の實用カレンダーを月極讀者に限り贈呈致します。第一回は一、二、三月分を新年勅題『曉雞聲』に因んで特に意匠を凝らした臺紙に美麗なる風景寫眞を撮り入れ裝飾と實用とを兼ね御家庭用として最もふさはしいものと信じます

滿洲日報社

簡單にしてもおいしい 冬向きの御料理 お試し下さい

牛肉煮込料理（ポット、ローストビーフ）

◆材料 牛腎部肉又は腰部肉四斤、メリケン粉二〇匁、豚脂大匙三杯、人參一〇〇匁、蕪菁一〇〇匁、玉セルリ五ケ、小玉葱一〇ケ、シエリ酒茶カップ一杯、鹽胡椒少量

方法 牛肉を布巾で拭き鹽胡椒をふりかけメリケン粉にまぶし一方鍋に豚脂を熱しおき、その中に肉を入れ廻りを一帶に狐色になるまでいため、少量の熱湯を加へ蓋をして淺火にかけ、コトリ／＼と煮える程度で決して煮え立たせてはなりません、水氣がなくなり焦げつく樣でしたら、少量の水を加へながら約四時間程靜かに煮込みます（形を崩さぬ程度に柔かく煮込みます）必要によりシエリ酒を度々加へます、約三時間位經つた時野菜を適宜の恰好に皮をむいてその中に入れ、愈々その牛肉と野菜が柔かくなつたら、鍋より取り出し、熱く溫めた皿の上にのせ野菜をその周圍に飾りおき、殘りの汁を少量の湯で薄めごろ／＼として、ソース漉で漉し、前の牛肉にかけて供します。

滿日各地版

惡德記者の判決に檢事更に控訴手續 本人は平然と執務

【長春】長春北滿日報記者泉廉治(三九)が我軍部は飛行機を以て王府を爆破せしむると軍部を惡用して蒙昧な在長及在吉林の蒙古役人を脅喝し自分が軍部に運動して飛行爆破を中止させるから軍部の招待運動費として一千二百元を出せしめ二日長春領事館公判廷で秋山裁判長より懲役八ケ月を言渡されたことは既報の通りであるが被告廉治は三日控訴の手續きをなし保釋となり目下北滿日報に出社編輯の任に當り長春市民を唖然とさせてゐる、一方中川檢事々務取扱ひは七日に至り

控訴申立書
被告人 泉 廉治
右恐喝、恐喝未遂被告事件に付き昭和六年十二月二日在長春日本領事館に於てなしたる判決は相當ならずと思料し及控訴候也

と檢事控訴を提出するところあつた、尚泉廉治が新聞のパックを以て長春日支人に惡性惡德振りを遺憾なく發揮して新聞記者の惡名を冠させたことについては今後詳報する積りであるが保釋出獄後の彼の厚顏なる態度には流石に市民も驚き謹愼とか改心とかは兎もあれ恥を知つてゐるだらうかとあきれ返つてゐる

惱された大砲を土産に歸る 水道の水を飲んだ喜び 長谷部旅團長の談

【長春】六日午後四時二十五分着の臨時軍用列車でチチハルより凱旋した長谷部旅團に對する長春市民の大歡迎は未曾有の盛況であつたが七日午前十時司令部に旅團長を訪へばハチ切れる元氣で語る

出動中は在長市民各位から寄せられた激勵、御慰問御後援は有難く感謝致しました軍の士氣も非常に鼓舞され期待にそむかぬだけの

奮闘を と何れもよく戰つて呉れました、折惡しく戰闘中は御存じの寒さでこの寒に對しては戰爭以上の苦痛を感じたわけだが戰死者五名、凍傷者多數を出したことは甚だ遺憾であつた海倫に敗退した馬占山も自分がチチハル滯在中直接電話で正式に降伏を願出て來たが萬福麟の直系部下たる徐が主戰論者で泰安鎭にゐたゝめ出て來なかつた然し今日では馬から徐に金を支給して免官するに至つたから徐の軍隊も我軍に向つて攻勢に出る樣なことはあるまいと思ふ、然し當分の間はチチハルを

中心に 附近一隊は小部隊の兵匪により掠奪被害は免がれまいが支那の良民ほど可哀想なものはない、出動四十日目に四平街へついて水道の水をコップ二杯飲んだのは忘れ得ない喜びであつたがそれ程戰闘中からチチハル滯在中は善良な飲料水に困難を感じた勿論自分一人でなく皆がそうであつたらうと思ふ三間房の戰闘で占領した敵の大砲四門が土産であるがなか〳〵この大砲には弱らせられたものだ

第四聯隊の長春歸着

兵隊に引かれて前進するばかり 大島聯隊長朗かに語る

【長春】滿洲出動部隊中で一番戰闘を多くした我が步兵第四聯隊は事變突發後第一大隊は寛城子、烏托頭站、新立屯、昂々溪(三間房)チチハル南端の五戰、第二大隊は南嶺、前官地後官地、湯地南方高地昂々溪、チチハル南端(三間房)の五戰だが戰爭上手と持てはやされるのも無理はない、凱旋の喜びを第四聯隊に大島大佐を訪へば

いや有難う大軀をドツカと椅子に掛け凍傷患者を多數出して困つてゐる處だ、約半數の四百名 僕の手の指も第一關節から先は矢張りまだ感覺がないよ、戰闘中は指が曲つたきり延びずに閉口してゐたが今日ではやつと延びるだけにはなつた、凍傷で入院せしめてゐるのは長春、公主嶺、鐵嶺の三ケ所に卅八名內重傷者が廿四五名この內には五指とも切り落さねばならぬ人も少くない、戰爭談かオレなどは兵隊に引ずられて前進する位だこの肥つた體ではなか〳〵走れるものか若い將校に聞いて大いに武勳談でも書いて呉れよ隨分愉快な手柄話もある筈だからと功を部下に讓る處は流石に奥床しい子爵大佐ではある

荒し廻る各馬賊團 施家堡子中心に蟠居する有力團

【鐵嶺】問題の開原縣下施家堡子を中心として附近各地に蟠居する馬賊團は双樓臺の頭目打天下三百名を第一位とし慶雲堡には清吉樂の八十名、花樓臺には黑虎の百三十名、老虎頭に平心平堆の指揮する百八十名あり何れも其勢力侮り難きものありと

大掠奪を開始

【鐵嶺】七日當地に達したる情報によれば新臺子西方石佛寺を距る西八支里新民鐵嶺縣境二道崗子部落に頭目中山好の率ゆる賊團二百名とそれに新民公安兵三百名が馬賊に豹變して此一團に合流大擧襲來して附近部落蝦來溝、茨榆溝を始めとし各地を襲撃大掠奪を開始したと

自警團と交戰

【鞍山】遼陽縣廟谷自警團は同部落附近山中に於て五日午前十時頃十名よりなる匪賊を發見し之と銃火を交へ其場に於て四名を射殺した尚當日午後零時頃手峪に於て七八名の匪賊と交戰擊退し賊は山中に逃走したと

天德を射殺か

【鞍山】鞍山警察署千山派出所北川部長の報告に依れば岫巖縣と遼陽縣との境貨子林と云ふ部落の老夫婦方に四日一名の賊が來り休養を乞ふたので斷つたが承知しないので就寢せしめ置き之を村會に密告したるに村會は村民多數を召集し賊の出家を命じたが應じないので老人家屋は村會が辨償する約束の下に同家に放火した處賊は小屋に移り拳銃二挺を以て猛射を浴びせた、村民も之に交戰し遂に賊を射殺し調査した處賊は金票一千圓と大洋五千元を所持して居たが村民の噂によれば千山馬賊頭目天德らしいと目下取調中であると

遼陽城西の狀況 區長、公安分局長の逮捕 公安分局の引揚げ等

【遼陽】遼陽城西劉二堡及附近農民の意向なりと云ふを聞くに今回の事變以來日本の對滿政策には絕大なる共鳴を有し一日も早く滿洲が平和郷となる事を希望して居るが只綠林出身の劉雨臣をして縣當局が警備の大任を統制せしむることには部落民の悉くが反對を唱へて居ると、同地には頭目三勝が蟠居し農商民を保護し居り農商民は三勝を義賊と稱し同人在るが故に安全の生業が營まるると極言し居る位である、又第七分區(劉二堡の隣區で太子河の沿岸)陳區長及陳分局長は五日公安大隊長王步洲の率ゆる騎馬隊二十餘名の爲め捕へられ遼陽城內の自衞團本部に押送して來たと其の理由は陳區長は匪賊と通じ或は內通した嫌疑があると云ふも拘引するに至つたのも自衞團々董劉雨臣の命令でやつた事で劉の越權行爲を楊維持委員長に訴へ罷免方に付運動中であると

遼陽縣第八分局(城西劉二堡隣區)員二十餘名は同局長と電話番を除き六日悉く遼陽に引揚げたその理由は太子河渾河共既に結氷し遂中縣より匪賊の往來自由になり何時大部隊の匪賊團襲來するや計られず其の時に於て到底少數の公安局員では防禦し得ぬので事前に引揚ぐることを楊委員長に申請中であつたが委員會でも引揚止むを得ずと認めたためであると其の上同地に從來駐屯して居た公安步隊第三十一中隊と砲隊二ケ分隊百八十餘名を劉二堡に集中した結果現在では自衞團のみとなり全く無警察同樣だと云はれて居る

馬賊、官憲の板挾み 海城縣下情況

【大石橋】匪賊頭目老北風及び祭小琥の兩名は客月三十日附張學良より旅長に任命されたると共に部下を糾合して各々二個旅を編成而もこれが維持費として海城縣西部一帶の各村民に對し目下軍用金提供方強要中なりとの事なるがこれに關し孫海城縣地方治安維持委員長は去る四日同地方各村長十四名を縣公署に召集し假令匪賊團より軍用金の提供方を要求せらるとも決して之れに應ずべきに非ず若し後難を杞憂し密かに之れが提供を爲す場合は徒らに匪賊をして其の勢力を援助擴大せしむる事なるを以て斯る不德の徒は之れを匪賊の輩下として直に逮捕銃殺すべしと嚴達する處ありたるも各村民は目下の縣當局に於ては優勢なる匪賊團討伐に毫も其の權力なきを看破し到底此の命令の實行せらるべきにあらざるを嘆じ目下村長等は其の職の去就に迷ひ匪賊と官憲との板挾みの窮狀にある

支那監獄の塀倒壞 囚人約九十名逃走 三名負傷、撫順の椿事

【撫順】六日午後四時三十分撫順縣署大街支那監獄の高さ四米長四十米の煉瓦塀が地下振動の爲め倒れそれに押されて未決囚六十八名既決囚二十三名計九十一名這入つてゐる一棟倒壞三名重輕傷餘九十名近くは得たりと許り喚聲を擧げて逃走を企てたので憲兵巡警三十餘名驅付け威嚇發砲の釣瓶打ちで漸く喰止め得たが一時その騷ぎは大したものだつた

遼陽管外 匪賊の跳梁

【遼陽】遼陽縣第六區自衞團三十餘名は千山南麓立橋子附近に於て二十餘名の匪賊團と五日交戰附近各村聯莊會の援助を得て頭目東來好事孔憲文(一九)以下張中學、吳振東外嫌疑者三名を逮捕、六日午後六時頃城內に押送し來り楊委員長に引渡したが內吳振東は重傷の爲め押送途中死亡したと

數日前城東太安平に於て逮捕した匪賊三名は七日午後一時西門隅の刑場で銃殺した

頭目閻東洋以下四十餘名の匪賊は五日午後四時頃城東五十支里の秦金溝において自衞團及び聯莊會約二百名と交戰し一名射殺一名逮捕され翌六日午後二時ごろ同地附近に一團が潜伏中なるを發見され更に一名逮捕され太安平第四分區に引渡したと

城北蒲草溝(煙臺驛西方五支里)村李九會方に五日午後十時頃十數名の匪賊闖入銃器彈藥を掠奪逃走したと

匪賊二十餘名

【撫順】六日午後十時石灰窰子部落に長銃三モーゼル十三挺ブローニング五挺所持の二十餘名の兵匪現はれ同地農馬殿翔(三六)陳文寬(三一)方を二手に分れ襲擊金約二百元を掠奪して逃走した

二十年來の珍現象 鐵嶺の暖雨

【鐵嶺】當地方には六日午後二時頃より十時頃まで珍しく降雨續いたが氣候頗る溫暖にして夜に入るも凍結せず夏の降雨にひとしいものがあり古老連は二十年來の珍現象だと言つてゐる而も雨量多く坪あたり九斗五升四合、翌七日も凍らず往來の人を惱ませた

味岡中隊出動

【大石橋】獨步三營內鞍山北方約二邦里なる劉二堡地方農民が匪賊出沒の爲め人心動搖しつゝありとの情報に接したる我大石橋獨立守備第三大隊長は即刻味岡中隊に命令一下同中隊は七日佛曉臨時列車にて示威演習を目錄み出發した

氣の毒な同胞兒童に 小學生の美しい同情金 學校の廊下に義捐箱

【鐵嶺】鐵嶺避難民收容所に保護中の鮮農は現在六百三十餘名あり此中には未だ頑是なき鮮童百十餘名居り父兄と共に不安ながらも世の人の情に生活してゐるが鐵嶺小學校兒童自治會では幸福なる自分達の境遇に較べてこれ等鮮人兒童が餘りにも可哀想だと同情の餘り八日から二日間學校の廊下に義捐箱を備へ全校兒童中心ある者の喜捨を受け集め得た僅のお金を此憐れな鮮童に惠與すべく子供等自ら發起して目下義捐金募集中であるが全校兒童は父兄から貰つたお小使銭を割いて同情するものが多いやうである、尚この外靴下や手袋着物など寄贈の志ある兒童の申込みを受けてゐるが子供心にも同情溢るゝ企てとして先生達も大いに援助してゐる

滿鐵社員も先づ安全 新民附近視察後 竹中理事語る

【奉天】巨流河、新民屯等第一線に立ち勇敢に働いてゐる滿鐵社員慰問のため竹中滿鐵理事は六日同沿線に慰問旁々視察をなして同日歸奉し江口副總裁と歸連したが竹中理事は語る

巨流河附近も現在では平穩無事である多數滿鐵社員が特別任務を帶びて勇敢に立ち働いてゐるのを見て感激せずには居られなかつた同沿線は度々大集團の賊に襲はれ被害が多いので心配してゐたが鐵道の沿線は想像よりも平穩で夜間時々銃聲がする位のもので一時のやうな危險はない賊團も交通不便な奥地に逃げ込んだやうであるが之が徹底的討伐は仲々骨が折れる事と思つてゐる我軍の警戒も相當嚴に行はれてゐるので激戰でもない限り同地方の滿鐵社員の身は決して心配する必要はない

戰死者の遺骨

【旅順】六日盛大なる慰靈祭を行はれた步兵第三十聯隊故井上大尉その他の英靈は同日直に留守隊に運ばれ井上岡村水口三勇士の遺骨は初めて懷しき官舍に入り親く遺族に依つて通夜が營まれ其他の勇士は聯隊本部會報室に安置され十一日迄は戰友に依つて護られ愈々十三日大連出帆のはるぴん丸にて故國へ歸還される事となつたが旅順出發日時は未定である

軍隊に國旗寄贈 撫中教職員生徒の美擧

【撫順】撫順守備隊では事變突發以來川上守備隊長の趣旨に基き部下將卒の腦裏に國民精神を植ゑ付けるべく每日將卒一同整列の下に國旗掲揚式並に同撤去式を行ひつゝあつた偶々この事を聽いた寺田撫中校長は何等かの方法に依り永久的に保存し得る大國旗寄贈を思ひ立ち職員生徒に謀つた處一同大贊成同校生徒が盛夏苦心栽培せる蔬菜の賣込金及今回の事變に同校生が後方勤務に依り市民より贈られた金額等全部を擧げ幅二間縱二間の大國旗と六十餘尺の旗竿とを寄贈したしかして七日午前九時守備隊營庭に於て撫中健兒寺田校長以下職員守備隊側一同整列まづ寺田校長右獻納の趣旨に就き挨拶守備隊長の謝辭ありラッパ手の奏する壯重なる君が代齊唱裡にこの意義深き大國旗掲揚式は宛然皇國の繁榮を壽ぐ如く行はれた

●取消 十二月四日附地方版に蒙古人を脅迫して事變を種に荒仕事惡德記者に判決言渡しといふ見出の記事中被告の犯罪としては日支衝突後拳銃十餘挺を自宅に隱蔽し或は自動車を詐取せんとしたことその他多々ある模樣といふ點は被告北滿日報主筆泉廉治から事實無根につき取消しを申込んで來たゝめ取消す

沿線往來

▲佐野主計總監 七日朝來奉
▲武部貢氏(鮮銀理事)七日來奉
▲築島信司氏(國際運輸專務)同上
▲佐藤滿鐵々道部次長 七日朝來奉
▲田邊前滿鐵理事 同上
▲岩田獨立三大隊長 營口自治施行委員會發會式參列のため七日營口へ
▲小林才治氏(大石橋時局委員)七日奉天へ、全滿日本人聯合會主催時局協議會に出席
▲山下義明氏(同上)同上
▲飯田博氏(遼陽醫院長)七日奉天往復
▲細矢權吉氏(遼陽在郷軍人分會長)同上
▲生田友次郎氏(前地委議長)同上
▲安達周太郎氏(遼陽區長代表)同上
▲高橋敬藏氏(遼陽機關區長)北方出動中の處七日急行で歸遼
▲茨城縣日本國民高等學校生徒四十五名は十二日午前九時十六分着列車にて鞍山へ製鐵所を視察
▲千山志田他吉氏 七日鞍山各所へ歷訪挨拶をなし遺難手帖を配布したが同氏は今後鞍山に移住
▲明治會派遣慰問使田中芳谷、鹿山昭谷、國柱會同杉浦荷峰の三氏は七日關東廳に塚本長官を訪問し警察官その他時局に對する關東廳職員の勞苦につき慰問の辭を述べた

鐵嶺

愛善會講演會

人類愛善會鐵嶺支部主催の下に今九日午後七時より滿鐵クラブに於て人類愛善主義講演會を開催する由なるが講演は總裁候補出口日出麿師を始め文學博士井上爲五郎氏の人と神加藤明子女史の眞の人類愛善と題する眞摯な叫びであり入場無料多數の來聽を希望すと

撫順

「愛國の母」上映

滿洲事變突發以來既に八旬帝國の權益擁護と在滿同胞の生命財産保護の重任を背負ひ生命を曠野の極寒に曝しつゝ狂暴なる支那官兵匪賊膺懲の爲日夜活動しつゝある帝國軍人並に警官の勞を慰め或は名譽の戰死者の靈を祈りその遺族を慰め或は軍資金を補ふ事は在滿同胞當然の責務である爲來る十二日（土）十三日（日曜）の兩日撫順婦人會主催公會堂に於て映畫「愛國の母」を上映する右は西ナイチンゲールと併稱される愛國の女傑奥村五百子女史の一生を映畫化せるものである、而してこの催しに依る純益金全部を前記の資金に充つるもの故奮つて來場され度い

鮮人繩を納付

在撫順邦農救濟の爲高等係の世話で今回炭礦使用の莚六千五百枚を納付する事となり邦農は仕事が出來大喜びである、尙近く叺繩等の作業にも取掛る豫定

本溪湖

鄉軍戰鬪演習

本溪湖在鄉軍人會にては時局以來未教育補充兵數十名の軍事教育を行ひつゝあつたが六日午後一時より神社山廣場に集合して徐森守備隊長の檢閱を受け夫れより戰鬪演習に移り終つて分列式及び檢閱官の講評訓示等ありて後ち守備隊內にて一同夕食をとりて無事散會した

植田署長懇談

植田警察署長は時局懇談の意味に於て地方有志二十數名を新築の官舍に招待し懇談を交へた

遼陽

驛員採用試驗

遼陽驛では七日午前九時から現業員六名の採用試驗を實施した處應試者六十名の多きに達したと

鞍山

軍警慰安映畫

既報―鞍山新聞記者協會主催の鞍山守備隊留守隊及警察官並に同家族慰安の映畫大會は愈々九日正午と午後六時よりの二回に亘り演藝館に於て上映するが記者團の意のある處を市民各位は頗る諒とせられ非常に前人氣よく當日を期待せられて居るから定めし盛況を呈するであらう

滿鐵醫院患者

鞍山滿鐵醫院の十一月中取扱患者の統計を示せば外來患者最高三百八十名最低二百二十二名にて昨年同期に比較すれば最高八十三名減少し最低十名減少を示し外來延人員千七十一名を減じ入院千百二十八名を減ずる好成績を示し鞍山の衞生方面は頗る良成績である

外來患者

日本人 男	女	支那人 男	女	計
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大石橋

滿鐵醫院施療

當地滿鐵病院に於ては關東軍司令部の依囑に依り附近鮮支人貧民の施療を客月六日より開始し去五日終了したが其の間仁科病院長を初め各係醫師並に慈愛に滿ちた看護婦の懇切叮嚀なる施療に對し一同其の恩惠に感泣してゐる因に施療を受けたるもの左の如し

鮮人　男五、女七
支那人　男一二六、女四二
合計八十八名にして外科九九內科八十一名である

鄉軍會員慰問

故海城在鄉軍人分會員橫山進氏が時局突發以來私家を忘れ全く獻身的軍人精神に燃へ名譽の戰死を遂げたるは世の廣く知る處なるが六日獨步三大隊副官寺尾大尉は軍人會本部及び大石橋在鄉軍人會支部を代表し慰問金一封を帶行慰問するところあつた

婦人會の活躍

大石橋聯合婦人會にては既報の如く時局柄涙ぐましくも目覺ましき活動を續行し多大の賞讃を博しつゝあるが本日は大石橋よりの新入營兵士田中清君繩野只一君末吉一君花田成清君福島善吾君笠岡定嘉君本持武夫君本田武夫君に對し夫れ〲祝入營の鮮かなる幟を贈り其の壯途を祝福した

金州

護國祈願祭

金州時局後援會主催の護國祈願祭は六日擧行された、此の日前日に變る朝來の曇天に加へ午前十時頃より珍しくも細雨と化し氣溫も幾分低下したけれ共正午迄には集合地たる金州驛前には小學校兒童を始め金州在住民老若男女千餘名十二時十分小學校兒童を先頭に各團體旗時局後援旗等十數旗手ん手に小國旗を打振りつゝ細雨降りしきる中を時局軍歌「起てよ國民」を高唱しながら南山祠前に至り松山神官の祝詞、加世田後援會長、增田民政署長、高瀨警察署長等各部局代表二十餘名の玉串奉奠あり時恰も驟雨しきりとなり悲壯な裡にも莊嚴裡に終了、君ケ代合唱の上帝國萬歲を三唱、緊張裡に解散したが、午後三時より引續き小學校講堂において時局講演會が開かれた聽衆無慮七百名、本丸委員の開會の辭に次で加世田會長が奧地慰問の報告あり愈々本格に入つて

何の爲めに戰ふのか　高塚源一氏
國論を統一すべし　今村貫一氏
擧國一致國難を救へ　齋藤驚太郎氏
斷じて行なへ　石本鏆太郎氏
天下に正義人道を行はん　松山理三氏

各氏共熱辯を奮つて白熱的喝采を博し午後七時半大盛況裡に終了

旅順

練習艦隊入港

九日旅順入港の帝國練習艦隊磐手淺間は港外假泊一派の上出港するので今村司令官は十日午前十一時三十分在旅官民の主なる者數十名を招じ磐手艦上に於てアツトホームを催す由

市長の晩餐會

永山旅順市長は九日入港の帝國練習艦隊准士官以上百餘名を偕行社に招じ晩餐會を開催する、又市よりは乘組員一同に對し旅順繪はがきを贈呈する事となつた

市民射擊大會

六日の市民射擊大會は時局柄とて初めての催しであつたゝめ既報の如く出場者も在鄉軍人の百二十八人を筆頭に學生生徒、青年警備隊員一般市民それに女學生まで參加するといつた盛況で雨天にも拘らず五百十一人の多數に上り主催者側では意外の盛況に力を得て今後も時々催して市民の射擊訓練を行はんと大いに馬力をかけてゐるが正確なる當日の入賞者は左の通り

第一班（在鄉軍人分會員一二八名）四十二點山本壽喜太（體研）四十一點高森進（警察）三十六點德永良一（關廳）三十五點山本幸太郎同小關虎吉、三十四點山本虎三同三輪文司、同濱砂憲叡、同山崎文三郎、三十三點馬場重太郎

第二班（旅一中、青年訓練所生徒一一三名）三十九點奥山彰城（一中）三十八點原崎正三（一中）三十七點入江利光（一中）三十六點釘島實義（一中）三十五點小島大、三十四點安藤滿義、同森貴志、三十三點福島三郎、同高橋庄次、同松田俊雄

第三班（工科大學々生二三名）四十二點山本政雄、三十九點栗義雄、三十四點同元敬造、三十三點上野直次郎、二十八點西山進、二十七點利岡清郎、二十六點山崎玉城、二十三點岩杉滿太郎、二十二點山崎八郎、二十二點高森常雄

第四班（青年義勇警備隊一一一名）四十三點吉田順吉（關廳）四十一點樺島順爾（中村町）三十九點津田武夫（工大）三十五點前田克巳（八島町）同中島嘉之、三十四點澤村賢治、同今村莊司、三十三點吉田實行、同青木利生、同村山忠吉

第五班（一般市民一二〇名）四十二點鈴木勝雄（關廳）三十八點繁富元治（一中）三十六點森修（博物館）同富永勉、三十五點近藤昇、三十三點藤永芳夫、同御影川辰雄、三十二點平田芳亮、三十點山田敏之、三十點市川公平

女子班（旅順高女其他一六名）三十八點鈴木榮（高女）二十九點奥山和子（關廳）二十七點山崎政子（高女）二十五點三浦君子、二十四點高塚和佐子、二十二點前川萃子、二十一點奥山萬千子、十七點本田ヨシ子、十六點川西惠見子、十一點大野春子

聯隊長の挨拶

步兵第三十聯隊長坪井大佐は七日榎本中佐、椛倉大尉を代理として市役所を始め各方面を歷訪、懇篤なる謝意挨拶を述べた

した坪井聯隊長は七日午前九時三十五分發列車にて北行

◇

故小路通譯の嚴父小路次郎氏は七日各方面を歷訪慰靈祭に對する謝辭を述べた

輸出產地證明

前月中に於ける旅順港より輸出產地證明を與へたるものは左の如し

品名	件數	數量	價格
苹果	七	三二貫	一一四
生糸	二	四八貫	一八、九一〇
繭屑	一	一〇一貫	六〇〇
久留米カスリ	一	一〇〇反	四四〇
仔山羊	一	一頭	八
活鷄	二	一三五、〇〇〇羽	三、〇〇〇
同粕漬	一	一五〇罐	一三五
味噌漬	一	三四樽	二五八
鰆粕漬	一	三箱	二二
玉石	一	七〇〇噸	七〇〇
鹽	七	二四一、五三二、四一〇斤	一〇四、九九九
計	三		一二六、一六五

黃金臺

滿洲事變に出動せる出動部隊並に傷病兵慰問と關東廳及び留守部隊訪問の爲め來る八日金光教本部古川教正外團員二名來社の豫定

◇部下戰死者慰靈祭參列の爲め來旅

法院便り

七日覆審部公判には旅順第一小學校生徒五六年生男女百五十餘名は見學の爲め傍聽◆判決云渡しの筈であつた播磨町事件川崎力外六名の云渡しは辯護士不參の爲め無期延期となる◆窃盜林君實、同金永吉兩名に對しては事實の審理を行ひ正午過ぎ閉廷

●慰問金獻金者●　◆二十五圓色川大助◆二十圓滿鐵販賣所◆四十圓林源一郎◆十圓久保田貴登◆二十圓泰豐棧主于甘三◆十五圓兩漆泰主李祥仁◆合計一〇一〇圓也

傳染病發生

入港中の羽黑丸乘組員千須和崎雄（二四）七日腸チフスと診斷さる

おめでた

◆吉野町一ノ一六　辛島文一氏長女鞠子孃二十五日出生
◆金澤町一ノ一　中家直秀氏長男崇宏君二十九日出生

第二の反抗 (98)

三宅やす子　阿部金剛畫

女同士（二）

橋本家はお靜の父、五平の舊主家で、いはゞ恩のある筋だけれど父が十五年の忠勤に對して、此頃のあの沒義道な仕打は――お靜には主家といふよりも、敵の家のやうな氣がして居るのだ。

敵の家の奥さんに、助けて貰ふのは、筋がちがふ。金の事なら何でもと云つてくれる奥さんの、現在の良人が、矢の催促で父を苦めて居るのぢやないか。

新吉さんだつて、そんな心配でキツトボンヤリして居たんだろ、そこに不時の災難が來て、身を交す間もなく死んでしまつたのだ。

何にしたつて、橋本と名のつく人に助けてなんぞ、貰ふものか。

さう思つて、お靜は顏を上げた

「御親切にありがたうございますでも、いろ〱譯があつて――どうぞ、打つちやつておいて下さいまし」

「打つちやつて置けないのよ。誰にも云へないことはそれやあるわ私だつて、今日東京から歸つて――來てうちに歸るとすぐ、自分のうちをぬけ出して、こんな所へつぶちやうろついてるのよ。大抵想像がつくでせう。誰にも云へないことは、誰にだつてあるのよ。でもね」

佐枝子は、姉のやうな慈愛をこめて

「死ぬ氣になれば、こわいものはないわ。それから、遠慮するものもないのよ。私にしやべつたつてどつこも洩れやしないことよ」

「……」

「もしかお金の事なら、さつき云つた通り私が出してあげます。私はね、どうせ死ぬ身にお金なんか要らないから」

「奥樣！」

お靜はびつくりして

「奥樣は、死ぬなんて――そんなこと、仰しやるもんぢやありません」

「どうしてなの、生きてゐて何にもおもしろいことがなかつたら、死んだつていゝぢやないの？」

「いゝえ」

お靜は、今度は、佐枝子をなだめるやうに

「生きられないものが死ぬものでございます。食ふに食へないものが、死ぬのでございます」

「あら」

佐枝子は眼をパチツとして

「だからあんたは、食べられるやうになれや、死なゝくていゝんでせう」

「それ許りではないんですから」

「暮しのために死ぬんぢやないの？違つたら御免なさいね。身賣りするのが厭で、死ぬんぢやなかつたの？」

お靜は眞劍になつてうつむいた

「だから、其代りに私がお金を出せば、いゝんでしよ」

「……」

「この位あればいゝの？」

佐枝子は、其借金が、自分の良人や大吉老人に返さなければならないのだといふことを、うすく知つて、しきりに訊くのである、が、お靜の口からどうして、それを話せやうか。

「ありがたうございます。でも、――奥樣に、拂つて頂ける筋でないので――」

講談倶樂部

新年號

到る處で大評判の

三大附錄

十万円大懸賞(あり)
賞品の山の如き
誰方も早くお出し下さい

現代美男美女列傳

新年號自慢の美麗グラビア畫報

列傳中の顏ぶれ

●鐵道省の名物男新井觀光局長●ミス・インターナショナル井上武子孃●華冑界の一名花野津美智子孃●首相秘書官として人氣の木村小左衛門氏●三十一文字に親しむ原香一郎氏●名門の出に珍らしい爾藤靜子夫人●邦語獨唱に精進する永井美奈子孃●高橋內の噂をもつ吉田駐伊大使●萬城戰線の勇將大島陸太郎大佐●職業婦人に活躍する溝口歌子さま

俠客列傳 ちびの大三郎 村上浪六

六尺に足らぬ小男ながら滿身これ膽玉の大三郎が、相手定めて天下の強豪を敵に廻はす俠骨の大三郎！ 快哉！ 大ちびの大三郎

入江たか子と母 【大評判の女優物語】

東坊城子爵の令孃と生れた彼女が映畫界に入る迄の波瀾の經路と、スクリーン生活表裏の血涙秘錄！ 映畫界第一の人氣スターの奇しき涙の半生物語を見よ

◎生死戀 青春の渦巻……野村愛正
◎時代繪巻 滿願城……白井喬二
◎現代小說 都會獸……三上於莵吉
◎大捕物戰 鼠小僧次郎吉……大佛次郎
◎名力士 荒岩出世物語(鳥羽修平)
◎名作講談 俠勇小幡助六(田邊南龍)

檜山變化曆

時代小說 直木三十五

ドン！と一發、白馬峠の張扱筒に津輕の鬣を飛ばし江戸に現れ、南部に忍び、神出鬼沒の劍俠坦馬大作一代の史實を種に、文壇の飛將軍直木氏が精魂をしぼった痛快無類の劍豪物語！

◎妖麗そのもの、如き美しき處女の恋愛戰

妖麗 菊池寛

稀なる美貌に惠まれた一處女が、家運の沒落と父の自殺から、彼女を繞る波瀾の運命に端を發し、妖麗稀りなき戀愛合戰の序幕は漸次展開！ 作者苦心の大構想！ (挿繪)寺本忠雄

◎百万両の秘密と俠艶江戸娘

本町紅屋お紺 吉川英治

男でありながら女として育て上げられたお紺、その怪奇な素性と明かされぬ秘密を持つ彼女に迫る危機、頬冠りの曲者は誰？ 一讀すでに胸に迫る評判の名作！ (挿繪)岩田專太郎

◎雨か？風か？美しき兄妹の前途

心の太陽 中村武羅夫

美しきが故に、そして貧しきが故に蜜はれた處女性の爲に、凡ゆる男性を呪ふ美貌の女性を中心に、複雜した現代相、人間心理の爭闘を深刻に描いた新春の名作 (挿繪)林唯一

大探偵小說 恐怖王 江戸川亂步

恐怖王！恐怖王！ 彼の正體は果して何者か？ 突如美貌の喜多川未亡人邸の湯槽に浮んだ生々しい女の腕事件は如何に波瀾、生腕の主は？

大評判の短篇讀物

●しつペい返し……松村武雄
●幡隨院長兵衛……サトー・八郎
●桐野と小鐵……尾野實信
●近藤勇……西條八十
●西鄉南洲と會ふの記……川村理助
●この人を見よ……細木原青起
●ホテル王成功物がたり……三升家小勝
●お正月漫談……和田邦坊
●漫畫の大將……細木原青起
●笑ひ十德……
●變つた場所で迎へた元日の思ひ出……(五名家)

人氣力士大座談會

懐しい相撲の春場所を目前に、大の里、玉錦、能代潟、武藏山、和歌島、錦洋、山錦、出羽ケ嶽、藤島、春日野、花籠、伊勢ケ濱、松内則三、松本幹治郎、石谷勝等の諸氏出席！ 賑やかな好讀物です。

二色刷の大特輯

川柳いろは歌留多

谷脇素文畫伯の大傑作
諷刺と諧謔！ 興味百パーセント。繪を見ただけでもトテモ面白い。而も有益な大繪巻。

◎家庭小說 鐵の花環(佐藤紅綠)
◎幕末劍豪 奇劍士大石進(流泉小史)
◎俠客傳 淸水次郎長(小島政二郎)
◎愛國復活の 太平洋上の戀人(文豪飛行家と挑戰伯長との謎の戀射語) 春日楢夫
◎芝居小說 鳩の平右衛門(只今！ 平右衛門親子の悲烈物語) 本田美禪
◎滑稽落語 權助提灯(桂文樂)
◎滑稽落語 三味線栗毛(三遊亭小圓朝)
◎名作落語コント集(川上三太郎)

義心俠情さても見上げた男っ振り

旅の風來坊 【長篇戲曲】 長谷川伸

持つて生れた度胸と俠氣の國戸佐門郎が、子分の女房を横どりした惡漢五郎七を相手に天晴れ男振り。女の操を立通す美女おつるの哀傷に一滴ほろりとさせる人情物語。

帝都に潜入せる大胆不敵の怪賊

白狼無宿 【探偵小說】 保篠龍緒

奇怪、警視總監の一室に生々しい女の小指。Mヒルデイングの殺人強盗等々…突如帝都を襲つた兇賊白狼團一味の跳梁！ 雨か風か？ 稀代の兇賊と名刑事の腕くらべ。

この三大附錄つき タッタ八十錢

第一附錄

芝居と映画寫眞大観

映畫通・芝居通となる虎の巻!! 四六判二百四十頁の別册附錄

內容

◆舞台俳優の素顏と當り役畫報◆映畫俳優の素顏と當り役畫報◆寶塚少女歌劇・東西レヴュウの花形◆海外十大人氣スター◆明治名優の俤(素顏と當り役)◆名監督列傳・新進賣出しスター◆可愛い子役畫報・俳優の一日◆ブロマイド賣高番附◆系統的に見た俳優一覽と芝居の歷史◆映畫のできる迄・スターになる迄◆芝居ものしり辭典◆映畫ものしり辭典

寫眞だけでも實に數百枚 興味ある說明つきの大寫眞帖！ 寫眞に加ふるに各俳優の經歷、特長、性格、年齡、住所、其他所演の脚本の解說つき。其の上上記の如き興味ある內容滿載！ 好劇家、映畫ファンのみならず時代人として何人も一册は座右に備ふべき大寶鑑！ 大評判です、早く御覽下さい

第二附錄 全國代表美人大画報

新聞二頁大のグラビア附錄

各縣各地方より推薦の美人麗人中より嚴選、更に選拔した代表美人を收錄！ 目下婦人間で大人氣です。

第三附錄 現代文藝家名鑑

創作家、戲曲家、大衆小說家、詩人、歌人、俳人、川柳家、隨筆家等各種文藝に亙つて主なる作家を悉く網羅し、經歷、著作、趣味、住所等を添へた一大名鑑！ 正に二度と得難き貴重な大調査であります。

滿鐵線を脅やかす 學良の別働隊

蠢動する五千の兵匪 各地被害狀況

張學良の東北軍が大凌河以東の地區に進出を開始すると同時にその別働隊約五千名が滿鐵線附近に蠢動せる狀況左の如し

一日 湯崗子西北方六粁小軍屯に約百名の匪賊現はれ掠奪、獨立守備隊第三大隊第二中隊出動してこれを討伐撃退、同時鞍山西方大孤山に匪賊約四十名現はれ掠奪、獨立守備隊第三大隊第一中隊討伐に向ひ敵は退却した、同日開原西南方四粁三塞子に匪賊五十名現はれ掠奪、獨立守備隊第五大隊第一中隊出動して匪賊に多大の死傷を生ぜしめた

二日 午後十時五十分公太堡(奉天西方約二十五粁)農場に匪賊來襲、警官隊、農場事務員と應戰退却した

六日 公太堡に數百名の匪賊來襲して掠奪、わが方では飛行機を以てこれを撃退、同日午前十時四十分新城子驛西方五粁の財落堡に約二百名の匪賊が襲して掠奪、獨立守備隊の二個中隊出動してこれを討伐に向ひしも賊は退却、同日午前七時奉天西方約三十粁の前邊臺に約三百名の匪賊現はれ掠奪、飛行機を以てこれを撃退

七日 朝本溪湖東方約六粁の牛心臺に匪賊五十名現はれ日本人一名を人質として拉去し獨立守備隊第四大隊第一中隊これが討伐に向ふ、同日夜上牛心台(本溪湖東方十五粁)の日本警官派出所を襲撃し巡捕三名卽死、警部補一名、巡査二名負傷した

八日 朝本溪湖警察署員及び守備隊討伐に向ふ【奉天電話】

長春附近の匪賊を近く徹底的に討伐

學良一派に煽動されて 特産廻りを阻害

長春は目下歸休待機の混成〇〇旅團及び第〇〇聯隊の歸休隊あり更に關東軍航空隊長春中隊あり歩騎砲工各隊及び航空隊まで加はり堂々北滿を

威壓 してゐるので極めて平穩であるが少しく長春を離るゝ四圍は匪賊敗殘兵の跳梁止まず鐵嶺に關東軍はこれ等兵匪々賊の首領等に使を送り速かに敗殘兵は錦州方面に去り匪賊は正業に復するやう勸告し若し肯かざれば徹底的に討伐を決行する旨を傳へたが、張學良一派が金を撒まして使嗾煽動せるものであるため容易に承服する模樣なく長春に近き懷德縣の如き大小二十二名の

頭目 の下に多きは五百名少くも三十名位の部下を率ゐて放火掠奪その他あらゆる殘虐行爲をなす總數約二千八百餘名頭目不明の小匪賊を合すると四千五百名以上あり更にハルビンとの間農安縣下にも古くより巣喰ふ馬賊の大頭目の部下數百の外小匪賊出沒し特産物の出廻りを阻害する外許し難き行動に出づるので我軍部は近くこれ等不逞の輩に對し斷乎討伐を決行する事となり既に方策を決定した模樣である【長春電話】

楡樹屯に 二百名 公安隊と交戰

渾河西方約一里の楡樹屯部落に八日朝兵匪二百名現はれ途中公安隊と交戰中との急報により奉天警察署より警官十數名急行した【奉天電話】

チチハル附近の 匪賊は約千百名

目下チチハル附近に横行せる匪賊の狀況左の如し

東方三十支里附近に約二百名、南方二十支里附近に二百三十名、西方約十五支里乃至三十支里の間に三百名、北方十八支里乃至六十支里の間に四百名【奉天電話】

練習艦隊けふ 旅順港へ廻航

入港中の帝國海軍練習艦隊淺間、磐手は在泊五日間戰跡視察に市内見學に或は時局講演會にアットホームに頗る意義のある日を送つたが九日早朝旅順に廻航する事となり今村司令官代理として副官は市内各方面挨拶に廻つた、兩艦は八日午後四時拔錨一旦港外に假泊九日午前五時出港すると

神奈川縣商工 協會から慰問

滿洲における邦商及び軍隊を慰問し勞々關係商取引の實況を視察するため神奈川縣商工協會より派遣された神奈川縣商工課秋野直一、同山口忠彦、横濱商工氏友會理事長石渡清作、同理事齋藤猛の四氏は八日はいかる丸にて來連各方面を訪問して慰問の挨拶を述べた、大連には兩三日滯在し十日大連發旅順を始め沿線各地を訪問し、ハルビンに赴き來る二十日過ぎ安東から朝鮮經由にて歸國する筈

内地に引揚げる樣に 言ひ殘し出發する

殉職した滿鐵社員伊東萬次氏 悲歎に暮れる夫人

敦化の東方において支那側の射撃を受け殉職した伊東萬次氏は一昨年鄕里においてマツエ夫人を娶り夫人は目下姙娠九ケ月である、伊東氏は二十七日夜大連を出發したが氏は夫人の身の上を思ひ鄕里に引揚げるやう言ひ殘して出發したが夫人は萬一の場合を慮り歸鄕を斷念し桃源臺の自宅を引揚げ七日西通四十六番の知人の家に寄寓していたが… です、酒は相當にやりました、奥樣は一昨年結婚され本年五月に來滿し二十一歳です、目下姙娠ですが來月が生み月です、奥樣は萬一の場合を覺悟はしてゐたが本日山領課長がお出になつてそれと御知らせ下すつた時には流石に驚いて居られました【寫眞は殉職した伊東社員】

所であつた鐵道部工務課を訪れると山領課長以下主任も不在で伊東氏が出發間際まで机を並べて仕事をした設計係の同僚の人達は憮然としながら交々語る

ほんとですか、ひどいことをやりましたれ、伊東君が職務の犠牲になつたなんて私達にはまるで夢のやうです、伊東君は先月の廿八日に出發した許りなのです、昭和四年の熊本高工出身で性質は極めて溫厚な、頭腦明晰の俊才で部内でも前途を囑望されてる青年技術家だつたのに惜しいことをしました、今春技術員となつた許りで奥さんは十日の船で内地に歸られるやうに聞いてゐましたのにどんなに驚くことでせう、出發前に冗談らしく「敗殘兵が橫行してゐるらしいから今度はやられるかも知れんぞ」など、云つて元氣よく笑つてゐましたが今から思ふと虫が知らしてゐたのでせう

一千圓を獻金

七日朝旅順の關東軍留守司令部を訪れた一老人、青島觀城路四號大橋慶次郎氏は高野中佐と面會して今事變に對しての軍隊の勞苦を謝した後洋服のポケットから百圓札十枚を取出し一千圓也を差出して戰死傷者の慰問に振りあてたいと名刺を添へただけで受領證も受取らずそこ〳〵にして辭去したが、高野中佐の話では同氏は去る日露戰役當時旅順二〇三高地の攻…

伊東さんも中村さんも私も同鄕ですから萬一こんなことでもありはしまいかと心痛してゐたのに二人揃つてこの不幸を見るとは何と言ふことでせう、伊東さんは非常に淡白な人で人とのつき合ひも極めてよかつた、嫌味のない人で…

西通四十六番の知人の家に寄寓していた夫人は突然滿鐵本社から通知に接し悲歎にくれてゐる、氏の友人音成氏は語る

殉職兩氏略歷

伊東萬次氏 佐賀縣小城郡牛津村乙柳二〇八番地の人で本年二十四歳、昭和四年熊本高等工業學校を卒業して直ちに滿鐵に入り鐵道部工務課技術員の職に在つた

中村岩藏氏 伊東氏と同じく佐賀縣藤津郡濱町乙一五五四番地の人、大正二年八月滿鐵入社累進して遼陽保安區電氣工長として今日に至つた人で本年四十八歳である

遺骨受取りに 工務課長出發

伊東中村兩氏遭難の報に接して山領工務課長は遺骨受取りのため八日午後九時半發列車で出發した

遺骸は敦化へ

部下の殉職に愁然たる猪田鐵道部次長は語る

まことに意外なことになつた、遺骸は敦化に運ぶことになつてゐる

出發の前に 虫の知せ

驚く工務課員

この悲報を聽して伊東氏の勤務箇…

昂々溪大興戰 勇士の遺骨

十二日に大連に到着 十三日のばいかる丸で歸國

酷寒肌を刺す朔北の荒野昂々溪大興方面の戰鬪に於て壯烈な戰死を遂げた勇士の遺骨百四體は十二日旅順部隊は午後三時十分、奉天、遼陽、海城、鐵嶺部隊は午後四時五十分着列車でそれ〴〵大連驛に到着するが、その内譯は左の如し

長春駐劄步兵第四聯隊五、奉天駐劄步兵第二十九聯隊十一、遼陽駐劄步兵第十六聯隊六十六、公主嶺駐劄騎兵第二聯隊六、海城駐劄野砲第二聯隊一、旅順駐劄工兵第二大隊一、鐵嶺駐劄步兵第三十聯隊三十、自動車班一

なほ遺骨は到着の上關東倉庫内に安置され翌十三日正午出帆のはるびん丸でそれ〴〵原隊に送還される筈である

牛心臺の邦人は無事 本溪湖も嚴重に警戒

牛心臺の停車場、派出所は賊團に包圍され停車場は全燒、派出所は半燒となり警官隊は三名卽死、三名負傷の報に接して本溪湖上田署長以下二十五名は急遽出動し八日午前八時二十分牛心臺に到着し賊を追擊中であるが總鐵從業員その他日本人家族は異狀なしとの報があつた、本溪湖守備隊は歪頭山方面に全部出動し不在のため在郷軍人會は直ちに非常召集を行ひ賊團の逃げ路と思はれる平頂山に四十名本多山に十五名を出動せしめて警戒に當り市中は軍人會員のみで警備についてゐるが市民は非常に恐怖に襲はれてゐる【本溪湖電話】

部下を殺し 有馬警部補泣く

遺骸と共に太子河着

牛心臺よりの死傷者及び有馬警部補等は八日午前十一時太子河驛に歸着したが、後部無蓋車には三個の遺骨白雪を冠りて横はり負傷者遺族等は全部客車に乘りて到着したるが、左腕に繃帶したる有馬警部補は下車するや出迎への大岩署長に抱きつきオオと聲を揚げて泣き「部下を殺してしまひました」と自分の負傷を顧みず泣いて居たのを見て居合せた人々はいづれも熱淚を催した、それより直に迎への擔架にて滿鐵醫院に收容された【本溪湖電話】

連山關の守備 隊應援に出動

牛心臺より東北方に移動せる匪賊…

下賜の眞綿を謹製

皇后、皇太后兩陛下には酷寒の滿洲警備の任に當る將士の勞苦を思召され眞綿下賜の恩命があり宮内省では農林省を通じ大日本蠶系會に委託目下同會では東京蠶糸學校内に於て調達中であるが五日午後二時半から宮内省、陸軍省より係官が同校に出張調製振りを檢分した【寫眞は右より野口侍從武官、宮内省用度課長、原田少佐、千葉大尉】

死傷者 全部で六名

牛心臺で匪賊と交戰し死傷した我警官隊は八日午後一時半本溪湖に到着、負傷者は直に滿鐵醫院に收容加療中であるが生命には別條ない模樣である、なほ卽死者、負傷者の氏名は左の如くである

卽死者 金巡捕長(右頸部貫通銃創)姜巡捕(口から頭蓋骨貫通銃創)劉巡捕前頭部貫通銃創

負傷者 有馬警部補(左前膊銃創)高橋巡査(右腓骨下部盲貫通銃創)門屋巡査左[illegible]銃創【奉天電話】

門屋巡査の 苦戰談

漸く血路を開く

今朝未明より牛心臺を襲撃したる賊は警察隊五名は牛心臺北方にて賊百餘に遭遇し直に交戰したるが賊は掃蕩のため我偵察隊は第一線に起ち追擊中であるが連山關守備隊より三川中尉以下五十名急遽出動八日午後十二時四十分牛心臺に到着直に現場に向つた【奉天電話】

二十名の大部隊にて警官隊は漸次包圍さるゝ狀態となりたるより何れも一方の血路を開いて辛うじて逃れたるが門屋巡査は九時頃驢馬にて歸署した、同巡査は偵察隊は包圍され全く危地に陷つたので自分は太子河を渡り西岸の支那部落にて驢馬を徵發し撫順街道に入り守備隊裏に出で歸署したが同僚の生死はもとより一切の消息は不明であると非常に昂奮して語つた【本溪湖電話】

二名を斃し 一名捕虜

學良の別働隊

牛心臺の兵匪討伐隊は同地より約三里追跡交戰の結果匪賊二名を斃し一名を捕虜としたが日沒に及び一先づ全員牛心臺に引揚げ九日朝更に討伐に向ふ筈である、因に捕虜は支那の正規兵の服裝をなして居り明かに張學良派遣の別働隊の合流指揮せるものなることが實證された【奉天電話】

支那雜貨商に ゆふべ拳銃強盜

賊は發砲して逃亡

八日午後十時ごろ市内沙河口月町九番地雜貨商文昌茂記こと趙增順方にて店員崔治淸(二〇)が閉店すべく表戸を閉ぢんとした際ロイド眼鏡に白布をもつてマスクをかけた三十歳前後の支那人強盜が侵入し矢庭に店員崔の鼻柱を毆打し鼻血を出しひるむ隙に怪漢は帳場に居た主人趙に拳銃を突きつけ金品を強要してゐるのを裏庭に就寢していた主人實弟が急を沙河口署に告げたので同署の板津保安主任は當直員數名を隨へて直に現場に急行し表戸を破つて屋内に侵入せんとした際これと知つた賊は強要中の主人趙に對し拳銃一發を見舞つて「覺えてゐろ」と捨科白を殘して裏口より暗にまぎれて逃走姿を晦ました、被害者は生命に別狀なく、犯人嚴探中

最後の別れ 奉天の夜

ダンスが得意

目下長春に滯在中の滿鐵本社外事課勤務の尾長氏に伊東氏の死を知らして訪れば驚きながら語る

伊東が殺されましたか?伊東は何しろ背丈は五尺八寸の大男で十二文の足袋をはくといつた堂々たる男です、淋しい中にも却々面白い男で殊にダンスが上手でしたが思へばあれが最後の別れだつたのですれ、恰度去る二十八日の夜奉天で一杯呑んでパリジャンでダンスをしてゐましたが非常にスタイルがよいのと上手なので大喝采を博しましたがその時の有樣が目に浮ぶやうな氣がします、かれ〴〵友達が妻もある身だし保險に入れさと盛んに勸めたもんですが、俺はこんな丈夫な體だから大丈夫だと笑つて這入らなかつたんですがそれ程保險嫌ひで有名な男だつたんです、然し私達は親しい友人を一人失つたゞけですが奥さんのことを思ふと暗然たる氣持がします、早速おくやみの電報を打ちませう【長春電話】

土地事件の被告 十七名に求刑

十四、五日に續行公判

民政署土地疑獄事件の續行公判は八日午後一時から開廷辯護士團から各被告に對する證人調べの申請ありさらに池内檢察官から大連民政署三浦財務課長の證人喚問、土地係の土地測量申請其他書類の取寄せ方を申請、合議の結果被告中原常次郎外十六名の證人調べは採用となり、この分のみは證人調の申請がなかつた志賀庄七外十名のとは分離され當日續行となり、檢察官申請の分も採用となつた(へ)この時花井博士の追悼會のため休憩)午後五時から再開し一部補充訊問の結果直に池内檢察官の論告に入る

被告全般を通じて一部犯意犯罪を認めてゐるもの、また一部を否認してゐるが必ず當法廷で否認することのみが眞實とは認められないが收賄者側は大體に於て受け身の立場にあり本件によつて職を失ひ、永らく未決に拘束されてゐたといふ點など科刑のうへに相當酌量すべきものがある、しかし乍ら苟しくも公務執行上に於て收賄饗應の事實が少しでも存在することは職權の公正を疑はれ一般官吏の警戒のうへから處罰の必要を認める

と論告し左の十七名に對しそれぞれ求刑し午後六時三十分閉廷した

元大連民政署土地係 懲役四月 築地七之助
同 懲役四月 淺川英次郎
檢務會商 罰金三百圓 川原與三吉
元大連民政署土地係 懲役四月 中原常次郎
建築設計業 懲役二月 原田忠一
建築請負業 罰金四十圓 井手市吉郎

罰金八十圓安立喜▲罰金百圓王福亭▲罰金二百圓由才治▲罰金六十圓揚壽昌▲罰金四十圓劉子和▲罰金百二十圓劉儒堂▲罰金百三十圓蔡根祥▲罰金百五十圓劉豐祥▲罰金百五十圓石玉琛▲罰金百五十圓石玉榮▲罰金五十圓王永常

なほ右被告十七名に對する續行公判は來る十四、十五兩日開廷辯護團の辯論ある筈

健康週間謝金 を慰問に贈る

先般催された健康週間に對して犧牲的奉仕をした各團體に對して本社では薄謝として金一封を呈したところ大連醫院においては社會的奉仕として盡せるものなるためこの謝金も亦奉仕に使用すべきものとし八日謝金を在滿軍隊慰問金として贈ることゝなつた

油房小火

八日午後十時ごろ市内鹿島町三番地福順厚油房製造場より發火せるが急報によつてかけつけた消防署の活動によつて大事に至らず同十時半鎭火

滿電の入江專務さる五日の朝、月見ケ丘の自家から自家用の自動車で出社に及ばうと疾驅して來ると、沙河口近くで大きな圖體の自動車が、どうしたハズミかピタリと往來に立往生して居る。

不圖これを眺めた入江さん、更めて見直す迄もなく、それは大連行きの旅大バスと知つて、さうこう車から飛び降り、一應調べて見ると、車の心棒か何かに故障が出來たらしく、容易に動きさうもない、それと知つた入江さんは、直ぐ自分の車のドアを開けて「お急ぎの方はどうぞ私の車に」と合計六名をのつけて終點まで運れて來た

そして傍人に「どうだ俺のサービスぶりは」と大に得意がつたはイ、が、スグあとから「アレア俺の會社の車だつけナ」と苦笑【寫眞は入江氏】

曙の鐘 (133)

倉田潮 作
河野想多 畫

夜船情話 (四)

湘吉はおしの屍體を舟に乘せて親舟に歸つて行くことは出來なかつた。仕方なく彼は屍體を小舟にのせたまゝ、一二町沖の方に舟をこぎ出した。

月のよい冬の夜だつた。月光に屍體をしらべて見ると、咽喉に鋭利なナイフのあとがあつた。假名書きの遺書によると、おしのは若衆に見つけられ押して來られて、兩親が繩解に窮してゐるのを聞きながら、自殺したのだつた。湘吉は烈しい悲しみに襲はれてそのまま自分もそこで死んでしまひ度いと思つた。彼は屍體に取りすがつてどうこくし號泣した。がよく見ると、屍體は死んでゐるとは思はれぬほど美しい。顔は透き通るほど白く、眼は眠つてゐるやうに安らかに閉ぢてゐる。彼は幾度となく屍體の顔に接吻した。と、おしのがそれを喜んでゐるやうにさへ見えるのであつた。

彼は屍體を水葬する氣にはなれなかつた。何時までもおしのと一緒にゐたい。そして、最後に彼も屍體と共に海に身を投じて死んでしまはふ。さう思つて彼は屍體と共に沖へ沖へと舟をこぎ出した。

冬の月は青い鏡のやうに空にかゝつて、海は鱗の如くその光を反寫してゐた。舟はその上を黒く沖へ流れて行く。彼はその夜屍體と共に騒落ちの一夜をあかした。が、曉の夢がさめた時、屍體と共に海のもくずとならうと思つたことは破れて、舟は金華山沖に出漁してゐた多くの漁船に取りまかれてゐた。洋上にたゞよふ小舟を彼等は艀波船のボートだと思つたのだつた。湘吉はそこから警察に連れて行かれ、仔細に取り査べられた末に釋放されたが、その時は勿論おしのゝ屍體とは別れてゐた。彼は完全に死に遅れてしまつた。が、おしのに對するせめてもの義理立てと、それ以來今に至るまで獨身を守つて、利根川通ひの舟に船頭をしてゐるのだつた。

あゐれえでご座んせう」

と船頭は話を終つた。春木はそのロマンスに興を覺えた。海と川とはことなつてゐるが、それもこれも水の上であり、そして、月光の夜の出來事である。

よしづをすかして河上を見ると月は光を波に投げて、川一面を青い憂鬱に染めてゐる。波の音はろの響きと聲を合せて、恰も悲しみ泣いてゐるやうに聞えた。

春木はコップの火酒をのみほした。燒酎の中に梅の實を入れたもので、味は非常によかつた。

舟に乗る時、春木が船頭に暗い影を見たのは、船頭の心にやましい處のある爲ではなく、限りない悲しみのある爲であつた。若い日に心に烙印された悲劇が彼の面影に暗い影をつくつてゐたのだつた。

春木はすゝめられるまゝに快く盃を重ねた。たえ子も船頭に好意を「自分の兩親ともおしのゝ親ともそれ以來一度も逢つたことは御座んせん。が、もう今は誰も生きちの瞳を投げてゐた。

船頭は酒がつきると、船底から瓶を出し、再び酒をくみ初めた。酒より外に彼の殘生を慰めるものは無いのであらう。が、盃をくみ交してゐる春木は、強い火酒の爲に全くよつて、つひには寝座に踞つて眠り初めた。たえ子も彼の背に顔をうづめて、響くまどろむもののやうだつた。

ろの聲と波の音が春木を深い眠りに導いて行く。眠るまいとして彼は次第に眠りの底の沈んで行つた。……

ふと彼は輕く體を搖り動かされたやうに感じた。眼を開くと、顔の先に船頭が微笑を浮べながらイんでゐたが、

「もう間もなく着きますよ」

と云つて戸を開いた。起き上ると何時か朝になつてゐた。舟は大利根の波をかきわけながら、勢ひよく水上へすすんでゐる。見ると舟には白帆が張られてゐるのであつた。

新年俳句川柳 募集

◇俳句 課題「新年雜詠」五句以内、東京市牛込區若松町八一島田青峰氏宛（滿日俳句と朱書の事）
◇川柳 課題「福」五句以内大連市能登町十高橋月南氏宛
◇締切 十二月十五日
◇賞金 俳句川柳とも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

けふの放送

大連 JQAK 十二月九日

▲午前七時 ラヂオ體操
▲午後六時五十分 ニユース
▲英語講座「テキスト第三十四課」大連神明高等女學校山田長三郎
▲マンドリン獨奏「ポルカバリアータ」(ビッテルー作)「降誕歌」(ベッティーネ作)「ボレロ」(テリー作)伊藤十五郎
▲筑前琵琶「旅順の乃木」法愈山川原旭華
▲人情噺「情の雲井龍雄」菱田泰輔
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース

東京 JOAK 十二月九日午後六時三十分

▲時事講座「滿洲事變と日本財界」法學博士渡邊鐵藏 ▲運動競技「送別日比拳鬪試合狀況」日比谷公會堂より ▲常磐津「新荷雪間の市川新山姥」淨瑠璃常磐津和佐太夫、同綾瀨太夫、同和喜太夫、三味線市松、上調子小和佐

討伐權は我代表宣言 撤兵問題條項は削除

今曉の理事會にて意見一致

聯盟會議は愈よ終幕

【パリ七日發】本日の理事會十二ケ國會議は午後五時十五分（滿洲時間八日午前一時十五分）より午後六時四十五分まで前後一時間半に亙り決議草案を審議したが、會議の結果決議案並に議長宣言字句に關し全員意見の一致を見るに至つたものと解される斯くて日支紛爭に關する三週間に亙る會議は結末を告ぐるに至つた、而してその方針は撤兵期明示とか、匪賊討伐權とかいふ如き暗礁多き問題は決議案若しくは議長宣言文中から除くことによつて婉曲に回避し、萬事は現地に派遣せらるべき調査委員の活動に聯盟の實質的効果を期待せんとするものでその要項は左の通りである

一、**匪賊討伐權に關する日本の主張は議長の宣言文中から削除し、その代り公開理事會席上芳澤代表より右趣旨を宣言**することを許し且つ他の理事國代表は爾後右宣言に關して批評の自由を保有すること、而してこの批評の自由なるものは日本をして今後極端な行動に出ることを遠慮せしめるための一種の婉曲な警告を意味するものと解する向もあるが、少なくとも形式上は單なる批評の自由なるにとゞまる

一、**錦州を含む中立地帶の問題**に關しては聯盟調査委員が現地に到着すれば委員會は撤兵その他の解決を促進するだけの充分有力な機關たり得るに至るべきを信ぜらる、故に**この際强ひて決定を求めずともその窮極的解決はこれを委員會に期待し得べく**從つて調査委員會が行ふ報告に關する**決議草案第五項の條項は削除し議長はその宣言で右に同じ一般的言及をなす**

一、對支混合調査委員の數を六名に增加するに決した旨傳へられたが、其後右報道は事實に相違ある事判明した、**委員の數は依然五名を固執する事原案と變りなく然も英、米、佛の三國以外には委員を出す國が未だ決定を見るに至らぬ**といふのが現在の眞相である

錦州中立地帶案放棄

理事會日本の對案を曲解

【パリ七日發】十二ケ國代表は七日午後の會議の結果錦州地方中立地帶設置案を放棄に決し單に錦州方面における現狀を承認して日支兩軍に衝突を回避することを要請するに決定した而してブリアン議長は特に日本政府に書翰を寄せ日本軍が同地方より撤退したる事實に關し感謝の意を表明するものと觀られてゐるが、右の如く芳澤代表からブリアン議長に通告した日本政府の中立地帶案が理事會の容れるところとならなかつた理由として今夜聯盟方面で傳へられる處によると日本案は結局錦州（就中錦州より山海關に至る地帶）を全く日本軍の手中に歸せしむる魂膽だと甚だしき曲解をなせる結果であると觀られてゐる

公開會議は九日

【パリ七日發】理事會公開會議は九日開會に暫定的決定を見た、恐らく最終會議とならう

討伐權宣言字句承認

【パリ七日發】決議案起草委員會は十二ケ國會議の散會後午後七時より伊藤述史氏を招き八時半まで審議一時間半に及んだ **匪賊討伐權に關し芳澤代表が公開會議席上行ふべき宣言の字句については十二ケ國會議の同意を得たが、**右芳澤代表の宣言に對し會議席上反駁乃至批判を爲す事を禁ずべしとの日本代表部の要求は未だ十二ケ國會議の受諾を見るに至らない、依つて決議案の本極りを見るのが多少遲れるかも知れぬが右宣言は全然匪賊に言及せず專ら軍事行動の自由に關するものだとの說がある之は全然據がない

天津管理案立消え

理事會は最早難關を乘越えた

施支那代表の意見

【パリ七日發】本日午前の決議起草委員會においてはセシル卿が支那代表施肇基氏に對し決議草案に對する日本政府の主張を說明し起草委員會としては出來るだけ日本政府の希望を容れたい意向であると力說したといはれる之に對し施代表は

本國政府の訓令は決議原案に關するもので修正を加へられた點については改めて請訓しなければならぬ

と自己の立場を明かにしたがセシル卿は施代表に對し支那側が之に應ずる事を促した、右委員會後支那代表施肇基氏は語る

余は一寸風を引いてゐる、余は天津國際管理案を持出したがその案には一定の地域を限つたものではなかつた、然し兎に角現在では**天津國際管理案は全く立消え**となつてしまつた、今日の起草委員會では日本の提案を聽取し決議案の全般につき審議を遂げた **最早紛爭の圓滿解決を妨げるやうな乘越え難い障碍がなくなつた**と信ずる

中立地帶問題と南京政府の不信

重光公使の聲明書

【南京七日發】重光公使は先月末來京以來中立地帶問題に關し顧維鈞氏と交渉中なりしが支那側の不誠意から交渉決裂したので今日午後四時日清汽船の城陽丸で遂に上海に引揚げた出發に際し重光公使は大要左の如き聲明書を發表した

錦州軍及び錦州政府は馬賊便衣隊を使嗾し表面無抵抗を唱へながら裏面で旺んに對日敵對行動を奬勵しつゝあり若し日軍が徹底的に土匪討伐を行はば勢ひ錦州軍と衝突を免れぬ顧維鈞氏は此點を考慮し先月廿四日英米佛三國公使に對し日本に異存なくば錦州より山海關に至る間に中立地帶を設定し錦州軍は全部關內に撤退する案を提出し日本は聯盟の九月三十日の勸告に副ふやう多大の困難を排し之を受諾し同時に非常な犠牲を忍んで日本軍を後退せしめた、よつて今回余は顧維鈞氏との會見において繰返し日支兩國の困難を脫するため最初にして唯一の方法は兩軍衝突の防止にあり、このため中立地帶設置を實現するは極めて重要にして日本が既に受諾せる以上支那も同樣誠意を示されたいと勸說したが、顧維鈞氏は日本軍隊が引揚たるを見て既に英、米、佛及び聯盟を引入れたと感じたか又は右提案により單に事態を複雜化し日本を牽制せんと考へたるか或は學生その他種々の內部的困難事情によるか明かでないが兎に角今日では顧維鈞氏は最初の提案の趣旨實現に極めて冷淡で余は遺憾に堪へない

まだ安心は出來ぬ

伊藤述史氏談

【パリ七日發】匪賊討伐の點を日本代表の一方的宣言でなく議長の宣言に入れやうといふ日本の提案通りになつた事、又兎も角調査委員報告の點を決議文から拔き出してしまふ方針になつた事は起草委員會の仕事が大いに進步したものと觀て樂觀してよきやと伊藤述史氏に質問したところ伊藤氏は「未だ〳〵安心は出來ない」と語つた、起草委員會が終つた後伊藤氏は記者に對し「今日はなか〳〵骨が折れた」といつたが伊藤氏は起草委員四人とドラモンド氏の五人を相手に一時間半に亙り盛んに討論して來たのである、伊藤氏の聲が馬鹿に大きいので隣の室では同氏の聲ばかりが聞えて來た【寫眞は伊藤述史氏】

全滿日本人聯合大會（きのふ奉天における）

ガラ空きの外交部

顧維鈞部長以下職員行方不明

學生運動を恐れて

【上海七日發】南京來電によれば既報の南京、北平、上海の各學生は支那鐵道の大幹線たる津浦、京滬兩線を完全に杜絕せしめ、一方學生の面會强硬に恐れをなした顧維鈞外交部長は自己の威嚇どころか生命の危險を感じ朝來姿を隱し一國大臣の要職にある者が行方不明を演ずるに至つた、その他の外交部職員も姿を見せず外交部はからあきでホースを持つた消防夫と憲兵隊を以て物々しく警戒してゐるがこの二日間新聞記者や學生がその行方をやつきになつて探してゐる

不法學生逮捕

【南京七日發】蔣介石氏は本日北平學生の請願を議題とする南京學生團と會見し「爾後學生運動にして不法行爲と認むる時は容赦なく逮捕すべし」と言明した尚監禁された北平學生の中百八十五名は既に北平に護送された

外交方針を學生に說明

【上海八日發】學生の請願運動は政府の懇諭にも何等の效なく北平學生の南下と相俟つて濟南學生二千五百名も前述の勸告を斥けて乘車を强要しつゝあり、其一部は旣に徒步で南下を開始した、斯くて全國各大都市の學生も漸次之に倣ひ而も其の背後には恐るべき共產系の活動もあり政府總辭運動より何時反政府運動に變るやも知れざる形勢にあるので國府教育部は各學校に政府の外交方針殊に中立地帶問題、日支直接交渉說に對し支那側の强硬的既定方針を說明せしむる事となつた

滿蒙政策協議機關

折衷案作成に努力

けふ各關係者が協議

【東京八日發】滿洲における我恒久策を樹立せんとする軍部側の滿蒙國策確立機關設置に關しては政府並に軍部において考究の結果國際關係をも考慮して政府に於ては關東都督府を避けて滿鐵、關東廳、朝鮮總督府、外務及び軍部を一丸とした滿蒙委員會を設定せんとの議があるが、軍部側の意向は政府の意向と多少の懸隔があるので政府としては軍部側の意向通り右の委員會設置を躊躇する者があり、その結果前後の情勢よりして政府においては極めて讓步的なる態度を以て關東長官並に滿鐵總裁は單に顧問として該委員會に臨ましめんとする意向を有してをり八日各關係者と協議の上軍部案と妥協し得る案を得るに至つたならば九日の定例閣議で各閣僚の諒解を求め之が實現に努めんとするものゝ如くであるが其實現性は國際關係も考慮して相當危ぶまれてゐる

行財政審議會

【東京八日發】臨時行財政審議會は八日午前十時開會昨日の閣議で決定した稅制整理案につき審議した

韓軍平津乘込準備

兵を河北省境に集結中

【天津七日發】韓復榘氏は蔣介石氏より東北軍の錦州守備を援助するため河北省境に兵を移動すべしとの命令を受けたと稱しその部隊を德州より桑園に集結しつゝあり、一方滄州にある于學忠軍の一部も之に呼應して兵變を起こした、これは韓氏の平津乘り込みの準備行動と見られてゐる、斯くて張學良打倒の火の手は津浦線方面より擧げられ各方面に波及するものと憂ひられてゐる

國際聯盟脫退も對日宣戰も不能

于右任氏國府記念週で演說

【上海八日發】于右任氏は昨日の國民政府記念週で支那の聯盟脫退や對日宣戰布告は共にいふべくして行はれぬものだと左の如く述べた

國際聯盟脫退には二ケ年の豫告を必要としそれ迄規約を守る義務あり且つ聯盟は現在支那を支援し日本を制肘する唯一の機關であるから聯盟國として自國の立場を闡明しその援助を得る事が絕對必要である、對日宣戰布告問題は國民的熱情の發露で政府も考慮したが、日本が宣戰を敢てせざるは國際公約の責任を避けるためである、支那が若し宣戰を布告せば國際平和破壞者として制裁を受け領土主權の維持も出來ない、即ち對日宣戰はいふべくして行ひ難い【寫眞は于氏】

日本案協議

【パリ七日發】今日午後の聯盟理事會決議案起草委員會は施肇基氏と中立地帶並に支那調査委員會に關する日本案につき協議したなほブリアン氏は午後三時半芳澤公使と會見した

日本勝てり

紛爭解決案の印象

【パリ七日發】本日聯盟理事國秘密十二ケ國會議が到達し得た日支紛爭解決案については一般に日本が勝てりとの印象を與へ、起草委員會の中心たりし英代表セシル卿自身すら「我々の失敗は事實だ」と述懐し某理事國代表は「若し聯盟が來年二月軍縮會議召集を希望し來らば余は今回斯くも無力なりし事を思ひ起し回答せねばなるまい」と述べ一般軍縮會議につき悲觀的觀測を下すに至つた、なほ連日に亙る心勞著るしきためブリアン議長は目下休養に努めてゐる

北平學生團

【上海七日發】南京來電、示威運動で檢束された北平學生團は今朝その非を悟り嚴重警戒の下に浦口に護送せしめ津浦線で北上歸平せしめた

通遼、鄭家屯で學良別働隊活動

滿鐵線脅威を圖る

張學良は最近遼北蒙邊騎兵第一旅司令部を開魯東方約二十粁の阜里克圖府に又第二旅司令部を通遼西北方約四十粁の達爾漢王府に開設しその別働隊を以て通遼、鄭家屯方面に活動せしめつゝある、右は錦州方面の支那軍と相策應して滿鐵線を脅威せんとするものと觀られてゐる【奉天電話】

張景惠を主席に馬占山に軍事を

黑龍江政府組織交渉

【ハルビン七日發】去る五日チチハルより來哈した黑龍江省民代表十八名は連日ハルビン行政長官張景惠氏に御百度を踏み黑龍江省の新政府組織のため張氏の可及的急速出發を懇望してゐるが、兵馬の權なき張氏は容易に御輿をあげず右顧左眄的態度を持して黑龍江省民代表を懐柔してゐる、その理由は

一、張景惠には兵馬の權なき事

二、差し當り軍費數百萬元の調達に困窮してゐる事

三、東四省の大勢觀望する必要ある事

四、張景惠の意を體して馬占山がその去就を鮮明にしない事

五、馬占山その他萬福麟系の將領との會見が極めて微妙である事

等である、依つて某々方面では黑龍江省政府の急速な組織を實現せしむるため七日より馬占山と膝詰談判中であるが之が實現の上馬占山は黑龍江省の全體の軍事を、張景惠氏は黑龍江省政府主席となり專ら政務を執掌する事となるが、この御膳立が實現する迄にはなほ相當の紆餘曲折を經べく果して年內に實現するか疑問とされてゐる他方敗殘せる馬占山軍は匪賊と化して各地において放火掠奪の惡虐を恣にしてゐるのでチチハル方面の日本軍はチチハル政府が完全に組織されるまでは已むなく駐屯させるべく年內の撤退は困難と見られてゐる

人事

▲今津十郎氏（大連商業銀行重役）八日入港はいかる丸にて歸連

▲今尾登氏（大每社員）同上

▲大熊敏三氏（關東廳醫官）同上

▲中野醇氏（國際運輸東京支店長）同上

▲船津辰一郞氏（在華日本紡績同業會理事）八日入港長春丸にて來連

▲神田正雄氏（前代議士）同上

蛇角

皇后、皇太后兩陛下より御下賜の繃帶、十日奉天到着の豫定、畏し。

◇

南下した北平學生團、說諭されて歸平、此手合はそれで氣が濟むまで寄こして說諭すれば、それで收まるは必定。

◇

顧部長以下行方不明、南京外交部ガラ明き、學生の强談威嚇を恐れた結果だ、こんな手合を相手に日支交渉は到底出來ない。

◇

錦州中立地帶案も、天津國際管理案も共に立消え、第三國人の入込みさうな案は消えたがよし。

◇

國際聯盟理事會決議を急ぐ、事件の解決とは自ら別問題。

◇

淺間山近來稀な大爆發、何を怒るか、何を豫示するか。

蔣介石氏北上決意

兩三日中出發か

【上海七日發】當地に達した信ずべき情報によれば廣東の代表會議は蔣介石氏が下野を實行せねば代表を南京に派遣せぬ事に決定しその旨南京に通告し來つたので蔣介石氏も愈々せつぱ詰つて先般の宣言を實行する名目で北上する決意を固め國民政府主席と行政院長を林森氏に臨時代行せしむる事とした、蔣氏は兩三日中に出發すべく目的地は河南の鄭州だといはれてゐる

駒井顧問一行 馬占山を訪問

【海倫七日發】馬占山と會見の爲め七日朝ハルビンを出發した駒井顧問金谷一等主計總領事館警察署員、新聞記者等の一行十九名は昨夜來降りしきる粉雪を衝いて呼海鐵路で本日午後五時無事海倫に到着し直に馬占山と會見した

東亞の謎（144）

國枝史郎　挿畫　伊藤順三

危機から危機へ（十八）

洋子がピストルを擊つたのであつた。

洋子は蒙古人に擄がれた瞬間、ハッと思つて氣を失つて了つた。さうして失心から醒めた時には依然として蒙古人に擄がれて居り、しかも是迄來たこともない、喇嘛寺院の堂內にゐた。

（どうしやう？）と彼女は先づ思ひ（逃げなければいけない）と續いて思つた。

その次に彼女は上衣の內ポケットに先刻日本人組から贈られた——鏡にひそめて贈られた、ピストルのあることに氣がついた。

そこで彼女はピストルを引き出し、殆ど夢中でぶつ放した。

これは非常に效果的であつた。蒙古人達は狼狽し、て思はず洋子を放して了つた。

洋子は立ち上がるともう一發、一人に向つてぶつ放した。

彈丸は中りはしなかつたが、蒙古人達は逃げ出した。

で、洋子も堂から飛び出し、廣い空地へ現はれた。

併し洋子は思ひ返した。

（蒙古人達も空地を走つてゐる。其方へ自分が走つて行つたら、つかまへられまいものでもない。反對へ逃げて行かう）

そこで彼女は堂の奧を目差し、引つ返して走り込んだ。

するとどうだらう堂の奧の方から、凄じい人聲や物の音が起こり、此方へ押し寄せて來るやうであつた。

（あぶない〳〵、行つては不可ない、何か危險があるらしい）

彼女はギヨッとして立ち竦んだ奧の騷ぎはだん〳〵烈しくなり次第に此方へ移つて來るやうであつた。

洋子は後へ引つ返した。

さうして堂の出入口に立つた。

と、一人の人間が、空地を走つて行く蒙古人達の方へ、何か叫び乍ら走つて來たが、四人の蒙古人達はその人間を見ると、地へ跪いて叩頭し出した。

それを見すてゝその人間は、洋子の方へ走つて來た。

それはヤポン、ダットであつた。しかし距離が遠かつたので、洋子には何物だか解らなかつた。

いや、自分を捉へに來る、蒙古人の仲間だと感違ひした。

そこで彼女は復奧を目差して走つた。

その奧の轉生堂では、凄まじい騷動が起つてゐた。

也速該は一聲悲鳴を上げたが、抱いてゐた小夜子を手から放した。で小夜子は寶座から、鞠のやうにころがり落ちた。

その時には也速該は寶座の上に文字通り魔王のやうな獰猛な姿で咆吼しながら立つてゐた。見れば右の手で左の肩を、摑むやうに抑へてゐる、其處から血が流れ出てゐた。

次郎の擊つた彈丸が、そこへ命中したのであつた。

也速該は幾度か咆吼した。

その咆吼に正氣づき——最初は意外の出來事のために、茫然として了つた喇嘛僧達が、一齊に飛び上がつて喚き出した。

侍女達も飛び上がつて喚き出した。

彼等は伯と次郎とが、蒙古兵の姿をしてゐるので、事實城內の蒙古兵だと思ひその亂暴を內亂的行爲と誤り鎮める爲めに喚鳴つたのであつた。

しかし遂々也速該は、二人の正體を見破つたらしかつた。

牛心臺、賊に包圍されて 派出所停車所全燒す
わが警官隊四名死傷

牛心臺（溪城鐵道終端驛）の殘留部隊有馬警部補以下八名は賊團と交戰、必死に應戰しゐるが賊團は約百數十名となり攻擊猛烈を極め警官隊は苦戰に陷り、牛心臺は遂ひに賊團に包圍され殘留警官隊のうち金巡捕長及び劉、闞の兩巡捕は卽死、有馬警部補、高橋巡査は重傷、また同地派出所及び停車場は賊團のため放火を受け全燒した【奉天電話】

牛心臺の派出所に 二萬圓と拳銃要求
警官隊が捜査中衝突

牛心臺復興公司杉山義正氏を拉去したる賊團の行方は本溪湖殘留部隊の本溪湖司法主任有馬警部補以下八名が極力捜査の結果、杉山氏が賊團に拉去された途中出會つて同じく拉去された王崗溝居住の支那人を使者として牛心臺派出所に十日迄に金二萬圓、ブローニング拳銃十挺、彈丸一千發を牛心臺東北方十五支里の大柳灣まで持參せよと脅迫し來つた、同使者につき嚴重取調の結果賊は約九十名にして各自長銃を所持してゐる、右要求に應ぜざれば直に牛心臺を襲ひ同地を全滅に歸せんと豪語してゐるので賊團の行動を極力內偵中、

八日午前六時四十分牛心臺に於てわが殘留部隊と兵匪と交戰中なり

その急報により本溪湖署長以下現場に急行した【奉天電話】

本溪湖警官隊 賊團を擊退
奉天撫順からも救援

約百名からなる匪賊團は七日來牛心臺炭礦及び停車場を占領し形勢益々不穩となつて來たので本溪湖のわが警察隊は八日午前六時四十分これを討伐に向ひ交戰一時間半の後擊退、目下紅臉溝炭坑方面に追擊中、また牛心臺の急報に接して奉天署から警部補以下九名、撫順署から警部補以下六名は武裝を整へ應援のため現場に急行した【奉天電話】

討伐主力隊 引揚げ後
八名だけ殘留

七日朝牛心臺を襲つた賊團は百名の兵匪が合同したもので三日夜牛心臺、紅臉溝の村長敬吉春方に侵入して金品を掠奪しその後我軍の動靜を窺つてゐたもので自警團の休息を知り百名の賊は朝八時紅臉溝復興公司事務員刈谷一郎方を襲ひ留守中の母ミヨと公司監督杉山義正を脅かし金品を要求、現大洋三十元時計一個着物二十枚を掠め盛んに發砲した、杉山は急を牛心臺派出所に告げたが、人質となり賊は東北の山へ逃げた、本溪湖署警官三十五名、守備隊二十五名と闘り午後一時賊を追擊したが遅く賊影を見失つた、同地に警部補以下八名を殘し午後六時主力は一先づ本溪湖に引返した【奉天電話】

下賜の繃帶を 捧持し奉天へ

【東京八日發】皇后皇太后兩陛下より下賜の繃帶は梶井陸軍省衛生課長が捧持して七日午後九時四十五分東京驛發滿洲に赴いた來る十日奉天到着の筈である

甘井子を見學

目下入港中の練習艦隊士官候補生百七十名は八日午前十一時南島丸にて甘井子埠頭を見學午後三時歸艦した

大宮御所へ 兩陛下行幸啓
御土產品を御贈進

【東京八日發】天皇皇后兩陛下には八日午前十一時半宮城御出門、一木宮相其他供奉員を從へさせられ自動車鹵簿で大宮御所に行幸啓、皇太后陛下を御訪問過般の大演習御統裁引續き地方御巡幸遊ばされたる御挨拶を述べさせられ御土產品を御贈進午餐を御會食午後も種々の御歡談遊ばされ同三時半大宮御所御出門宮城に還御遊ばされた

南支を視察して 各派要人と會談
「海外」社長神田正雄氏來る

雜誌「海外」社長前民政黨代議士神田正雄氏は約四十日に亘り南支各地を視察中であつたが事變後の滿洲視察のため八日入港長春丸にて來連した氏は船中サロンで語る

內地を出發する時支那の要人は恐らく面會もしないし話もすまいといはれて來たが行つて見ると實によく會へて實によく話が出來た、上海並びに長江筋は漢口まで足を延ばし更に福州まで行つて來た、南京では蔣介石をはじめあらゆる要人と會ひ廣東派の人達とも忌憚ない意見を交した、今後はどうしても廣東派と南京派の合作によつて內政の敢行を計るより他ないと思ふが、それ迄には仲々並大抵でない色々な惡い材料がある樣だ、張學良と蔣介石、二人は一寸相撲にはならぬよ、蔣介石の北上說も一種のトリックに外ならない排日貨に對しては最近にいたりその非が大分解つて來た樣な動きにあつた

天津の反日運動巨頭 王を逮捕し取調中
我軍の警備狀況密告

【天津八日發】當地における反日運動の巨頭王某は過般の天津事件中境界線における日本軍の警備狀況並に防禦陣地を詳細敵方に報告してゐたのを探知しわが憲兵隊においては警察と協力、南旭街の新旅社にて難なく逮捕、目下憲兵隊に拘引嚴重取調中

軍隊の送迎を 一層盛大に
けふ軍人後援會協議

大連軍人後援會では八日午後三時から民政署會議室に於て評議員會を開き今回の事變に鑑み左記事業遂行のため昭和六年度追加豫算の件を附議する

一、軍隊の送迎を一層壯ならしむる事（日の丸の小旗を作り軍隊送迎の際一般送迎者、主として兒童學生に配布しその行を壯ならしむ）
二、大連を通過する戰傷病者に對し慰問金品を贈呈すること
三、大連を通過する戰死者遺骨に對し花環その他の供物を贈呈すること
四、大連管內在留者にして滿洲派遣軍人軍屬に對し慰問狀又は慰問金品を贈呈すること
五、前項の軍人軍屬にして死傷したる場合弔慰金を贈呈すること
六、第四項の軍人の家庭訪問を爲すこと
七、此際會旗および會名入提灯を作製すること

玩具拳銃で 強盜未遂
遊興中を逮捕

七日午後十時半ごろ市內西崗街支那料理店六二號に玩具拳銃を所持して遊興してゐる擧動不審の支那人があるのを小崗子署員が探知し本署に引致して取調べた結果この支那人は天津生れ當時住所不定王慶貴（二）と言ひ去る六日午後六時ごろ小崗子西崗街二十五金融業王鳳山（三）方へ僞拳銃で一儲けせんと侵入したが店員袁長禮（二〇）が戶外に飛び出し立ち騷いだため目的を果さず前記六十二號に潛伏中を逮捕されたもので最近西部大連方面を荒す拳銃強盜は此奴の仕業ではないかと目下引續き取調べ中

春雨の樣な氣狂ひお天氣
平年よりも八度以上も暖かい
鞍山營口以北は雪

數日來のあたゝかさ、十二月の空にしとしと霧雨が煙り街路樹の楊も青ばみさうな氣狂ひ天氣だ、五日午前十一時の十一度を最高に八日午前になつても未だ六度を降らぬ暖かさ、おまけに細糸の雨あしがアスファルトを叩く音を聞かうといふ滿洲の十二月情景としては珍しい風物を見せてゐる、この原因を若草山觀測所では語る

三日前に北滿洲、黃河下流に起つた低氣壓が東進して一昨日の雨から一時落ちついたと見えましたが又八日夜明に渤海方面に小低氣壓が生れた爲め天氣恢復が遅れその爲めに滿洲に氣壓の谷が出來て山東、遼東半島はこの雨となりこの異常な暖さとなつたのです、しかし營口、鞍山以北は雪です、明日頃高氣壓が出て天氣も恢復すると思ひますが溫度もぐつと下つて平常通りとなりませう、去年十二月初旬にもこんなことがあり毎年今頃寒さの仲休みが出來るのですがこの頃の暖さは平年より最低溫度八度以上高いです

公太堡農場に 救援隊が急行

公太堡よりの鄭書鳩の通報によれば遼西方面よりの兵匪同地農場襲來せんとし危險に瀕してゐるがため奉天警察署では守備隊と連絡し倉泊警部補以下二十二名八日午前十一時自動車で現地に急行した【奉天電話】

淺間山大爆發

【前橋八日發】淺間山は八日午前七時三十分近來に稀なる大爆發し噴煙濛々天に沖してゐる前橋地方は震動物凄く市民は戶外に飛び出した輕井澤は降砂あるも損害は少い模樣である

滿鐵社員二名殉職
敦化東方で支那側狙擊

關東軍司令部發表＝滿鐵技術員伊藤萬治、中村鹽藏兩氏は吉長吉敦鐵路局の顧により敦化東方地區の交通狀況調査中七日支那側より狙擊を受け卽死した【奉天電話】

僞警官で 脅迫監禁
小崗子署檢擧

市內沙河口元町一〇九福和興洗布所外交員吳鳳池（二九）は六日午前七時ごろ市內惠比須町某辯護士事務員方中正（二四）外三名を警官に仕立て小崗子新起街四九魚行商人王炳南（三三）をヘロイン密賣者の嫌疑で引致するからと稱し惠比須町方中正方へ監禁脅迫してゐるのを小崗子署員が探知し七日夜一網打盡に逮捕した

土地事件公判

民政署土地疑獄事件の續行公判は八日午前十時から大連地方法院長島裁判長係り開廷、前日に引續き事實審理の結果、大體被告全部の終了を見るに至つたので午後は辯護士團から證據の申請あつたものを後廻しとし、申請なき部分は結審し檢察官の論告及び求刑ある筈從つて辯護士團の辯論は來る十四十五兩日の豫定である

アットホーム
けふ『磐手』で

碇泊中の練習艦隊旗艦磐手では八日正午より大連市官民名士を招待しアットホームを催したが滿鐵正副總裁及び辛島大連民政署長、小川大連市長以下官民多數出席盛會を極めた

不景氣と人心の緊張に 忘年會お流れ
年の瀨に喘ぐ花柳界

不景氣と滿洲事變とがカチ合つて一九三一年の暮は先づ花柳界に深刻な悲鳴が揚つてゐる、例年だと師走も十日に近づく頃になれば扇芳亭、淡月、湖月の宴會料理屋は滿鐵、傍系會社、市中一般の會社銀行の忘年會申込みで、五六十人の宴會は缺かさないといふ活氣を見るのであるが今年は不況のうへに時局が重なり合つて、人心の緊張と世間への遠慮から公の忘年會は未だ一件も申込みがないといふ寂寥さ、檢番のアキ紙に約束で出てゐる藝妓は十人を數ふるに足りないといふ灯の消えたやうな有樣に美濃町筋では青息吐息である

乾干ですと 料理屋の帳場

或る宴會料理屋の帳場の話 毎年不景氣だといつても師走に入れば二組や三組の宴會があり藝妓も一流どころですと二、三日前から約束しておかぬと出來なかつたものですが、今年は一體どうしたといふのでせう、私の方では滿鐵へ忘年會の注文を聞きにゆきましたところ今年は公の宴會は一件もないよと追ひ歸されました、これぢあ全く同業者は乾干です、藝妓も可哀想に一流の姐さんでも小使に困つてゐる始末で華やかさうに見える我々社會の裏面は火の車ですよ

新酒の仕込み 七千五百石
意氣込む關東州內酒

昨年內地に於いて開催された全國清酒品評會に出品し斷然入賞してその聲價を謳はれまた本秋釜山に於て開催された全鮮清酒品評會に優秀な成績を以て入賞し好評を博した關東州酒造組合は來年度は更によりよき優良酒を釀造すべく組合員は何れも一段の馬力を加へ原料米の精白その他に細密の注意を拂ひ仕込みも着々進捗中であるが

今シーズンの仕込みは七千五百石と云はれ五年度シーズンの仕込みに比し一千石增加の見込みで、既に檢查施行中であるが檢查酒のもの既に十本以上に達し前年に比し成績また極めて良好で、來年東京において開催される全國品評會には再び榮冠を期待され組合員の待望また熾烈なものがある

慰問栗募集

滿鮮經濟社では滿洲事變軍警慰問團有志の後援を得て出動皇軍慰問のため慰問品「東亞の勝栗」（一袋十錢、袋毎に住所氏名明記）を募集中であるがその第一回發送は五千袋十二月中旬の豫定であると

尾形博士開業

醫學博士尾形一郎氏は今回大連醫院を辭し八日より若狹町三番地にて專門の皮膚病泌尿病の診療を開業した

天氣豫報

九日 北西の風 曇後驟雨模樣

各地溫度

	八日午前十一時	最低七日
大連	六、一	〇、九
旅順	七、二	一、一
營口	零下三、一	零下四、五
奉天	同四、一	同五、二
長春	同八、四	同一二、五

けふの小洋相場（正午）

金百圓は二二〇圓五五錢

賊の要求を拒絕し 三晝夜決死の奮戰
彈藥盡きて水盃を交はし脫出
華興農場の使用人

去月廿七日通遼の大倉組農場華興公司に七百餘名の兵匪來襲し同事務所を掠奪、放火せることは既報の通りであるが、賊團と交戰三晝夜

【矢】折れ彈盡きて賊團の重圍を脫出し九死に一生を得てこの旨奉天大倉組支店に傳令の使命を果した農場番人牟某を奉天驛前某旅館（氏名、宿所特に本人の希望により秘す）に訪へば悲壯なる面持で語る

二十七日午後一時頃突如七百餘名の賊團が我農場の二部落に來襲し先づ鮮人小作人を使者として派遣し來り「お前達は支那人のくせに日本人の財產の番をしてゐるとは何事だ農場所有の小銃三百挺彈丸三萬發をすぐ渡せばよし、さもなければ皆殺しにするがどうだ」と

【脅】迫し來つた、自分等留守番の三十名は鄉巡官長と相談の結果「我等の此處にあるは日本人のためのみでなく、この地の治安維持に當るためだ、而も此處の守備を委託されてゐる以上斃れてもその義務を完ふせねばならぬ、遺憾ながらその儀はお斷りする」と一同死を決しキッパリと賊團の要求を拒絕した、果せるかな、彼等は時ならずして潮の如く我等の部落を襲擊し來り早くも

【火】を放つた、そして賊團の一隊は部落東方に迂廻して牛舍、種羊場を襲ひ、他の一隊は南方に出で南營子を衝き、此處に二隊相合し我等のゐる事務所を包圍するに至つた、我等は全く高原中の一軒屋に袋の鼠となつた、二十七日午後三時我等三十名は敵に應戰して徹宵警戒二十八日夜に及ぶや彼等は事務所と道路一つ隔てた小部落に現はれ一齊射擊を始めた、我等は萬一の場合に用意の塹壕の中に入り交戰々々東側土塀を破壞し事務所內に入らんとする賊三名を殪した、然るに他の一部は既に

【表】門に迫りこれを破壞し內部に侵入せんとせるにより我等は必死に戰つた結果やうやくこれを擊退したが遺憾ながらその時には肝腎の彈丸が盡きて仕舞つた、最早これまでだ、たゞこの上はこゝを脫出し三十名中一名でも事の急を大倉組に通報することに決し各々水杯交し銘々に暗夜を利用しその夜脫出した、余は二十九日夜鼠の如く軒から軒を傳ひに賊團重圍の部落を脫出東南方の

【砂】山に辿り着いた、折よくも其處に避難の鮮農家族八名に會合そこで髮を切り髯を剃つて苦力に變裝し東南二百四十支里の打通線甘旗卡驛に無我夢中で驅けつけた、その間六日、務めて人家なきところをえらび踊を沒する砂漠を一食一眠もせず步き續けること二晝夜、とても筆紙に盡せぬ艱行苦行であつた、余が部落を離れる時後方にサット火の手の揚つたのを見たが事務所も遂に賊團にやられたなと思つた、三十名中八名は余と同樣奉天に辿り着いたが後はどうなつたことやら、また同地には四百からの

【鮮】農がゐるが彼等もどんな憂目を見てゐることやら想像に難くない、この賊團の隊長は元巡捕長であつた李明亞が王國祥頭目と結託して今回の暴擧を敢てしたので同じ支那人同志でありながらその暴虐は八裂きにしても飽き足らぬ

……◇……

因に大倉組俱樂部では死を以て農場を守護したこれら中國人使用人の

【勇】敢なる行爲に對し篤く酬ゆるところあつたが事變後の日支協助美談として當地一般の話題にのぼつてゐる【寫眞は華興農場牛舍の一部】【奉天電話】

暗流阿修羅館 (266)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

傾く大樹（一）

「すりや父上、眞事でございまするか」

忠徳は、きちんと坐つて、固く握つた兩手を兩膝の上においてゐた。そして、さう云つた言葉は不機嫌らしくひゞいた。

「どうも氣の毒であるが、生家に戻つて貰ひたい」

水野忠友は、これも困つたやうな顏をして何處か遠慮勝ちに云つた。

「いまさらこのやうなことは云へないのだが、事がこゝに至つてはな……」

「それは、たとへ私の生みの父上がどのやうな惡事をなされたか知りませぬが、それが私に何の關係がございませうや。まして、かうして私が當水野家の嗣子として成長して來ました以上は、田沼家とは最早父でも子でもございませぬ」

「だが、やはり、そこに切つても切れぬものがある。それが品物か何ぞならば、遣ればそれでよい。貰へばもう先方に關係がないとも云へるが、人間はそこが微妙なところぢや、貰つたきり遣つたきりで濟まないことがある。暑さ寒さあけくれには、離れてゐればなほ更、親は子を思ひ、子は親を思ふものぢや、思ふなと云つても思ふたさへ、それが常には自分のことのみを考へてゐるごとく思はれる親でも、何かの時には一層子を思ひ出す。この心持は不思議な位だ。それはなるほど、いまは、上樣はじめ天下の、知れる程の人は、其方を松平忠友の嗣子であると思つてゐる。と同時に、あれは田沼意次の二男坊だつた、といふことも知つてゐる。な、こゝぢや」

「父上、それでは生みの父が惡事を働いたからと云つて、その子はどの樣な正しいことをしてゐてもどのやうなこころにゐてもその罪を負はせられるのでございませうか。父上はいましがた人間は品物とはちがふと仰せられましたな」

「云つた」

「なれば、なぜ、戻すだの返すだのと仰せられます。それでは一人の人間の意思を無視して品物同樣に見たものではないのでございませんか。私一個の意思はどうなりますか」

「其方は、人間一個の意思にたてこもつて、生みの親を棄ててもよいと云ふか」

「生みの親などはこゝで云ひませぬ、生みの親を棄てる棄てないよりは、育ての大恩ある親を棄てゝ歸ることこそまちがつては居りませんでせうか」

忠徳の眸は怨めしさうに養父を見つめた。

忠友は、どう云つたら忠徳が納得して生家に戻つて行くだらうかと頭をなやましてゐた。

考へて見れば、忠徳には何も罪はないのである。むしろ汚れのない清らかな心をもつて、稀に見る眞面目な青年である。

「この樣な惡人の子が、やがては、水野の御家の嗣子として、このお家をいたゞくといふことが、水野家にとつて、水野家の系圖を穢すことになりますことを思ふと、私も堪へられなく思ふのです。父上もそのことを思つておいでになるのでございませう」

今朝も、厠に入つてゐると、それとは知らず使用人たちのひそひそばなし、

（お家の若殿の兄上だよ、お城で殺されたのは）

（さうか、あのづぶッとやられたのが、何でもひどい惡人ちうぢやないか）

（さうだよ、惡人だから殺されたのさ、それに、あの殺された田沼父樣の築地屋敷の門前には、田沼父子の阿漕を怨んで、ぶらりと首をくゝつた者があるんださ）

（へえ）

（それが恐ろしいものだな、丁度三月たつた、その日、日が丁度同じ日ださ）

といふ話を、忠徳は聞いてゐたのだつた。

出動軍人慰問の義捐琵琶演奏會

來る十二、三日滿日講堂で 大連愛吟會が主催

大連愛吟會では來る十二、十三兩日本社講堂に於て出動軍人慰問義捐金募集琵琶演奏會を開催することになつたが、本社では右の趣意に賛成し、これを後援することになつた、風韻雅懐の情緒、勇壯美妙の曲調によつて出兵軍人慰問の義捐金募集をなすことは最も時局に適した催しである、會費は五十錢であるが、愛吟會ではこの會の收入を關東軍司令部に献金し、慰問の意を表することになつてゐるなほ當日のプログラムは左の如し

十二日 △橘大隊長錦心流一由椒水△西鄕隆盛錦心流細川務水△俊寛（下）錦心流川西綠水△臺別れの國歌錦心流矢吹濟水△臺灣入錦心流淺顯永△常陸丸錦心流鶴谷幣氷△盡せよ盡せ錦心流鈴木倫水△北條時宗（橘流旭會）法秀山江崎旭友△湖水渡（橘流旭會）法煽山德重旭一△身延山と信玄法日山田中旭帥△乃木將軍篁流殿川篁雪

十三日 △雪晴錦心流一由椒水△壽饅頭錦心流細川務水△城山錦心流川西綠水△吉野落（下）錦心流淺顯永△別れの盃錦心流鶴谷幣氷△廣瀬中佐錦心流鈴木倫水△項羽（上）（橘流旭會）法儂山加藤旭明△橘中佐（橘流旭會）法洗地山上旭靜△平野の最後法日山田中旭帥△旅順開城篁流殿川篁雪△九連城正派橘溝湖城

華版殉教血史「日本廿六聖人」十九卷で會費は五十錢で社員俱樂部で傳槃撮ひをなしてゐるが、同映畫會券は八日から十四日まで同映畫上映中の帝國館にも通用すると

協和會館で同胞救濟映畫會

大連基督教聯合婦人會主催大連滿鐵社員俱樂部後援の遭難同胞救濟義捐映畫會は八、九日の兩夜六時二十分から協和會館にて開催、上映々畫は日活秋期超特作品國際豪

映畫界の總決算（二） 昭和六年度

▲三月 萬野爾會十萬圓の株式組織となる、日活時代劇の新制度マキノで消費組合設置、マキノキネマ株式會社創立總會を開催嵐寛壽郎東亞と再契約、映寫速度に新制限實施、福井福三郎氏帝キネ常務に就任、ユーナイト映畫配給權平田敬一氏獲得、メトロ社邦文字幕採用、フォックス日本版製作、興行取締嚴重を極め常設館痛手、白井信太郎氏京都撮影所長辭任、東亞京都撮影所の新陣容成る、日本劇場更生の新重役決定

▲四月 田村幸彦氏歸朝、蒲田で健康美男募集、東亞の中部配給紛糾、月形龍之介再度の旗擧げ活動寫眞協會で全國上映米數統一、阪妻映畫をパ社が配給、チヤツプリンの來朝立消、新宿帝都座開館、東都洋畫封切館が三日會を組織、木村普門氏月形プロ所長となる

▲五月 川喜多長政氏渡歐、大阪の館主連が結束して經營難の打開策を講ず、早川雪洲パ社映畫出演の爲渡米、文部省が教育映畫の中で映畫業者と懇談會、關德館の誕生で帝キネの騷動、松竹大谷社長母堂逝く、松竹パ社二大チエーン併合

▲六月 東京映畫常設館組合結成河合、坂間提携、蒲田の吉田百人氏マイクの自動移動機完成、を發表、文部省に映畫教育調査會生る、地方常設館不況で閉館續出、河部五郎日活に歸る、新歐舞伎松竹封切場となる、BIP社東洋代表者ウイリアムス氏來朝

▲七月 フォックスが地方常設館爭奪に乘り出す、日本發聲と月形プロの提攜成る、東亞の河崎技師佛デアブライ會社へ研究に赴く、皆川芳造氏渡米、松竹電氣課長、櫻井新太郎氏歸朝、名古屋に中部映畫同人組合生る、山縣直代日活入り、帝キネ大改革され堤友次郎氏社長になる、京都檢閲支所問題再燃す、河合トーキー製作中止、大阪府下に上映尺數延長運動起る、舊債償還の根本策成り東亞の大更新

▲八月 ハアリー・ガアスン監督來朝、立石駒吉氏獨立プロで暗中飛躍、石田榮君フイルム引火の完全なる防止裝置完成

▲九月 鈴木傳明、高田稔、岡田時彦外十數名の蒲田スター松竹を退社、日活愈々トーキー製作を發表、傳明外蒲田脫退組不二映畫を創立旗揚げ、傳明等の退社で蒲田新人を拔擢對策を練る、東亞映畫の製作は東活が全部やることになる、東洋寶塚と提攜、東活新陣容成る、澤村國太郎東活と提攜、全國最初の映畫從業員組合兵庫縣下に結成される

演藝

大連劇場の正月興行は大體明石潮の一座で蓋を開ける計畫らしく目下頻りに交涉を進めてゐる樣子▲來春は歌舞伎座がなくなつて大連劇場一つとなつたが、折角舞臺があるのだからと常設座がいれものに制限されない樣に劇場としての許可を受けるべく關東廳に出願中である▲まだ許可指令がないらしいが、年內に許可されたら正月興行は目覺ましい活躍を計畫してゐるのでないかと見られてゐる▲大連劇場は來る十一日から曾我廼家一郎一座の家庭劇で忘年興行をするが入場料は一圓と八十錢に小供は三十錢均一であると

本社特選 新棋戰（其五）

平香交 七段 △溝呂木光治
平手番 六段 ▲山北孫三郎

【圖は五三銀引迄の局面】

△溝呂木氏「持駒」歩歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
△香	△桂		△金	△角	△王		△桂	△香	一
	△飛					△金			二
				△銀	△歩		△歩	△歩	三
△歩		△歩		△歩	△銀	△歩			四
							歩		五
歩		歩	歩	歩	銀	歩		歩	六
	歩		銀		歩	桂			七
	角	金		金			飛		八
香	桂		玉					香	九

▲山北氏「持駒」ナシ

△六七金右 ▲五二金
△四五桂● ▲同 銀
△同 銀 ▲四四歩
△三四銀 ▲二二桂
△二三銀成 ▲同 金

【土居八段講評】▲山北君の四五桂の目的は敵四二銀引なら一旦二筋の歩を交換し、而して中央より攻勢を採らうとの意で、又敵六二銀引なら直に五筋より攻勢を執らうとの良策である。以下銀を犧牲にして敵の二筋の形を亂したのは活氣ある好手段である。

【萩原六段解說】山北氏の六七金右は飛車の活用を廣め陣形を整備してよかつた。次の四五桂は五五歩と指掛け、同歩、同銀左と攻めても五四歩と打たれ、四四銀、同銀で敵より八四角の手があるから、強く四五桂と先手を取つて攻勢に出たのである。その時四二銀又は六二銀でも五五歩と攻めて先手がよくなる。溝呂木氏の四五銀は次に四四歩と突き二二桂打により急戰になり陣形亂れるも銀を取りもどし結局桂得をなさんとする含みで強手であつた。

阪神、京濱行特産物の連絡運賃を引下げ
基隆、高雄行の運賃新たに決定
商船が海運界不況で

深刻なる一般財界の不況は依然としてその濃度を加へ行くがこれがため荷動きは極度に激減し過剰船腹の増大に正比例して運賃市況の如きは逐日軟化の一途を辿り不況の色を愈々濃くして居る、大阪商船會社では今回逐日軟化し行く海運界の大勢に順應して阪神京濱行特産物連絡運賃の引下げを左の如く決定し本月三日より實施した

▲關門阪神行連絡運賃（各品百斤につき）

	舊運賃	新運賃
豆粕		
大小豆、雜穀	一七錢	一三錢
麻、蕎麥、糠、胡麻、小麻子、大麻子、蘇子、棉實、撒粕、混合飼料、硫安、骨粉	二〇錢	一六錢
	一三錢	一九錢

▲横濱名古屋行連絡運賃

豆粕	一七錢	一五錢
大小豆、雜穀	二〇錢	一七錢
麻、蕎麥、糠、胡麻、小麻子、大麻子、蘇子、棉實、撒粕、混合飼料、硫安、骨粉	二三錢	一八錢

なほ基雄、高雄等臺灣行特産物の連絡運賃は從來臨時に運賃の取極めを行つたが、今回他航路に同樣運賃率を左の如く決定して近日中實施する筈である

▲基隆高雄行連絡運賃

	百斤に付	
豆粕		一五錢
大小豆、雜穀	同	一七錢
麻、蕎麥、糠、胡麻、小麻子、蘇子、大麻子、棉實、撒粕、混合飼料、硫安、骨粉	同	一八錢

マグネサイト、滑石（一瓩に付き）一圓八十錢、ドロマイド、粘土類、セメント（同）二圓三十錢、銑鐵（同）一圓七十錢

煉炭丸東豐丸河北丸の四船に總計一萬四千三十九噸を積込み同埠頭開始以來の新記録を出した、なほ今日までの積込記録は本春三月二十二日の一萬三千五百八十噸で前記總計の内譯は輸出炭一萬二千七百九十七噸、焚料炭千二百四十二噸である、因に萬達、煉炭兩船は大阪神戸向、東豐丸にマニラ向、河北丸は清水に向けて出帆したさ

篠崎大連商議書記長赴奉

東京における日本商工會議所第四回總會並に支那問題常設委員會に滿洲商議聯合會より特派されて出席した篠崎大連商議書記長は六日夜陸路歸連したが軍部の委囑に基き東京、大阪、神戸、名古屋、四都市の實業家さ會見滿洲問題に就て内地實業家の意見を聽取したのでこれを軍部に報告すべく八日夜發列車にて赴奉するさ

今度は滿洲の紡績業務視察だ
此儘ゆけば支那財界に變動
船津辰一郎氏來連談

在華日本紡績同業組合理事船津辰一郎氏は八日入港の長春丸にて來連したが語る

自分はもう外交官でもなければ政治家でもない、今度來たのは全く自分の關係してゐる紡績事業の視察に來たのだ、金州、周水、遼陽の三ケ所に工場があるからその業務視察だ、

上海に　おける日貨は事變後恐ろしい打撃を蒙り殊に紡績業は支那内地における取引一切皆無で僅かに滿洲、南洋、印度に今生産の四割を出してゐるのみである、その他はストックの有樣でやむなく操短を實施しこの難局に當つてゐる工場を閉鎖する事は支那人職工の失業のみならず日本人社員の蒙むる打撃も少くないのでストックは愈々増える一方である、支那側では日貨に　代るにこれを英國に注文したが急な間に合はないので最近にいたり急に困りだし手數料を拂ふと云ふ事にして今商務總會が抗日救國會に日貨の公賣を要望してゐる樣だつた、さにかく排日は單に日本側が困る許りでなく支那自身も困ると云ふ事が支那商人の頭にハッキリ判つたらしい、目下の上海における日貨のストックは約六千萬テールと云はれ奥地を合して一億テールと云はれるものが固定して動かないのだから恐らくこの儘で行つたら年末を　控へ財界に大きな變動が起ると云はれてゐる、自分は約一週間位滯滿、この間昔自分が奉天になつた時分の故張作霖顧問だつた本庄軍司令官にもお會ひして慰問の言葉を述べたいと思つてゐる

大連甘井子積出石炭
新記録を出す

石炭出廻期に入り昨今の埠頭は漸く殷盛を極めてゐるが、八日埠頭事務所への報告によると甘井子石炭積込埠頭では十二月四日萬達丸……

魚群の回游状況をラヂオで速報
關係方面に意見擡頭

文明の利器による魚群回游状況の速報が内地方面にて著るしく進歩してゐるので、關東州にてもラヂオを應用したいさいふことが從來、相當研究されてゐたが、春季になれば青着たるサバ、サハラなどが豐富に回游するので、明春こそはラヂオを應用したいさいふ意見が早くも相當行はれてゐる、而してその方法は水産試驗所の旅順丸から魚群の所在、數量、回游方向などを放送局に通報し、放送局より各漁船に速報するこさゝすれば、希望漁船において僅少の費用を以て受信裝置をすれば足るから、この方法が最もよいであらうさいはれてゐる

金本位制の惱と金爲替準備
(一)金本位制時代に後る

今日の世界的不況はその經濟や財界の深刻さにおいて、人類が嘗て經驗したものゝうち、一番辛辣なものゝ一つだといつても過言ではあるまい、そしてその原因として國際的、國内的、地方的などに亙つて大小幾多のものが擧げられてゐるが、數年來特に注目されだした所謂金の偏在や金の不融化も一つの有力な原因として見逃すわけにゆくまい

◇

この金の偏在や不融化を齎したしからしめた原因も各方面から檢討せねばならぬが、それは要するに、紙幣上の建前となつてゐる各國の金本位制度が今日の經濟活動の欲求するところに適合せず、時代おくれのものとなつたのに因るさみて差支へなからう、元來金本位制度において金を見返りとして紙幣を發行する建前になつてゐるのは主として紙幣の濫發を抑制しやうさいふ點にある、そして以前においては大體この目的を達することが出來たのである

◇

ところが資本主義經濟が高度の發達を遂げた今日の經濟機構では大分樣子が變つてきたので、必ずしも紙幣の濫發がなくともインフレーションを起すやうになつた、いふまでもなく現代は信用經濟の時代であつて紙幣よりは寧ろ預金さ小切手の時代といつた方がよりよく當てはまるそこで紙幣の數量は少くとも信用はいくらでも膨脹する

◇

されば現今の金本位制度は紙幣の濫發防止は出來てもその他の信用膨脹を有效に統制することは出來ないのであつて肝腎の機能が少からず傷つけられてゐるのである、それにも拘らず各國とも紙幣發行高を金に挾んで、それが唯一の原因ではないが、それがために國際通貨たる金の動きがされないやうにしてゐるのである、この意味において金本位制度が時代おくれの遺物だといつても強ち過言ではあるまい

◇

金本位制度の惱みは既に著るしいものがあるが、各國における不況はまのあたり深刻化すばかりだ、英國を初め多くの國において今秋來、金本位制度を停止してしまつた、そしてクレヂットの設立、爲替管理、財政調整、貿易回復、海外投資の回收などにつき種ゆる努力を拂つて正貨の蓄積をはかつてゐるが、なかく樂觀を許さざるものがある、結局これらの努力さ共に貨幣制度につき何らかの改革を行ふことが必要とされるらしく既に貨幣改革に關するいろくの議論が行はれてゐる

◇

金本位制度を停止しない國々も不況に喘いでゐるのは全く同樣であつて、英國などにおける停止を對岸の火災視してゐることを許されず不安にさゝされてゐる、弗士國アメリカでさへウナるほど金を抱へ込んでなりながら不況氣に弱りきつてゐる、日本は既に二億圓に上る正貨を現送し、而も再禁止の説が絶えず傳はつてくる、唯一の銀貨國支那においては紙幣の守成どころか創業さへ殆ど見當がつかぬが、紙幣改善論は折々それらの耳朶をうつて斷續してゐる

◇

かくて各國において行はれてゐる金中心、金銀併立、或は銀か金かを詮索するいろくの貨幣論を檢討することは意義あることだと思ふが、餘りに多岐に亙るので、本稿においては、廣義に解釋すれば同じ金本位ではあるが、從來の金を見返りとする本位制を改革して金本位制度即ち正貨準備を廢止さいふ觀點から行はれる金爲替準備への考察のみを取扱つてみやう

◇

然らばなぜに金爲替準備問題が叫んだのであるかさいへば、既にあちこちにて正貨準備即ち金準備の存在の理由を失ひ、既に國によつては金貨本位制度は戰後において……ため發券準備さして金地金を金爲替のみを採用し、中には純粹に金爲替のみを採用してゐるさいふ點に現實の問題であり、しかも金の……

滿洲の賣掛金回收には相當同情と理解
内地駐在員は豫定通り整理
中村輸組聯合會常務理事談

既報の如く中村輸組聯合會常務理事は内地駐在員整理のため内地出張中のところ、八日朝陸路歸任したが語る

豫定通り整理を行つて來た、個人的にいへば勇退者中にはまことに氣の毒な人があるが已むを得ない、内地の經濟界は御承知の通り益々惡い、一流銀行は極力預金をかき集めて抱へ込んでなりながら貸出を、嚴重にしてゐるので、年末を控へ、著しく金融難に陷つてゐる、ところで滿洲事件に關しては一般に非常に關心を有つてゐるせいか、關係方面の滿洲地方に對する賣掛金回收についても、事情柄想像以上の同情さ理解を有つてゐるのを相當見屆けて嬉しく思つた、そこで自分の觀測によれば大節季を目前に　控へてゐるが、これら賣掛金の回收成行については大して心配するほどのことはないのではないかと思ふ

委員會を組織して硫安の價格を決定
滿洲産にも除外例

外國硫安の内地市場ダンピングを防止するため今夏來農林、商工兩省方面において考究されつゝあつた一定量を限り手數料を徵收して外安を輸入せしめる所謂輸入許可制度については滿洲硫安さも關係があるのでその後の推移、實施方法等に關し滿鐵側でも注視しつゝあつたが、最近東京、大阪及び臺灣における硫安の

需給状況　等を約四週間に亙り視察して八日歸任せる滿鐵鐵鋼課の實珠山雜品係主任は左の如く語る

滿洲硫安は臺灣、朝鮮の植民地硫安さ等しく除外例として内地輸入には何等制限を受けないことになつた、輸入許可制の實施に當り一方内地市場の價格を如何にして決定するかゞ最も難問題視され、農林省が先般各製造會社に諮問した生産費の如きも算出の基礎が各社區々で公正な最高並に最低價格の設定方法につき愼重研究されてゐたが最近に至り農林、商工、大藏、臺灣朝鮮總督府等から代表者を出しこれに民間製造業者の代表を加へた委員會を組織して

價格決定　の審議をなすことに決定した、取敢へず省令で實施することになり來議會にも提出されるだらうがこれでいよく懸案の硫安輸入の全國的統制は近く實現することになる製造業者さしても農林省の背後には帝國農會や全購聯が控へてゐるので結局これに服するより外ないだらう

獨賠償の支拂ひ繼續不可能
メルヒオル獨代表要求

【バーゼル七日發】國際決濟理事會ドイツ代表メルヒオル氏は、七日ドイツ對外債務に關係ある六國代表に對しドイツ財政及び一般經濟状態を詳述せる浩瀚な書類を提示し、ドイツの經濟状態は最も甚だしき窮地に陷つた旨公言せざるを得なくなつたこと、その結果ヤング賠償計畫規定に依る賠償支拂を繼續する事は絶對不可能となつたこと述べ關係諸國に至急考慮方を求めた

大連豆信の配當六分
總會は廿四日に開催

大連豆信會社にては既報の如く去る二日の重役會の決定により來る二十四日午後三時より取引所樓上會議室に於て定時株主總會を開催することゝなつた、しかして今期は滿洲事變の突發や爲替の激落等で先物取引の手控へ乃至は夏枯期に當面してゐるたゝめ手數料收入には金の三萬六千圓程度の減收を來し、買入減資差益金十二萬四千六百四十五圓も有價證券償却金に充當したので株主配當は前期通り六分即ち舊株一圓五十錢、新株三十七錢五厘に内定目下關東廳へ認可申請中である、因に今期の損益計算書を示せば左の如し（單位圓）

▲收入之部

賣買手數料	二七、九七五、四〇
諸預ケ金利息	六九、四五、六六
貸付金利息	一〇、〇五、八九
有價證券配當金	三、一三五、〇〇
株式名義書換手數料	二三七、四〇
買入減資差益金	一二四、六四五、一三
合計	三六、六四五、一〇

▲支出之部

諸税	一三七、九二三、一〇
當座借越利息	三三三、一九
取引人身元保證金利息	一一、三五〇、〇一
社員身元保證金利息	一一、三六九、九三
有價證券償却金	三三、八五四、〇〇
役員退職慰勞金	一一、〇〇〇、〇〇
雜損金	三、六〇五、〇一
營業費	一八五、二八、〇三
當期益金	一八〇、七四〇、六一
合計	三六六、六四五、一〇

大連港の雜穀輸出高
十一月中調べ

滿洲重要物産組合調査による十一月の大連港輸出特産物中大豆、豆粕、豆油、高粱の四品を除いた他の諸雜穀の輸出高は左の通りで、前年十一月に比し小豆は四千噸の減少を示したが小麻子は一千三百餘噸の増加で他は差したる相違がない（單位噸）

	本年十一月	前年十一月
包米	一、二〇〇	一、一一〇
小米	一八一	四六一
小豆	六、二二〇	一〇、一〇八
吉豆	一、七五〇	一、一三六
小麥	一〇	一
蕎麥	一、〇二七	一、一一七
胡麻	三二二	一六五
小麻子	二、〇四二	七〇二
大麻子	一一二	四四一
蘇子	四二六	四四八
鶏子	九三六	六六二
落花生	五、六八五	六、一三七

東洋煙草　曙　二十本入八錢　電七〇六九

黄塵

◇…從來中部支那に對する輸出は我國が首位を占めてゐたが十月中のわが對支……

市況（八日）

特産　銀高を移し一般軟弱

今朝の定期は銀高を移して大豆は軟調を辿り豆粕は保合豆油は人氣なく低落を示し高粱また軟弱を呈した

錢鈔　銀塊昂騰當市小反り

株式　内地變らず當市も保合

糸　米棉市況は鈍状無料で當業者は見送り……

商品　麻袋變らず綿糸反撥

爲替相場

上海爲替情報

手形交換高（八日）

奥地市況

各地特産發送高

大連埠頭到着高

市場電報　銀塊及爲替

大阪期米　東京期米　神戸期米　大阪株式　東京株式　大阪綿糸　大阪棉花　横濱生糸　印度麻袋

埠頭在高貨物（12月1日）（單位噸）

滿洲日報

外務、陸軍の意見一致し 七日夜我代表に回訓 協調的態度を明かにす

【東京七日發】理事會決議案及び匪賊討伐權に關する留保條項の措置方に關し七日午後外務省に於て外務、陸軍兩當局會議の結果、パリの我が代表部よりの請訓に對する回訓案は外務當局案を執る事に意見の一致をみるに至り幣原外相より若槻首相、南陸相の諒解を求め同夜外務省より芳澤代表に回訓が發せられた右の內容は

一、匪賊討伐權の留保は決議案上程の際芳澤大使より明確に留保聲明をなし決議案の條件附受諾を明かにする事但し支那側の對抗的留保聲明は許さぬ事

一、決議案第五項の支那調査委員會の權限に關しては現地に於て九月三十日の決議の履行狀況に關し理事會は之れに報告を命ずる事を得となすの外勸告をなす等の權限は附與せざる事

張學良の勢力は一切 滿洲に存在を許さず

錦州の現狀維持は絕對に反對 外務省から强硬訓電

【東京八日發】七日の理事會十二國代表會議で錦州地方中立地帶設置案を放棄し錦州地方の現狀維持を勸告するに決したとの報道に對し外務當局は左の如く言明した

理事會が中立地帶案を放棄するは日本政府が同問題を日支兩國直接交涉で解決せんとする建前とも一致する處であつて、放棄に關する限り異論はないが**錦州地方の現狀維持を勸告する事は現在の錦州地方の不安狀態を繼續せしむる事となる、**即ち錦州地方にては舊奉天軍が集結し前面に馬賊が跳梁して日本軍に對し依然不穩の行動に出んとして居り聯盟の認むる如く若し日本軍が馬賊討伐をなす場合延いては奉天軍の主力との衝突を惹き起さぬとも限らぬ、この惧れを避けるためには舊奉天軍の關內撤退は飽くまで必要であると同時に**錦州政府を解消し同政府をも撤退せしめねばならない、**即ち張學良の勢力が滿洲に復歸する可能性のある限り滿洲の治安維持は不可能であるからだ

尙外務省は强硬反對するやう芳澤大使に訓電を發する筈

委員一行は四、五十名 調査地は全支の一流都市

【東京八日發】支那調査委員會の構成は未定であるが既に呼聲高きはフランスペタン將軍、ドイツゾルフ前駐日大使、イタリーチエルツチイ前駐支公使、アメリカモント又はデービス前海軍次官でイギリスからは一流法律家が選ばれる筈、なほ日本側補助員には永井外務次官、松田條約局長、有吉ブラジル大使等が噂されてゐる、而して各國委員共隨員を從へて結局四五十名の多數が一團となつて派遣されるべく調査地も上海、南京、漢口、北平、天津、奉天、ハルビン等一流都市に留まる事になるであらうと見られる

支那の反對を顧みず 公開會議を開會

【東京七日發】日本政府は理事會の妥協案を受諾に決した結果、理事會としては支那側を說得し決議草案を受諾せしめ公開會議を開き一先づ打切る段取となつてゐるが、支那は自ら提議した中立地帶案を撤回せるほか日本の滿洲に於ける駐兵權を否認せんとする無法なる留保を爲さんとしてをり、理事會はこの情勢を憂慮し支那が飽くまで決議案に反對の態度を執るに於ては聯盟の權威失墜の外ないので斯る場合別途を擇ぶべきだとの意見最近聯盟內に有力となつてゐる、即ち**理事會が今日まで努力し來つた日支紛爭の實際的解決方法を捨て、決議案をも犧牲にし支那の反對を顧みず聯盟本來の原則に立ち歸り八、九日ごろ公開會議を開き九月卅日の決議を再確認する程度の勸告案を上程**一應理事會を打切らんとするものだが、斯くなれば支那は世界の公論の前に糾彈を受ける事は免れないだらうといはる

中立地帶の區域は 小凌河から山海關の間

外務省から芳澤大使に回訓

【東京七日發】理事會の中立地帶に關する質問書に對し外務省は七日芳澤代表に回訓したが、右區域は小凌河より山海關(約百二十哩)に至るまでゞある

理事國七氏 芳澤代表と午餐

【パリ七日發】聯盟理事會は漸く日支紛爭解決案に到達し九日公開會議で調査委員六名を任命して一段落を告げることゝなつたが、七日午後所勞休養中のブリアン議長と所用缺席の支那、秘露、イタリー三國代表を除く理事國代表七氏は芳澤大使以下と午餐を共にし會議の骨折を語り合つた

秘密會議 八日午前一時より開會

【パリ七日發】理事會決議起草委員會は七日午前十一時より會議を開いてゐるが支那代表施肇基氏は

李外交次長 辭職は不許可

【南京七日發】外交次長李錦綸氏は辭表提出中の處國民政府命令を以て不許可となつた

滿鐵附屬地內の わが駐兵權を否認

【南京七日發】國民政府外交部は昨夜施肇基代表に對し理事會決議案、ブリアン議長の宣言に關し重大なる保留をなすべき旨訓電した、その內容は**滿鐵附屬地內に於ける日本の駐兵權を根本より否認**したものである

匪賊討伐權は 議長宣言にても可

わが外務當局の意見

【東京八日發】匪賊討伐權に關する日本側の留保を芳澤代表の一方的留保聲明とせず議長宣言とせんとする形勢になつたとの報我外務省にはまだ何等の報がないが外務省としては斯る事はあり得るものと觀て居り何れにしても大體差支ないとの方針の樣である

調査委員權限請訓

會議に出席密議を凝らしてゐる、十二箇國會議は午後五時(滿洲時間八日午前一時)より開會の豫定

匪賊討伐自由 第五項目的對案の內容

【パリ七日發】決議案起草委員會は七日夜に入り匪賊討伐權に關する宣言形式を變更する事に決定した、即ち日本側は一方的留保宣言も可なりといふ回訓案を伊藤氏が携へてセシル卿を訪へばセシル卿は

日本の匪賊討伐權留保宣言に就ては南米理事國代表の反對あり起草案委員會としては之を承認せず、元の如く匪賊に對する日本軍の行動の自由に就ては議長宣言の中に明記せよと主張するに至つた旨を告げた、而してこの方式によれば日本の軍事行動の自由は先週末の案より直接的に理事會が認むる事となつたなほ調査委員の報告規定に關しては

九月三十日の決議趣旨が實行されるや否やに就き理事會は調査委員會に對し報告提出を命ずる事を得べしとする代りに調査委員會は理事會に報告を提出する事を得とし能動的なものとしたい意嚮で日本代表はセシル卿の希望により此等の點につき請訓した

せらるゝや英代表は深き失望の念を發表したが十二ケ國會議は「理事會は禁止地域條項を全然放棄し日支兩國をして欲する處に委れるを可とす」との意見に一致した、然しブリアン氏は公開理事會における宣言において飽く迄錦州方面における事態が惡化せざる事を期待する旨を宣する筈である、一方セシル卿と日本側伊藤述史氏との間に審議された日本の修正案に對する對案に關し日本政府は之を受諾する旨回訓して來たのでこの結果今後日本軍が兵匪、土匪討伐をなすに當り中立國オブザーバーを附すべしとの案は消滅し、同時に日本代表は兵匪、土匪に對する行動の自由を宣言し且つこの點につき支那又は理事會の如何なる保留をも容認せぬ事となるべく又決議案第五項は新たに左の意味に修正される事となつた

調査委員會は理事會希望せば九月三十日の理事會決議の實施情況につき報告する事を要す

錦州軍の挑戰に對し 壓力を加へる必要あり

芳澤代表ブリアン議長を說く

【パリ七日發】七日の十二ケ國會議は所謂中立地帶設定案(但し現在は禁止地域と稱す)を放棄し更に決議草案第五項を修正する事となり大體日本の勝利となつたが此處に至つた經緯及び內容左の如くである、即ち去る四日の十二ケ國會議で芳澤大使が質問に答へて「萬里長城迄擴大せらるべきである」と提示した、この問答が發表禁止地域は日支直接交涉に依つてのみ設定せらるべし且その地域は

【パリ七日發】芳澤代表は本日午後三時半ブリアン議長を訪ひ會談三十分に及んだが、右會見において芳澤代表は、日本政府が支那側の提案を容れ、既に錦州地方よりの撤兵を實行したるにも拘らず**支那軍が依然同地方に占據して事態を惡化せしめつゝある事實を指摘し日支兩軍の衝突を避けるため支那側に對して壓力を加へるの必**要を說いた、更に中立地帶案に關しては中立地帶の境界協定のため現地において日支兩國間に直接交涉を行ふの必要なる所以を强調した

張學良の別働隊や 匪賊團一齊に活動開始

奉天包圍の隊形にある張學良の別働隊と匪賊團は南北一齊に活動を開始しわが軍警當局はいちく之れが討伐に努力してゐるが、彼等がかく行動を開始し來れるは我軍の遼河東岸よりの撤退により錦州政府との聯絡容易となり(一)滿鐵線東部の匪賊五千の活動に便ならしめた上(二)張學良からの軍資一齊に行きわたり(三)遼河、大凌河の氷結により活動自由となりたるによる【奉天電話】

支那側態度如何で 事態再び重大化か

【東京七日發】陸軍外務兩當局の協議の結果、錦州方面の事態を憂慮し曩に矢野參事官をして張學良に警告を發せしめたが、學良はこれを無視しその後事態は益々緊張し首腦部では關東軍をして監視せしめつゝあるから今後支那側の態度如何では事態再び重大化するものと觀てゐる

張學良自ら 錦州に出動

對日作戰に當ると通電

張學良は部下少壯派の主戰論に押されて一方蔣介石政府のため自ら錦州に出動し對日作戰に當るべき旨七日電報した【奉天電話】

援馬抗日學生 列車運行を妨害

【上海七日發】自ら進んで馬占山援助に東北に赴かんとする援馬抗日青年團は昨夜九時頃から鐵道當局に無賃乘車を交涉し既に列車內に進入占領したが、學生團の請願運動禁止令により之を絕對阻止すべしと電命し來つたため發車を取止め乘客に切符拂戾しをしたが學生は特別列車を出せと頑張り小雨降る寒氣も物かは夜を徹して動かず今朝五時半發の急行列車が發車せんとするやレールを枕に橫たはり發車出來ず學生團も交涉らちあかずと見て遂に徒歩にて南京に向ふ事になり今朝十時線路に沿ふて列を爲して出發した、鐵道側は十一時十五分始めて第一列車を出したが學生團にまたも妨害され引返し午後二時十五分再び發車したがこのため運轉系統に大支障を來した

北平市黨部の 解散を要求

學生團押寄せて暴行

【北平七日發】北平各驛を占領して南京行列車の發車を强要した北平大學生團は遂にその目的を達して七日正午約一千五百名が乘車赴京したが殘留せる學生六百名は發車後北平市黨部に押寄せ

一、南京で拘束されてゐる學生の釋放

二、施肇基、顧維鈞の免職

三、北平市黨部の解散

の三項を要求し遂に室內に入つて暴動を起し軍警のため五十名檢束された張學良の命令を俟つて處分する筈である、學生團が北平市黨部に反對した奇現象は今回の學生對日宣戰請願團の南京行に同黨部が冷淡な態度を執つたためである、なほ學生團が室內に入るまで柔順にして室內に入るや暴行したのは過般南京で王正廷を毆打したのと同一手段で共產黨の遣り口であると注目されてゐる

積極的に 匪賊掃蕩

外務當局も諒解

【東京八日發】錦州軍最近の日本軍に對する攻擊的態度に關し陸軍は出來得る限り武力使用を避けるため外交交涉は今後も引續き行はしむるが、各地に橫行してゐる馬賊に對しては從來の消極戰法を排し治安維持のため積極的に掃蕩を期するに決し七日外務省の諒解を得た

奉天新政權の 陣容全く成る

之から基礎を固めねばならぬ 金璧東氏は語る

去る五日奉天電信管理局長に新任した吉長吉敦鐵道局長金璧東氏は七日往訪の記者に對し滿洲の新政權に關し左の通り語る

奉天政府は今や陣容全く成り軍部、財政各機關それぐ活動を開始しつゝあり、殊に政治の公開、租稅の輕減は大いに省民の賞讚を博し滿洲の中央政權問題は未だ具體化するに至らぬが近く開催の三省首腦者會議において決定をみるべく、之に先きだち速やかに錦州政府の壓迫から地方機關を救ひ出し、新政權確立の基礎を固めればならぬ【奉天電話】

支那の不誠意で 交涉纏らず

重光公使上海に引揚ぐ

【南京七日發】錦州中立地帶問題で外交部長顧維鈞氏と折衝中だつた重光公使は支那側の不誠意から交涉成立の餘地なしと見て七日、日淸汽船で上海へ引揚げたが往訪の記者に對し

錦州中立地帶設置問題は現下の兩國々難を打破する唯一の方途であるに拘らず支那側が誠意を示さぬ以上如何とも致し方ない、その結果が日支兩軍に及ぼす反動は恐るべきものと憂慮されると顧氏の不誠意を痛烈に指摘してゐる

後四時、若槻首相を訪ひ聯盟に對する我最後的回訓につき報告した

張海鵬軍の 兵力配備

張海鵬軍現在の配備は次の如くである

景星千五百、搭子城千三百、興隆川四百、泰來四百、五廟子百街基四百、二龍索口五百、安廣百五十、洮南六百五十、開通六百、李家店三百、突泉二百、瞻楡四百、泰平川二百、蘇鄂公府百、合計七千二百名

で洮南の六百五十、泰來の四百が步兵であるのを除く外は全部騎兵である、なほ張海鵬軍管下の馬賊は鎭東、東屏地方に登山を頭目とする約四百、索倫地方に舊屯墾軍の兵匪二百五十、瞻楡に大文字を頭目とする百五十、安廣地方に海紅を頭目とする二百五十等がある【四平街電話】

學生の運動 國府が抑壓

政治運動の理由で

【漢口七日發】各地で續發しつゝある學生の愛國軍事行動は其の實愛國に名をかる政治作用が多分に含まれて居るとの理由で國民政府はこれが嚴重取締方を武漢行營に命じて來たので昨夕來戒嚴令を布

幣原外相首相訪問

【東京七日發】幣原外相は七日午

モスクワ政府の 御機嫌取に腐心

學良が窮餘の一策に

張學良は窮餘の一策として又も親露政策に腐心し死中に活路を見出さんとしてゐる、即ち勞農ロシアと馬占山との連繫を斷らしむることにより黑龍江省の奪回をもくろんでゐるが露は先年露支紛爭以來モスクワ政府の感情を害してゐるので、日本は北滿において白系露人を手先に使ひ露境侵入を圖つてゐると宣傳しその歡心を買はんと努めてゐる【奉天電話】

北海道と靑森へ 罹災救助金貸出

【東京七日發】內務省では北海道並に靑森縣下の不作救濟金として靑森縣へ十四萬二千圓、北海道へ三十一萬五百八十圓合計四十五萬餘圓及び大豆の種籾を罹災救助基金のうちより貸出す事を認可し七日それぐ指令を發した

漢口財界恐慌

排日貨の影響

【漢口七日發】反日排日貨から漢人は經濟恐慌襲來に苦んでゐるが省政府の徵稅は益々苛酷となり最近湖北省內錢莊は靜款請求に續出してゐる

社說

警察力充實と其財源
恒久確保の方法如何

關東廳は事變に善處する應急の處置として、警察官の增員を行ふことになつたが、警察力の充實に就ては、此際基幹的に重要なる問題が横はつてゐる。夫れは軍隊撤退後の治安の維持である。今日威力ある軍隊の駐備してゐる間は可なるも、一朝原狀に復することになると、當然警察力に依りて一般の治安維持に當られねばならぬ。而して其範圍は當然擴大される。威力も亦隨つて強化されねばならぬ。その爲めには今日企てられてゐるが如き區々の增員では事足りないであらう。現狀から卽斷すれば、軍隊に代るべき警察力を要するといふことになるが、軍は撤退迄に匪馬賊の掃蕩を行ふ筈であるから、自ら其の實力の程度は違ふけれども、相當有力なる充實を行はざれば、實際に差したる治安の維持は至難である。勿論其增員充實の程度は、當局者に自ら成案があらうが、從來よりも二倍三倍の警察力を要することは何人も首肯し得る狀況である。

◇

貧弱なる關東廳の財政に於て直に此警官增員の大負擔に當ることは、問はずして不可能であるから、當面便宜の增員方法として、滿鐵の自警團費?負擔の如き案が生れるやうであるが、夫れよりも取急いで根幹的に、財政上確保し得べく充實計畫を立てる必要がある。其財政上の確保を理由づける財源の詮索は今後充實さるべき警察官の任務に對照して自ら決定さるゝであらうが、卽今の事態に對しては軍隊に代るべき警察官の任務として當然國庫の支辨に待つべきものである。軍事行動費を支出する國家は、又警察充實費をも支出すべしといふ理由が立つ。斯くして當面の警察機構を整へたる後、其任務を對照して、徐ろに財源の詮索＝經費の振當が行はるゝことを至當とする。關東廳や滿鐵だけが、獨り此爲めに苦惱するの要はない。軍事行動費の支出に吝ならざる政府は又警察官充實費に對しても容認すべき、略同一の事態と理由を認めねばならぬ。

◇

當局は如何なる考を有するか知らぬが、假りに一萬人の警察官を增員するとして、一人一年當り千五百圓とすれば、合計一千五百萬圓の經費を要する。之れ正に財政上の重大問題である。軍事行動費は一時的のものであるけれども、警察費は恒久性を帶ぶるものとして、政府の苦惱が存するわけだが、併しながら滿洲の實情が、是れを要するといふ事實の前には、全く致方がない。今次事變のために警備地域が擴大し、又匪馬賊の多數を散在せしむることゝなり、更に鮮人＝邦人保護の徹底を期するがために、實際的要求が現はれてゐるとすれば、多額なりとて雖も之を拒否する譯には行かぬ。故に當局は、實情を具して政府を動かし、現在並に將來の對策を完成せねばならぬが、假りに右の如く一千五百萬圓の年費を要するものとして、果して斯かる警察力の充實が效果的であるや否やは將來の財源の詮索に直接の交涉がある譯で、要は此の如き必要性と效果性とを兼備することに依つて、問題は直に解決し得る筈である。

◇

事變の前と後とによりて、我領域?が變つた譯ではないが、支那側が治安維持能力を缺くが故に、邦人の生命財產の保護のために、我警察行爲を必要とすることは、議論好きの國際聯盟でも承認してゐる。而して此狀態は今後も或期間——若くは永久的に——必ず續くものと見られるので、自然警察行爲——任務の地帶が擴大されることになる。誠に厄介千萬であるが、自衞的警察行爲のために、其範圍が廣くなるのだから、當然其實力を強化せしめざるを得ない。卽ち充實增員を有力に理由づけた所以である。更に、張學良氏が關內へ送つた奉天軍が改編を見ずして、敗走軍と同樣の事象を呈することにもならば、我警備線を脅威すべき匪馬賊は多數の動向を見ることになるし、更に所在の鮮人——邦人の保護を完うするには、隨分有力なる警察力を必要とする。而もこれ皆今回の事變を契機とする更生滿洲に對する我權益保持のために已むを得ざる事象であり、又必須の事態であるからは、其增加せる經費を負擔しても其警備を完くせねばならぬ。

◇

此の如くして、事變後の滿洲に對する我警務は、一段の任務を加へ負荷を增すことになるが今後財源詮索の對照となるべきものは果して何があるか。鮮人の保護のために朝鮮總督府の關心を有するは論なく、又其安定に依る間接の影響をも考察して政府は至大の關心を有する筈であるから、これ等の經費は政府として朝鮮總督府と聯關して、第一に考慮すべきである。又現地に於ける警察官の任務のために、有形無形に受くる效果の均霑者は、當然其經費を負擔する義務あることを言を俟たないから經濟的利益の伸張を見る受益者は、特殊の負擔を甘受すべきである。吾人は關東廳當局が、時局に對する警務に惱みつゝ、其要求する擴大強化の財源に苦むが如き樣を見て、甚だ同情を禁ぜざると共に、觀點を大にしては國家的に、又之を小にしては地方的に、自ら適當の源泉を詮索して、應急善處の方法を構究せんことを望むものである。

反復常なき
支那の軍事行動や外交
益窮地に陷れるもの
駐日勞農ロシヤ大使談

駐日勞農ロシア大使メリニコフ氏は七日午後二時安奉線にて着奉、同三時半長春に向つたが氏は滿洲問題に關する記者の質問に對し確答を避けながら語る

滿洲事變に對し日本軍の執つた行動についてはこれが批評はこの際さし控へるが支那當局の反復常なき外交乃至軍事行動は益々支那自體を窮地に陷れるものでこのまゝ進めば四分五裂の昔に還り國民革命の前途逆睹し難きものがある、さてロシアとしてこの時局に面し東支線その他の北滿の權益を如何に擁護するかはモスクワ政府の關することでわれ等在外人士の關知し得ざるところである、今回の歸國も本國政府の命によるので特に深い理由のあるわけでない、余は一日も速かに滿蒙の平和の招來せんことを切望するのみだ【奉天電話】

馬占山の行動監視方を要請
張景惠氏が皇軍に

ハルビンにおける趙仲仁と徐寶珍との策動その功を奏し馬占山の態度急變を來した、卽ち張景惠に對し黑龍江の鹽稅剩餘金五十萬元の引渡しを迫ると共に自らチチハルに入り黑龍江政權の支配者たらんとする氣配が見えて來たので張景惠氏はチチハル行を中止すると共に日本軍に對し馬占山の行動監視方を要請した【奉天電話】

神經過敏の天津市民

【天津六日發】本日午後零時頃支那街金鋼橋に反動派便衣隊が爆彈を投じたとの說傳はり支那人は直に外國租界に雪崩込み電車も一時不通となり我が軍部もチヨイと緊張の色を見せたが、その眞相を調べてみると右は南市場に泥棒が入り附近の巡警がこれを發見し追擊したもので神經過敏の折柄とて一般市民は直に便衣隊と巡警との衝突と思ひ込み謠言忽ち四方に傳はり南市場の一部分だけは嚴重警戒を爲したが約一時間にして舊狀に復した、尚八里臺方面に便衣隊が多數潛伏してゐると云ふので人心は相當動搖してゐる

軍縮全權の任命と訓令

【東京七日發】政府は八日軍縮會議日本全權松平大使以下三全權を上奏任命する事となつたが、九日の定例閣議で全權に對する帝國政府の訓令案を決定し上奏の上全權に手交する事となつた

生駒管理局長
關東長官訪問

生駒拓務省管理局長は屬官二名を同伴して七日正午旅客機にて來連大連にて晝食を濟まし午後三時關東廳にて塚本長官、三浦、中谷局長等と會見して管內の警備狀況その他地方行政保護等に關する近況を聽取し長官々邸の晩餐會に列席ヤマトホテルに一泊した、八日朝急行にて田中鶴子富民政署長の案內にて北行奉天、長春、吉林及びハルピン、チチハル、洮南地方を視察安奉線にて二十二日頃安東より朝鮮に入ると

八相

投書歡迎 五十行以內 中傷はさらず

團旗の旗手
實見生

◇滿日社主催の護國祈願祭とその行進には小生も個人參加の一人として非常に感激に滿ちた熱誠の迸しるのを感じ日本人としての血潮を沸かしたもので、滿日社並に後援各位に厚く感謝の意を捧ぐるものである、しかしこの祈願行進に際して大連某組合の組合旗と某女學校の校旗捧持者が支那人であつたことは何としても惜しむべきことであつた

◇これ等團體や學校旗とは多少その趣旨を異にするとも、その團體なりその學校なりを代表するものなることには違ひはあるまい、その團體を代表するためには組合長なり校長なりとはいへ、大衆に向つて團體旗がその團體を代表し、且團體旗はその團體にとり最も尊重すべきものなることに異論はなき筈である。

◇日支事變による祈願祭の參加團體がこの尊敬すべき團體旗の旗手として支那人を使用することは、その團體員の心事をも忖度せしめて甚だ物淋しい限りだ、

◇大分過去のことではあるが、事變發生以來大連驛頭では戰死者の遺骨と傷病兵の歸還があり、その見送りの場合には祈願祭にも增して團旗捧持者の大半が支那人であり、その支那人の心なき行動に人々を顰蹙せしめたものであつた。

◇團體なり學校なりには洗練されたる常識の持主が一人位あつてもよい筈だ、またある筈と思ふ日本人的潔癖といふ人があるかも知れぬが、小生は日本人團體の團旗は當然日本人が持つべきものと固く信ずる、敢て識者の一考を望む。

お斷り 右と同趣旨、更に他の團體旗が支那人により捧持されてゐたことを注意されたもの一通、栗金生(係)

獨逸賠償問題
專門家委員會
七日からパリに召集

【パリ六日發】極度の財政逼迫に直面せるドイツ政府は過般賠償金その他の財務問題關係各方面に對して覺書を送り特別諮問委員會を開き迅速に對策を講ずるの絕對的必要を力說したが、右要求に應ずるため專門家委員會が七日當地に於て召集され同委員會で賠償問題を審議する筈である、右に關しフランス官邊よりの報道はドイツ側は右覺書中、ドイツは同委員會が審議範圍を單に條件的賠償金に限定せずヤング案を抑止し、若しくは全然新規の賠償規定を意味する問題全部をも取扱ふべきものと思考せるものゝ如く、またドイツは更に起債をも賠償問題と關聯せしむべく希望せる模樣だが、フランス側は無條件賠償問題には絕對觸るべからざる事及び私的債務を賠償問題と混合すべからざる事を主張さるゝものと觀られてゐる

時局映畫講演會
京城で公開し大好評

【京城特電八日發】本社京城支局主催、朝鮮總督府、朝鮮軍司令部、京城府廳在城各新聞社後援の朝鮮軍及び警察官慰問の「時局映畫及び講演會」は七日、三回に亘つて開催、午前十時から總督府大食堂 [illegible] 會裡に第一日を終へた

【寫眞は京城社會館の盛況】

平壤でも開催

關東軍司令部附滿鐵弘報係撮影の滿洲戰亂行全五卷は十一日午後一時から平壤第七十七聯隊と午後七時から公會堂において帝國在鄕軍人平壤分會、平安南道、平壤府、平壤毎日新聞社、西鮮日報社の後援のもとに本社主催で公開することになつた

英支治廢條約案
假調印の運びには至らず
英サイモン外相聲明

【ロンドン七日發】本日英下院でサイモン外相は支那における治外法權撤廢問題交涉經過に關し次の如く聲明した

治外法權撤廢に關する條約草案は既に起草を終へてゐるも未だランプソン氏をして假調印する運びには至つてゐない

在寧英國人
治外法權撤廢反對を決議

【東京七日發】某所着電によれば南京のイギリス在留民は去る三日治外法權撤廢反對の決議をなし本國政府に打電した

米議會開會
劈頭から緊張

【ワシントン七日發】米國第七十二議會は愈々本日から開會、上下兩院共共和民主兩黨の勢力伯仲せる事とて幾多の重大議案を前途に控へて開會劈頭既に非常なる緊張を呈し今後の波瀾重疊を豫想せしむるものがある、本日は議長選擧始め各種委員會を任命しただけで數分間にして散會した、既に新議會には數千の法案が提出されたが重要法案は八日フーヴァー大統領によつて議會に與へらるべき教書中に指示さるべく、兩院とも主として世界不況に對應すべき經濟政策について論議の花咲かん

國債現在高

【東京八日發】大藏省發表十一月末の國債現在高(單位千圓)

內國債	四、四八六、七三七
外國債	一、四七七、三三四
計	五、九六四、〇七二
外に 大藏省分	一七五、〇〇〇
米穀證券	五九、七一四

ボンド爲替
大暴落

【東京八日發】ボンド爲替は歐洲大陸市場賣物續出のため連日軟調を辿つてゐるが八日入電の米英ク [illegible] ロスは [illegible] 仙四分の三と [illegible] 仙四分の三方暴落し十年來の安値を現出した、よつて正金では對英建値を八分の五方引上げ三シル [illegible] ンス四分の一に引上げた右建値は我國幣制確立以來の最高値である

民政黨幹部會

【東京七日發】增稅問題に關し正式態度を決定するため民政黨は七日午後二時半幹部會を開き政府側との妥協案を滿場一致承認し產業政策につき意見の交換をした

臼田少佐歸奉

聖德小學校における軍事講演その他の爲め來連中の關東軍司令部附陸軍步兵少佐臼田寬三氏は滿鐵弘報係中山晴雄氏と同伴八日午後九時半發の急行にて歸奉した

大觀小觀

何んの彼んのと云つて居るうちに議會も近づいた、歲の瀨も押し迫つて來た▲そこでこれまで暗中飛躍の噂ばかり聞いて居た政界も漸く公然政戰の幕を開く段取とならう▲でも例の協力內閣說は園公「鶴の一聲」に忽ちペチヤンコ、流石の安達內相もそれを押切つてまで具體化しようとの勇氣はないらしく▲この際過去の一切を水に流して閣內の協調を圖り、この世智辛い歲の瀨を、議會を押し切らう方針だとある▲若し國民多數がなほ現內閣を支持するのならばそれも宜からう▲而も若槻首相とその一味に不滿を持つ安達派の連中は却々このまゝ無事に收まりさうにも見えず▲況んや折角漁夫の利を狙ひながらマンマと當てごとの外れた野黨政友派の連中などはマサカこのまゝ指を啣へて見て居る筈もなく▲政界今後の波瀾、起伏の因はまだ〳〵隨所に潛んで居るものと知るべし▲「暮近き街忙しく雲低し」▲「中立地帶設置」「天津國際管理」などの問題で各地の學生暴徒化し▲鐵道の占領、警備隊との衝突、デモ、アヂ、要求その他紛々▲そのため國民政府は苦境に陷り矢面に起つ顧外交部長は遂に辭意を洩らすの已むなきに至る▲だからいはん事ちやない、他力本願の外交政策などは早くやめて日本との直接交涉に移るがよい▲聯盟では未だ「緊急必要の場合に適當の行動を執る」と云ふ日本側の留保內容が問題になつてゐる▲刄を向けられたらこれを叩き落す、ピストルを向けられたらこれを突き飛ばす▲それが卽ち緊急必要の場合に執る適當の行動だ▲疑問も問題もあつたものでなし、國際的低能振りはモウ大概にせよ▲「北窓を閉ぢて語らん夜もすがら」

心を籠めて
滿洲軍へ慰問袋

滿洲の野に寒さと戰ひつゝある [illegible] に女生徒が一人々々眞心こめ [illegible] た校長とする [illegible] 現地に送られつゝあるが、こ [illegible] ることになり大連コタカ女史 [illegible] 慰問袋を製作されてゐる【寫眞は同校にて慰問袋の製 [illegible]】

第一戰に立つ滿鐵社員 (1)
『新滿蒙の歌』に
意氣は昂る合宿の彼氏等
奉天にて 五百旗頭佐一

今滿鐵は鐵道、總務兩部を中心に幾多の少壯有爲の社員を奉天に出張させてゐるが、偶々大連に歸つて行くそれ等の人々は本社詰の社員羨望の的になつてゐる。

◇

事變直後滿鐵の仕事が一部奉天に移ると共に出張を命ぜられた者は最初のうちは極度の不安に驅られてゐたといふ、學良が命ずる便衣隊の活動を警戒して自然にそれ等の人々は合宿を形造つてしまつたのだ、不安な氣持と興奮に等しい心の緊張とに、夜となれば合宿の中で軍歌や腕相撲に滿鐵社員の意氣を養つてゐたものであるが、次は鐵道部の若手一派が營んでゐる合宿のその頃の全景である、勿論かうした合宿の名殘は今でもあちこちで散見出來るが、既に完全に治安の維持されたけふこの頃では彼等合宿員も互に隊伍を組んで一週に一度位は「氣晴らし」と自稱する夜の散步に出かける程度の餘裕は持つてゐる。

◇

彼氏は語る「初めは隨分たくさん居たよ、しかも年若いタイピストまでもね、タイピスト二人で八疊一室を占領し吾々男子多勢は次の八疊に押込められてゐたが、隨分緊張してゐたね、仕事も忙しかつたよ、タイピストなども合宿に歸つてまで仕事に追はれ、朝七時から夜十一時まで働くことが度々だつた、吾々男達は別に苦痛でもないが女としては辛かつたらう、然し流石に嫌な顏一つせず極めて朗らかに働いてくれた、そしてこの意氣がどれ程自分達を勵ましてくれたか知れやしない、その時誰かゞ何か元氣をつけるものをと言ひ出して衆議一決「新滿蒙の歌」なるものを合作で作つたと思ひ給へ、節は例の「こゝは大連埠頭の」つて奴さ、これを朝飯、晩飯の後に合唱するんだ、ソプラノも入ると堂々たるものだつたぜ、人こそ少くなつたが今だつて毎日やつてゐる、今は「南嶺の戰」までしかないが追々これから增やして行くよ、現に角歌詞をお教へしやう

◇

一、鐵路守るは吾同胞から生命あづかるつはもの共よ砲聲とゞろく北大營にかゞやく朝日は平和の光

二、東北四省に秋風すさび榮華誇りし張家の末路奉天城頭夕陽は落ちて哀れ昔の名殘りや [illegible]

三、眞紅の砲煙砂礫を燒いて燃ゆる南嶺吾等が精兵長春城外天日暗く染めし血潮は平和の守

◇

この歌だつた、記者が竹森、門野の兩氏と大連驛に見送つた時二人はホームで蠻聲を張りあげてこの歌を歌つたつけ、彼氏の話はつゞく「安心してくれ俺達の意氣は益々盛んだ、男ばかりの殺風景な合宿だが歌の合唱で吾々の結束は固くなる一方だ、忙しいことは以前に變りないが平氣だよ、時には「酒は淚か」なんて流行歌を歌ふ野人もあるし、それに今は將棋がとても盛んなんだ。

◇

更生の第一線に働く人々の合宿に幸よあれ(五日夜記)

市況(八日)

株式
東新引軟弱 當市閑散

內地東新の大引軟弱を入れ [illegible] も小一圓安と軟化したが [illegible] 配慮らず閑散

◇後場

特產
人氣添はず 無味閑散

後場の定期は依然として [illegible] たず大豆、豆粕、高粱は [illegible] し豆油のみは續落を入れ大引した。

◇定期後場 ◇現物後場

錢鈔
標金不變 當市弱含み

上海標金は不變を入れた [illegible] は弱含み商狀を呈した

◇定期後場 ◇現物後場

商品
麻袋變らず 綿糸小綻り

奧地市況

市場電報

特產 東京株式 大阪株式 大阪綿糸 横濱生糸 大阪期米 東京期米

子供の獨立心を養ふ 獨り遊びの習慣

お母さん方も負擔が輕くなる

それには斯んな注意が肝要

いつも幼兒と一しよにゐて幼兒の行動を靜かに見てゐますと、幼兒が自分獨りで遊んでゐる時ほどたのしさうで又得意さうな時はないやうです、もとく幼兒の教育は遊戲と玩具から導かれる機會が非常に多く、いろくな

◆…品物を　右の手から左へ、左の手から右へとうつしかへたり、一つの場所から他の場所へと置きかへたりして運動の熟練と正確さを習得し、これによつて手と腦の働きを發達させるのです　そしてその玩具又は品物が幼兒に繋してふさはしいものであれば、子供は他のあらゆる事柄を忘れ自分の周圍に若し何事が起らうとも我關せず焉として全心全勢力をそれに傾注してしまふもので、かういふ風に子供が獨り遊びをするといふ事は子供の教育上極めて

◆…大切な　ことであります、ところが子供がすぐに獨り遊びをやめてしまつたり、他の相手を欲しがつたりすることが間々ありますが、これはその玩具又は品物が子供の性質や年齡に不適當であるからで興へるものの選擇をあやまらぬやうにしなければなりません、幼い子供にはあまり念の入つたものや高價なものは不向で崩したり積んだりして遊ぶやうな

◆…積木式　のものや、引つぱつたり押したりして遊ぶ木製の自動車や汽車など大がいの幼兒に適してゐます、又箱に品物を入れたり出したりすることも幼兒には非常に興があるらしいのですしかしあまり小さいものは口に入れたりする危險がありますし、マツチや鋏など怪我の原因となるやうなものはさけなければなりません、で獨り遊びの習慣をつけるには最初子供の樣子をだまつて見てゐて、子供が遊びに興味を覺えた樣子であれば二三回その部屋から遠ざかつて見ます、それでも子供が平氣で遊んでゐるやうであればその部屋からすつかり離れてもよいのです、はじめから全く獨り置きつぱなしにしますと子供はやがて

◆…不安に　なつて相手を求めますが、かうして徐々に獨りにしますとしまひには平氣で遊ぶやうになります、そして全く周圍の人々を忘れ全心をその品物に集中するやうになりますから、こゝに玩具の眞の目的が達せられ幼兒の手と腦との習練が出來るばかりでなく、知らず識らずのうちに將來の社會生活のもとゝなるべき獨立心が養はれるのです、又子供に獨り遊びの習慣を養ふてやることによつて、お母さんたちはどれほどその負擔を輕くせられるかわりません

月極讀者にカレンダー贈呈

美麗な本紙新年附錄

本紙新年附錄として昭和七年の實用カレンダーを月極讀者に限り贈呈致します。第一回は一、二、三月分を新年勅題『曉雞聲』に因んで特に意匠を凝らした臺紙に美麗なる風景寫眞を撮り入れ裝飾と實用とを兼ね御家庭用として最もふさはしいものと信じます

滿洲日報社

折角のお見舞が仇・に・な・る

感冒に罹りたてには出來るだけ遠慮の事

増し行く寒さと共に感冒も勢力を増し、小兒の罹病者がいつも病院の病室を一つぱいに滿たします、感冒も初めの手當が惡いと肺炎となり、いつまでも苦まねばなりません、病氣は何によらず、初めの

◆手當が　最も肝心なので看護如何で早く治つたり、或は長引いたりします、病床に臥してゐることが知人、友人間に知れるや早速見舞客が引きも切らず病室を訪れます、これも麗しい友情の現はれで大へん嬉しく感ぜられますしかし時によつては折角の麗しい友情が全く無情となる場合があります病人も消化器系病人でしたら安眠を妨げない程度で見舞ふとひねもす天井ばかり眺めて淋しく病床にある

◆病人に　とつてはこの上もない嬉しいもので歡迎するのですが、これに反し呼吸器系病即ち肺結核、肋膜、氣管支肺炎、インフルエンザーなどの場合に無理をして話をやるときつと歸宅後病人は熱が上り今まで醫師の命令通り服藥、手當を怠らず嚴守してゐても少しの效も上らず病人一人苦みます、これらの病人には決して無理に話させる樣なことなく充分安靜を保ち靜養させたいものです、流感など靜養すれば

◆…治り方　も從つて早いのですから看護に當る者は如何なる見舞客に對しても病人との面會はことわつて欲しいのです、見舞ふ方でも初め大切な場合には遠慮し快方に向ひ、病人が淋しくなつた頃合を見計らつて病人を訪れ慰ろに見舞はれたいものです

簡單でおいしい

冬向きの御料理　お試し下さい

牛肉煮込料理（ポット・ロースツビーフ）

◆材料　牛臀部肉又は腰部肉四斤、メリケン粉二〇匁、豚脂大匙三杯、人參一〇〇匁、蕪菁一〇〇匁、玉セルリ五ケ、小玉葱一〇ケ、シエリ酒茶カップ一杯、鹽胡椒少量

方法　牛肉を布巾で拭き鹽胡椒をふりかけメリケン粉にまぶし一方鍋に豚脂を熱しおき、その中に肉を入れ廻りを一帶に狐色になるまでいため、少量の熱湯を加へ蓋をして浸火にかけ、コトリくと煮える程度で決して煮え立たせてはなりません、水氣がなくなり焦げつく樣でしたら、少量の水を加へながら約四時間程靜かに煮込みます（形を崩さぬ程度に柔かく煮込ます）必要によりシエリ酒を度々加へます、約三時間位經つた時野菜を適宜の恰好に皮をむいてその中に入れ、愈々その牛肉と野菜が柔かくなつたら、鍋より取り出し、熱く溫めた皿の上にのせ野菜をその周圍に飾りおき、殘りの汁を少量の湯で薄めごろくとしてソース漉で漉し、前の牛肉にかけて供します。

㈠シメタト バカリ トビダシタ タイチャント ニイサンハ ギラギラ ヒカル カタナヲ フリアグル

㈡オホカミハ イクラ アセツテモ アナノナカ タスケテ クダサイト オモツテモ ヒトノ コトバハ ワカラナイ

㈢スルト ドコカラカ ヒトノ アシオト ホシアカリデ ミルト オソロシイ シナジンノ ドロボウ

㈣ニニン トモ カタナヲ フリアゲテ チカヅク モツテル モノヲ ミンナクレヌト コロスゾト ドナツタ

童話　濱のお家へ（上）

八木橋ゆじう

夕暮の海に嵐が來ました。青黑い沖は、大きな目玉のやうに波頭をギラく白く立てました。濱の人々は、今朝沖に出て行つた漁師達を心配して、波邊に集つて來ました。

「無事で歸つてきて吳れゝばよいが……」

「もう見えてもよい頃だが、こんなにしけては、船足も鈍かろ」

「ほんとになあ、あゝ、あんなに沖は暗くなつた。もしもの事があつたらどうしやう」

「心配ばかりしてゐたつて仕方がねえ、さ、暗くなるといけねえ、どんなことになるとも限られねえだから、みんなでかゞり火の用意をすることだ」

沖は次第に暗くなつて、さつきまで光つてゐた波頭も見えなくなつて了ひました。

どす黑い雲と海の境、若しや漁船の影が見えはしまいかと、人々の注意を集めてゐた水平線も、まつたく暗に吸ひとられて了ひました。

ゴーツ、ゴーツ、ザブン、ザブン、波は生きもの〻やうに岸に押寄せました。それが碎けては、猛獸のやうに吼え叫びました。

風の音、波の音、かん高い聲、手に手に提灯やたい松を持つた人々が走りまはり、どなる者、泣き叫ぶもの、濱は嵐の上に嵐でした。

「おーい」

「おーい」

人々は、口々に、ありつたけの聲をしぼつて、吠るやうに沖に向つて叫びました。

……………

その晩、久のお父さんは、船が難破して死んだのです。

お父さんの死骸が濱に上つたとき、お母さんが倒れるほど泣き悲しみました。

「たくさんの魚を積んで歸つて來るから、久、お前はお母さんと濱へ迎へに來るんだよ」

と言つて、今朝ほどあんなに元氣に出て行つたお父さんでしたのに、何といふ思ひがけない運命のいたづらでせう。

「あゝ、わたしもどうしやう」

お母さんは、お父さんの亡骸のそばに坐つたきり、氣を失つたやうになつて了ひました。

「ねえ、お父さん、そんな所にねてないでお家へ歸らう。お父さんお父さんてば、さあ、お起きよお起きつて！」

未だ五つの久は、お父さんの死を知らないで、お父さんを搖り起さうとしました。

「お母さん、ねえ、お父さんを起してお家へ歸らう、ねえ」

お母さんは、久を抱きかゝえてわつと泣きました。

「あゝ、おい爺も泣けて來るだ」

「なんて、むごい事をするだあ」

「神さまもあんまりだあ」

そのありさまを見て泣かないものはありませんでした。

この濱じい嵐、この大きな力の前には、お爺つさんが出來ず、命をとられた漁師は、久のお父さんばかりでなく、するぶんたくさんおりました。

世界文學大全集

改造社版

今回本社より改造社版『世界文學大全集』を發行す。その第一期出版としてルパン全集、ドイル全集を十二卷に輯錄。此等二全集が現代の探偵小說界に於て斷然聳立してをるは衆目の一致するところ。その深き想像力、構成力、推理力は全世界の人氣を獨占的にした彼等が究める藝術力の怪異は千萬大衆を恐怖と壯快の殿堂にまで引張つて行く本年掉尾出版界を代表する讀みものは何といつても此全集であることは勿論である。

飜譯權在改造社

Maurice Leblanc

滿日各地版

滿日社印刷所　活版　石版　諸印刷

惡德記者の判決に檢事更に控訴手續
本人は平然と執務

【長春】長春北滿日報記者泉廉治（四九）が我軍部は飛行機を以て王府を爆破せしむると軍部を濫用して蒙昧な在長及在吉林の蒙古役人を脅喝し自分が軍部に運動して飛行爆破を中止させるから軍部の招待運動費として一千二百元をせしめた事件は二日長春領事館公判廷で秋山裁判長より懲役八ケ月を言渡されたことは既報の通りであるが被告廉治は三日控訴の手續きをなし保釋となり目下北滿日報に出社編輯の任に當り長春市民を唖然とさせてゐる、一方中川檢事々務取扱ひは七日に至り

控訴申立書
被告人　泉　廉治

右恐喝、恐喝未遂被告事件に付き昭和六年十二月二日在長春日本領事館に於てなしたる判決は相當ならずと思料し及控訴候也

と檢事控訴を提出するところあつた、尚泉廉治が新聞のバックを以て長春日支人に惡性惡德振りを遺憾なく發揮して新聞記者の惡名を冠させたことについては今後詳報する積りであるが保釋出獄後の彼の厚顏なる態度には流石に市民も驚き謹愼さか改心さかは兎もあれ恥を知つてゐるだらうかとあきれ返つてゐる

兵隊に引かれて前進するばかり
大島聯隊長朗かに語る

【長春】滿洲出動部隊中で一番戰鬪を多くした我が歩兵第四聯隊は事變突發後第一大隊は寬城子、烏托頭站、新立屯、昂々溪（三間房）チチハル南端の五戰、第二大隊は南嶺、前官地後官地、湯地南方高地昂々溪、チチハル南端（三間房）の五戰だが戰爭上手と持てはやされるのも無理はない、凱旋の喜びをと第四聯隊に大島大佐を訪へば

いや有難う大騒ぎをドッカと椅子に掛け凍傷患者を多數出して困つてゐる處だ、約半數の四百名

僕の手の指も第一關節から先は矢張りまだ感覺がないよ、戰鬪中は指が曲つたきり延びずに閉口してゐたが今日ではやつと延びるだけにはなつた、凍傷で入院せしめてゐるのは長春、公主嶺、鐵嶺の三ケ所に卅八名内重傷者が廿四五名この内には五指とも切り落さればならぬ人も少くない、戰爭談かオレなどは兵隊に引ずられて前進する位だこの肥つた體ではなか／＼走れるものか若い將校に聞いて大いに武勳談でも書いて呉れよ隨分愉快な手柄話もある筈だからと功を部下に讓る處は流石に奥床しい子爵大佐ではある

四門が土産であるがなか／＼この大砲には弱らせられたものだ

惱された大砲を土産に歸る
水道の水を飲んだ喜び
長谷部旅團長の談

【長春】六日午後四時二十五分着の臨時軍用列車でチチハルより凱旋した長谷部旅團に對する長春市

は戰爭以上の苦痛を感じたわけだが戰死者五名、凍傷者多數を出したことは甚だ遺憾であつた海倫に敗退した馬占山も自分が

のはない、出動四十日目に四平街へついて水道の水をコップ二杯飲んだのは忘れ得ない喜びであつたがそれ程戰鬪中からチチハル滯在中は善良な飲料水に困難を感じた勿論自分一人でなく皆がそうであつたらうと思ふ三間房の戰鬪で占領した敵の大砲

第四聯隊の長春歸着

荒し廻る各馬賊團

施家堡子中心に蟠居する有力團

【鐵嶺】問題の開原縣下施家堡子を中心として附近各地に蟠居する馬賊團は双樓臺の頭目打天下三百名を第一位とし慶雲堡には滿洲樂字の八十名、花樓臺には黑虎の三十名、老虎頭に平心平堆の百八十名あり何れも其の跳梁する百八十名あり何れも

十名よりなる匪賊を發見し之と銃火を交へ其場に於て四名を射殺した尚當日午後零時頃手峪に於て七八名の匪賊と交戰擊退し賊は山中に逃走した

大掠奪を開始

【鐵嶺】七日當地に達した情報によれば新臺子西方石佛寺西八支里新民縣…

天德を射殺か

…

に關し孫海城縣地方治安維持委員長は去る四日同地方各村長十四名を縣公署に召集し假令匪賊團より軍用金の提供方を要求せらるとも決して之れに應ずべきに非ず若し後難を杞憂し密かに之れが提供を爲す場合は徒らに匪賊をして其の勢力を援助擴大せしむる事なるを以て斯る不德の徒は之れを匪賊の黨下として直に逮捕銃殺すべしと嚴達する處ありたるも各村民は目下の縣當局に於ては優勢なる匪賊團討伐に毫も其の權力なきを看破し到底此の命令の實行せらるべきにあらざるを嘆じ目下村長等は其の職の去就に迷ひ匪賊と官憲との板挾みの窮狀にある

味岡中隊出動

【大石橋】獨歩三管内鞍山北方約二邦里なる劉二堡地方農民が匪賊出沒の爲め人心動搖しつゝありとの情報に接したる我大石橋獨立守備第三大隊長は即刻味岡中隊に命令一下同中隊は七日佛曉臨時列車にて示威演習を目錄み出發した

自警團と交戰

【鞍山】遼陽縣廟谷自警團は同部落附近山中に於て五日午前十時頃

と大洋五千元を所持して居たが村民の噂によれば千山馬賊頭目天德らしいと目下取調中であると

遼陽管外
匪賊の跳梁

【遼陽】遼陽縣第六區自衛團三十餘名は千山南麓立楊子附近に於て二十餘名の匪賊團と五日交戰附近各村聯莊會の援助を得て頭目東來好事孔憲文（二九）以下張▇學、吳振東外嫌疑者三名を逮捕、六日午後

遼陽城西の狀況
區長、公安分局長の逮捕
公安分局の引揚げ等

【遼陽】遼陽城西劉二堡及附近農民の意向なりと云ふ所謂くに今回の事變以來日本の對滿政策には絶大なる共鳴を有し一日も早く滿洲が平和郷となる事を希望して居るが只綠林出身の劉雨臣をして縣當局が警備の大任を維持せしむることには部落民の悉くが反對を唱へて居ると、同地には頭目三勝が蟠居し農民を保護し居り農民は三勝を義賊と稱し同人在るが故に安全の生業が營まるると極言し居る位である、又第七分區（劉二堡の隣區）で太子河の沿岸）陳區長及陳分局長は五日公安大隊長王步洲の率ゆる騎馬隊二十餘名の爲めに捕へられ遼陽城内の自衛團本部に押送して來たと其の理由は陳區長は匪賊と通じ或は内通した嫌疑があると云ふ所引するに至つたのも自衛團々董劉雨臣の命令でやつた事で劉の越權行爲を維持委員長に訴へ數兒方に付運動中であると

遼陽縣第八分局（城西劉二堡隣區）員二十餘名は同局長と電話番を除き六日悉く遼陽に引揚げたその理由は太子河渾河共既に結氷し途中縣より匪賊の往來自由になり何時大部隊の匪賊團襲來するや計られず其の時に於て到底少數の公安局員では防禦し得ぬので事前に引揚ぐることと

楊委員長に申請中であつたが委員會でも引揚止むを得ずと認めたためであると其の上同地に從來駐屯して居た公安歩隊第三十一中隊と砲隊二ケ分隊百八十餘名を劉二堡に集中した結果現在では自衛團のみとなり全く無警察同樣だと云はれて居る

馬賊、官憲の板挾み
海城縣下情況

【大石橋】匪賊頭目老北風及び祭小疙の兩名は客月三十日附張學良より旅長に任命されたると共に部下を糾合して各々二個旅を編成而もこれが維持費として海城縣西部一帶の各村民に對し目下軍用金提供方強要中なりとの事なるがこれ

支那監獄の塀倒壞
囚人約九十名逃走
三名負傷、撫順の椿事

【撫順】六日午後四時三十分撫順縣署大街支那監獄の高さ四米長四十米の煉瓦塀が地下掘鑿の爲め崩れそれに押されて未決囚六十八名既決囚二十三名計九十一名這入つてゐる一棟倒壞三名重輕傷外餘九十名近くは得たりと許り喚聲を擧げて逃走を企てたので憲兵巡警三十餘名馳付け脫獄囚の釣瓶打ちで漸く喰止め得たが一時その騷ぎは大したものだつた

氣の毒な同胞兒童に小學生の美しい同情金
學校の廊下に義捐箱

【鐵嶺】鐵嶺避難民收容所に保護中の鮮農は現在六百三十餘名あり此中には未だ頑是なき鮮童百十餘名居り父兄と共に不安ながらも他の人の情に生活してゐるが鐵嶺小學校兒童自治會では幸福なる自分達の境遇に較べてこれ等鮮人兒童が餘りにも可哀想だと同情の餘り八日から二日間學校の廊下に義捐箱を備へ全校兒童中心ある者の喜捨を受け集め得た情のお金を此憐れな鮮童に寄與すべく子供等自ら發起して目下義捐金募集中である、が全校兒童は父兄から貰つたお小使錢を割いて同情するものが多いやうである、尚この外靴下や手袋着物など寄贈の志ある兒童の申込みを受けてゐるが子供心にも同情溢るゝ企てとして先生達も大いに援助してゐる

二十年來の珍現象
鐵嶺の暖雨

【鐵嶺】當地方には六日午後二時頃より十時頃まで珍しく降雨續いたが氣候頗る溫暖にして夜に入るも凍結せず夏の降雨にひとしいものがあり古老連は二十年來の珍現象だと言つてゐる而も雨量多く兩あたり九斗五升四合、翌七日も凍らず往來の人を惱ませた

匪賊二十餘名

【撫順】六日午後十時石灰窯子部落に長銃三モーゼル十三挺ブローニング五挺所持の二十餘名の兵匪現はれ同地農馬殿朝（三七）陳文寬（三七）方を二手に分れ襲擊金品約二百元を掠奪して逃走した

め押送途中死亡したが内男搬東は直ちに引渡し、殘り三名は七日午後一時西門外の刑場で銃殺した

頭目騰東洋以下四十餘名の匪賊は五日午後四時頃城東五十支里の秦金溝において自衛團及び聯莊會約二百名と交戰し一名射殺一名逮捕され翌六日午後二時ごろ同地附近に一團が潛伏中なるを發見され更に一名逮捕され太安平第四分區に引渡したと

城北蒲草溝（煙臺驛西方五支里）村字九會方に五日午後十時頃十數名の匪賊團入銃器彈藥を掠奪逃走したと

軍隊に國旗寄贈
撫中教職員生徒の美擧

【撫順】撫順守備隊では事變突發以來川上守備隊長の趣旨に基き部下將卒の腦裏に國民精神を植ゑ付けるべく毎日將卒一同整列の下に國旗掲揚式並に同撤去式を行ひつゝあつた偶々この事を聽いた寺田撫中校長は何等かの方法に依り永久的に保存し得る大國旗寄贈を思ひ立ち職員生徒に謀つた處一同大贊成同校生徒が盛夏苦心栽培せる蔬菜の賣込金及今回の事變に同校生が後方勤務に依り市民より贈られた金額等全部を擧げ幅二間縱二間の大國旗と六十餘尺の旗竿とを寄贈したしかして七日午前九時守備隊營庭に於て撫中健兒寺田校長以下職員守備隊側一同整列まづ寺田校長右献納の趣旨に就き挨拶守備隊長の謝辭ありラッパ手の奏する壯重なる君が代齊唱裡にこの意義深き大國旗掲揚式は宛然皇國の繁榮を壽ぐ如く行はれた

滿鐵社員も先づ安全
新民附近視察後竹中理事語る

【奉天】巨流河、新民屯等第一線に立ち勇敢に働いてゐる滿鐵社員慰問のため竹中滿鐵理事は六日同沿線に慰問旁々視察をなして同日歸奉し江口副總裁と歸連したが竹中理事は語る

巨流河附近も現在では平穩無事である多數滿鐵社員が特別任務を帶びて勇敢に立ち働いてゐるのを見て感激せずには居られなかつた同沿線は度々大集團の賊に襲はれ被害が多いので心配してゐたが鐵道の沿線は想像よりも平穩で夜間時々銃聲がする位のもので一時のやうな危險はない賊團も交通不便な奧地に逃げ込んだやうであるが之が徹底的討伐は仲々骨が折れる事と思つてゐる我軍の警戒も相當嚴に行はれてゐるので激戰でもない限り同地方の滿鐵社員の身は決して心配する必要はない

戰死者の遺骨

【旅順】六日盛大なる慰靈祭を行はれた歩兵第三十聯隊故井上大尉その他の英靈は同日直に留守隊に運ばれ井上岡村水口三勇士の遺骨は初めて懷しき官舍に入り親しく遺族に依つて通夜が營まれ其他の勇士は聯隊本部會議室に安置され十一日迄は戰友に依つて護られ愈々十三日大連出帆のはるびん丸にて故國へ歸還される事となつたが旅順出發日時は未定である

●取消　十二月四日附地方版に舉古人を脅迫して事變を種に死仕事惡德記者に判決言渡しといふ記事中被告の犯罪として衝突後拳銃十餘挺を自宅に隱匿し或は自動車を詐取せんとしたその他多々ある模樣といふ點は告北滿日報主筆泉廉治から事實根につき取消しを申込んで來たため取消す

沿線往來

▲佐野主計總監　七日朝來奉
▲武部貢氏（鮮銀理事）七日來奉
▲築島信司氏（國際運輸常務）上
▲佐藤滿鐵々道部次長　七日朝來奉
▲田邊前滿鐵理事　同上
▲岩田獨立三大隊長　營口より
▲小林才治氏（大石橋時局委員）七日奉天へ、全滿日本人聯合會行委員會發會式參列のため營口へ
▲山下義明氏（同上）同上
▲飯田博氏（遼陽醫院長）七日…主催時局協議會に出席
▲細矢權吉氏（遼陽在郷軍人分長）同上
▲生田友次郎氏（前地委員長）上
▲安達周太郎氏（遼陽區長代表）同上
▲高橋敬藏氏（遼陽機關區長）方出動中の處七日急行で歸遼
▲茨城縣日本國民高等學校生十五名は十二日午前九時十着列車にて鞍山へ製鐵所を視
▲千山志司他吉氏　七日鞍山…布したが同氏は今後鞍山に…
▲明治會派遣慰問使田中芳谷、山昭谷、國柱會同杉浦佛峰の氏は七日關東廳に塚本長官に問し警察官その他時局に對し關東廳職員の勞苦につき慰謝を述べた

鐵嶺

愛善會講演會

人類愛善會鐵嶺支部主催の下に今九日午後七時より滿鐵クラブに於て人類愛善主義講演會を開催する由なるが講演は總裁候補出口日出麿師を始め文學博士井上猶五郎氏の人さ神加藤明子女史の眞の人類愛善さ題する眞摯な叫びであり入場無料多數の來聽を希望すさ

撫順

「愛國の母」上映

滿洲事變突發以來旣に八旬帝國の權益擁護さ在滿同胞の生命財產保護の重任を背負ひ生命を曠野の極寒に曝しつゝ狂暴なる支那官兵匪賊膺懲の爲日夜活動しつゝある帝國軍人並に警官の勞を慰め或は名譽の戰死者の靈を祈りその遺族を慰め或は軍資金を補ふ事は在滿同胞當然の責務である爲來る十二日（土）十三日（日曜）の兩日撫順婦人會主催公會堂に於て映畫「愛國の母」を上映する右は西ナイチンゲールさ併稱される愛國の女傑奧村五百子女史の一生を映畫化せるものである、而してこの催しに依る純益金全部を前記の資金に充つるもの故奮つて來場され度い

鮮人繩を納付

在撫順邦農救濟の爲高等係の世話で今回炭礦使用の繩六千五百枚を納付する事さなり邦農は仕事が出來大喜びである、尙近く叺繩等の作業にも取掛る豫定

本溪湖

鄉軍戰鬪演習

本溪湖在鄉軍人會にては時局以來未教育補充兵數十名の軍事教育を行ひつゝあつたが六日午後一時より神社山廣場に集合して益森守備隊長の檢閱を受け夫れより戰鬪演習に移り終つて分列式及び檢閱官の講評訓示等ありて後ち守備隊内にて一同夕食をさりて無事散會した

植田署長懇談

植田警察署長は時局懇談の意味に於て地方有志二十數名を新築の官舍に招待し懇談を交へた

遼陽

驛員採用試驗

遼陽驛では七日午前九時から現業員六名の採用試驗を實施した處應試者六十名の多きに達したさ

鞍山

軍警慰安映畫

旣報—鞍山新聞記者協會主催の鞍山守備隊留守隊及警察官並に同家族慰安の映畫大會は愈々九日正午さ午後六時よりの二回に耳り滿鐵館に於て上映するが記者團の意のある處を市民各位は頗る諒させられ非常に前人氣よく當日を期待せられて居るから定めし盛況を呈するであらう

滿鐵醫院患者

鞍山滿鐵醫院の十一月中取扱患者の統計を示せば外來患者最高三百八十名最低二百二十二名にて昨年同期に比較すれば最高八十三名減少し最低十名減少を示し外來延人員千七十一名を減じ入院千百二十八名を減ずる好成績を示し鞍山の衞生方面は頗る良成績である

外來患者　日本人　男　女　支那人　男　女　計

[illegible]

入院患者　日本人　男　女　支那人　男　女　計

前月越　三　三　三　〇　六
入院　元　畐　四　〇　一〇三
退院　モ　天　元　〇　〇　八四
死亡　二　〇　一　〇　〇　六
翌月越　三　二　三　〇　三
延人員　七三　六〇三　八九　一九　二七九

滿鐵醫院施療

鞍山滿鐵醫院では先月より鞍山附近及び地隣接部落の支那人に對し施療を行つて居るが昨今鐵道西部地方入植滿齡務會では多數の受診者があるさ

大石橋

滿鐵醫院施療

當地滿鐵病院に於ては關東軍司令部の依囑に依り附近鮮支人貧民の施療を客月六日より開始し去五日終了したが其の間仁科病院長を初め各係醫師並に慈愛に滿ちた看護婦の懇切叮嚀なる施療に對し一同其の恩惠に感泣してゐる因に施療を受けたるもの左の如し

鮮人　男五、女七

支那人　男一二六、女四二

合計八十八名にして外科九九内科八十一名である

鄉軍會員慰問

故海城在鄉軍人分會員橫山進氏が時局突發以來私家を忘れ全く獻身的軍ノ精神に燃へ名譽の戰死を遂げたるは世の廣く知る處なるが六日獨步三大隊副官寺尾大尉は軍人會本部及び大石橋在鄉軍人會支部を代表し慰問金一封を帶行慰問するところあつた

婦人會の活躍

大石橋聯合婦人會にては旣報の如く時局柄漲ぐましくも自覺ましき活動を續行し多大の賞讚を博しつゝあるが本日は大石橋よりの新入營兵士田中濟君綱野只一君末吉一君花田成清君福島善吾君笠岡定嘉君本持武夫君本田武夫君に對し夫れ〴〵祝入營の鮮かなる幟を贈り其の壯途を祝福した

金州

護國祈願祭

金州時局後援會主催の護國祈願祭は六日擧行された、此の日前日に變る朝來の曇天に加へ午前十時頃より珍しくも細雨さ化し氣溫も幾分低下したけれ共正午迄には集合地たる金州驛前には小學校兒童を始め金州在住民老若男女千餘名十二時十分小學校兒童を先頭に各團體旗時局後援旗等十數旗手ん手に小國旗を打振りつゝ細雨降りしきる中を時局軍歌「起てよ國民」を高唱しながら南山祠前に至り松山神官の祝詞、加世田後援會長、增田民政署長、高瀨警察署長等各部局代表二十餘名の玉串奉奠あり時恰も驟雨しきりさなり悲壯な裡にも森嚴莊重裡に終了、君ケ代合唱の上帝國萬歲を三唱、緊張裡に解散したが、午後三時より引續き小學校講堂において時局講演會が開かれた聽衆無慮七百名、本丸委員驗會の辭に次で加世田會長が奧地驗問の報告あり愈々本格に入つて何の爲めに戰ふのか高塚源一氏國論を統一すべし　今村貫一氏擧國一致國難を救へ　齋藤鷲太郞氏斷して行なへ　石本鏆太郞氏天下に正義人道を行はん　松山理三氏各氏共熱誠を籠つて自然的聽衆を博し午後七時半大盛況裡に終了

旅順

練習艦隊入港

九日練習艦隊入港の帝國練習艦隊……淺間は港外假泊一泊の上出港するので今村司令官は十日午前十一時三十分在旅官民の主なる者數十名を招じ盤手艦上に於てアットホームを催す由

市長の晩餐會

永山旅順市長は九日入港の帝國練習艦隊將士官以上百餘名を旅行社に招じ晩餐會を開催する、又市よりは乘組員一同に對し旅順繪はがきを贈呈する事さなつた

市民射擊大會

六日の市民射擊大會は時局柄さ初めての催しであつたゝめ旣報の如く出場者も在鄉軍人の百二十八人を筆頭に一般市民それに女學生まで參加する盛況で雨天にも拘らず五百十一人の多數に上り主催者側では意外の盛況に力を得て今後も時々催して市民の射擊訓練を行はんさ大いに馬力をかけてゐるが正確なる當日の入賞者は左の通り

第一班（在鄉軍人分會員一二八名）四十二點山本喜太（體研）四十一點高森進（警察）三十六點德永良一（關廳）三十五點山本幸太郞同小關虎吉、三十四點山本虎三同三輪文司、同濱砂憲叡、同山崎文三郞、三十三點馬場重太郞

第二班（旅一中、青年訓練所生徒一一三名）三十九點奧山彭城（一中）三十八點原崎正三（一中）三十七點入江利光（一中）三十六點釘島實義（一中）三十五點小島大、三十四點安藤滿義、同森貴志、三十三點福島三郞、同高橋庄次、同松田後雄

第三班（工科大學々生一二三名）四十二點山本政雄、三十九點東義雄、三十四點同元敬造・三十三點上野直次郞・二十八點西山進、二十七點利岡清郞、二十六點山崎玉城、二十三點岩杉滿太郞、二十二點山崎八郞、二十二點高森常雄

第四班（青年義勇警備隊一一一名）四十三點樺島順爾（中村町）三十九點津田武夫（工大）三十五點前田克巳（八島町）同中島嘉之、三十四點澤村賢治、同今村莊司、三十三點吉田實行、同青木利生、同村山忠吉

第五班（一般市民一二〇名）四十二點鈴木勝雄（關廳）三十八點紫富元治（一中）三十六點森修（博物館）同富永勉、三十五點近藤昇、三十三點藤永芳夫、同御影川辰雄、三十二點平田芳亮、三十點山田敏之、三十點市川公平

女子班（旅順高女其他一六名）三十八點鈴木榮（高女）二十九點奧山和子（關廳）二十七點山崎政子（高女）二十五點三浦君子、二十四點高塚和佐子、二十二點前川孝子、二十一點奧山萬千子、十七點本田ヨシ子、十六點川西喜見子、十一點大野春子

聯隊長の挨拶

步兵第三十聯隊長坪井大佐は七日榎本中佐、板倉大尉を代理さして市役所を始め各方面を歷訪、懇篤なる謝意挨拶を述べた

輸出產地證明

前月中に於ける旅順港より輸出產地證明を與へたるものは左の如し

品名	件數	數量	價格
苹果	七	三二貫	一一四
生糸	二	四八貫	一八、九〇〇
薦居	一	一〇貫	六〇〇
久留米カスリ	一	一〇〇反	四四〇
仔山羊	一	一頭	八
活鷄	二	一五、〇〇〇羽	三、〇〇〇
粕漬	一	一五〇罐	一五〇
同未漬	一		
噌漬	一	二四樽	二六
鮮粕漬	一	三箱	三
玉石	一	七〇〇噸	七〇〇
鹽	七	二四一、三三〇、四一〇斤	一〇四、九九九
計	三		一二六、一六五

黃金臺

滿洲事變に出動せる出動部隊並に傷病兵慰問さ關東廳及び留守部隊訪問の爲め來る八日金光教本部古川教正外團員二名來社の豫定

◇ 部下戰死者の慰靈祭參列の爲め來旅した坪井聯隊長は七日午前十一時十五分發列車にて北行

◇ 故小路通譯の嚴父小路次郞氏は七日各方面を歷訪慰靈祭に對する謝辭を述べた

法院便り

七日覆審部公判　第一小學校生徒五男女百五十餘名は見學の爲め傍聽◆判決言渡し豫定であつた播磨町崎力外六名の云渡しは事實調の爲め無期延期さなる◆留置被告寳、同金永吉兩名に對しては事實の審理を行ひ正午過ぎ閉廷

おめでた

女健子　金澤町一ノ一　二十五日出生
崇宏君　中家直秀氏長男　二十九日出生

第二の反抗（98）

三宅やす子
阿部金剛畫

女同士（二）

橋本家はお靜の父、五平の舊主家で、いはゞ恩のある筋だけれど、此頃のあの沒義道な仕打は——お靜の父が十五年の忠勤に對して、此頃のあの沒義道な仕打は——お靜には主家さいふよりも、敵の家のやうな氣がして居るのだ。

敵の家の奧さんに、助けて貰ふのは、筋がちがふ。金の事なら何でもさ云つてくれる奧さんの、現在の良人が、矢の催促で父を苦めて居るのぢやないか。

新吉さんだつて、そんな心配でキットボンヤリして居たんだろ、そこに不時の災難が來て、身を交す間もなく死んでしまつたのだ。

何にしたつて、橋本さ名のつく人に助けてなんぞ、貰ふものか。

さう思つて、お靜は顏を上げた

「御親切にありがたうございますでも、いろ〳〵譯があつて——どうぞ、打つちやつておいて下さいまし」

「打つちやつて置けないのよ。誰にも云へないことはそれやあるわ私だつて、今日東京から歸つて一ちをぬけ出して、こんな川つぷちをうろついてるのよ。大抵想像がつくでせう。誰にも云へないことは、誰にだつてあるのよ。でもね」

佐枝子は、姉のやうな慈愛をこめて

「死ぬ氣になれば、こわいものはないわ。それから、遠慮するものもないのよ。私にしやべつたつてどつこも洩れやしないことよ」

「……………」

「もしかお金の事なら、さつき云つた通り私が出してあげます。私はね、どうせ死ぬ身にお金なんか要らないから」

「奧樣！」

お靜はびつくりして

「奧樣は、死ぬなんて——そんなこさ、仰しやるもんぢやありませんよ」

「どうしてなの、生きてゐて何もおもしろいことがなかつたら、死んだつていゝぢやないの？」

「いゝえ」

お靜は、今度は、佐枝子をなだめるやうに

「生きられないものが死ぬものでございます。食ふに食へないものが、死ぬのでございます」

「あら」

佐枝子は眼をパチッさして

「だからあんたは、食べられるやうになれや、死なゝくていゝんでせう」

「それ許りではないんですから」

「暮しのために死ぬんぢやないの？違つたら御免なさいね。身賣りするのが厭で、死ぬんぢやなかつたの？」

お靜は眞劍になつてうつむいた

「だから、其代りに私がお金を出せば、いゝんでしよ」

「……………」

「どの位あればいゝの？」

佐枝子は、其借金が、自分の良人や太吉老人に返さなければならないのださいふことを、うすく知つて、しきりに訊くのである、が、お靜の口からどうして、それを話せやうか。

「ありがたうございます。でも——奧樣に、拂つて頂ける筋でないので——」

講談倶樂部 新年號

到る處で大評判の三大附録

十万円大懸賞あり（賞品山の如き 誰方も早くお出し下さい）

この三大附録つき タッタ八十銭

第一附録 芝居と映画寫眞大觀

映畫通・芝居通となる虎の巻!! 四六判二百四十頁の別冊附録

内容

◆舞台俳優の素顔と當り役畫報……◆映畫俳優の素顔と當り役畫報……◆寶塚少女歌劇・東西レヴュウの花形◆海外十大人氣スター……◆明治名優の俤（素顔と當り役）……◆名監督列傳・新進賣出しスター……◆可愛い子役畫報・俳優の一日……◆ブロマイド賣高番附◆系統的に見た俳優一覽と芝居の歴史◆映畫のできる迄・スターになる迄◆芝居ものしり辭典……◆映畫ものしり辭典

寫眞だけでも實に數百枚 興味ある説明つき

寫眞に加ふるに各俳優の經歴、特長、性格、年齢、住所つき。其の上上記の如き興味ある内容滿載！好劇家、映畫ファンのみならず時代人として何人も一冊は座右に備ふべき大寶鑑！大評判です、早く御覽下さい

第二附録 全國代表美人大画報

新聞二頁大のグラビア附録

第三附録 現代文藝家名鑑

現代美男美女列傳

新年號自慢の美麗グラビア畫報

列傳中の顔ぶれ

●鐵道省の名物男新井觀光局長●ミス・インターナショナル井上武子孃●華曽界の一名花野津美智子孃●首相秘書官として人氣の木村小左衛門氏●三十一文字に親しむ原普一郎氏●名門の出に珍らしい齋藤靜子夫人●形調唱に精進する永井美奈子孃●肉の嘆をもらす吉田駐伊大使●有城子線の勇將大島陸太郎大佐●美戰に活躍する溝口歌子さま

俠客列傳 ちびの大三郎 …… 村上浪六

天尺に足らぬ小男ながら滿身これ膽の大三郎が、國定忠次を相手の武勇談！天晴れ俠客に勝るとも劣らぬちびの大三郎

入江たか子と母（大評判の女優物語）

東坊城子爵の令孃と生れた彼女が映畫界に入る迄の波瀾の經路と、スクリーン生活表裏の血涙秘録！映畫界第一の人氣スターの奇しき涙の半生物語を見よ

◉生死戀 青春の渦巻……野村愛正
◉時代繪巻 滿願城……白井喬二
◉現代小説 都會獸……三上於菟吉
◉鼠小僧次郎吉（大捕物戰）大佛次郎
◉名力士 荒岩出世物語（鳥羽修平）
◉名作講談 俠勇小幡助六（田邊南龍）

時代小説 檜山變化暦 …… 直木三十五

ドン！と一發、白澤峠の…… 江戸に現れ、南部に忍び、…… 馬大作一代の史實を種に、…… 直木氏が精魂をしぼった痛快無類の劍豪物語！

◉妖麗そのもの、如き美しき處女の戀愛戰 妖麗 …… 菊池寛（挿繪）寺本忠雄

稀なる美貌に惠まれた一處女が、家運の没落と父の自……

◉百万両の秘密と俠艶江戸娘 本町紅屋お紺 …… 吉川英治（挿繪）岩田專太郎

◉雨か？風か？美しき兄妹の前途 心の太陽 …… 中村武羅夫（挿繪）林唯一

大探偵小説 恐怖王 …… 江戸川亂歩

恐怖王・恐……　美貌の……事件は……は？

大評判の短篇讀物

●しつぺい返し……松村武雄
●播隨院長兵衛……サトー・八郎
●桐野と小鐵……尾野實信
●近藤勇……西條八十
●西郷南洲と會ふの記……和田邦坊
●この人を見よ……川村理助
●ホテル王成功物がたり
●お正月漫談……三升家小勝

人氣力士大座談會

勇しい櫓太鼓の響……場所を目前に、大の里、玉錦、能代潟、武藏山、天龍、春日野、花……伊勢ケ濱、松内前三……、松本……石谷……

二色刷の大特輯 川柳いろは歌留多

谷脇素文畫伯の大傑作

諷刺と諧謔！興味百パーセント。繪を見ただけでもトテモ面白い。而も有益な大繪卷。

◉家庭小説 鐵の花環（佐藤紅綠）
◉幕末劍豪傳 奇劍士大石進（流泉小史）
◉俠客傳 清水次郎長（小島政二郎）
◉滑稽落語 權助提灯（桂文樂）
◉滑稽落語 三味線栗毛（三遊亭小圓朝）
◉名作落語コント集（川上三太郎）
◉愛の復活 太平洋上の戀人 …… 春日楢夫（女流飛行家と推偵當局との謎の戀物語）
◉芝居小説 鳩の平右衛門 …… 本田美禪（只今！寺岡平右衛門親子の悲烈物語）

義心俠情さても見上げた男っ振り 旅の風來坊（長篇戲曲）…… 長谷川伸

帝都に潜入せる大胆不敵の怪賊 白狼無宿（探偵小説）…… 保篠龍緒

定價八十銭（送料七戔）　東京本郷 振替東京三九三〇　大日本雄辯會講談社

滿鐵線を脅やかす 學良の別働隊 蠢動する五千の兵匪 各地被害状況

張學良の東北軍が大凌河以東の地區に進出を開始すると同時にその別働隊約五千名が滿鐵線附近に蠢動せる状況左の如し

一日　湯崗子西北方六粁小軍屯に約百名の匪賊現はれ掠奪、獨立守備隊第三大隊第二中隊出動してこれを討伐撃退、同時鞍山西方大孤山に匪賊約四十名現はれ掠奪、獨立守備隊第三大隊第一中隊討伐に向ひ敵は退却した、同日開原西南方四粁三塞子に匪賊五十名現はれ掠奪、獨立守備隊第五大隊第一中隊出動して匪賊に多大の死傷を生ぜしめた

二日　午後十時五十分公太堡(奉天西方約二十五粁)農場に匪賊來襲、警官隊、農場事務員と應戰退却した

六日　公太堡に敷百名の匪賊來襲して掠奪、わが方では飛行機を以てこれを撃退、同日午前十時四十分新坂子驛西方五粁の附落堡に約二百名の匪賊が襲して掠奪、獨立守備隊の二個中隊出動してこれを討伐に向ひしも賊は退却、同日午前七時奉天西方約三十粁の前邊鎭に約三百名の匪賊現はれ掠奪、飛行機を以てこれを撃退

七日　朝本溪湖東方約六粁の牛心臺に匪賊五十名現はれ日本人一名を人質として拉去し獨立守備隊第四大隊第一中隊これが討伐に向ふ、同日夜上牛心台(本溪湖東方十五粁)の日本警官派出所を襲撃し巡捕三名即死、警部補一名、巡査二名負傷した

八日　朝本溪湖警察署員及び守備隊討伐に向ふ【奉天電話】

長春附近の匪賊を近く徹底的に討伐

學良一派に使嗾煽動されて 特産出廻りを阻害

長春は目下歸休待機の混成〇〇旅團及び第〇〇聯隊の歸休隊あり更に關東軍航空隊長春中隊あり歩騎砲工各隊及び航空隊まで加はり堂々北滿を威壓してゐるので極めて平穩であるが少しく長春を離るゝ四郷は匪賊敗殘兵の跳梁止まず最近に關東軍はこれ等兵匪々賊の首領等に使を送り速かに敗殘兵は錦州方面に去り匪賊は正業に復するやう勸告し若し肯かざれば徹底的に討伐を決行する旨を傳へたが、張學良一派が金を撒まして使嗾煽動せるものであるため容易に承服する模樣なく長春に近き懷德縣の如き大小二十二名の頭目の下に多きは五百名、少くも三十名位の部下を率ゐて放火掠奪その他あらゆる殘虐行爲をなす群賊約二千八百餘名頭目不明の小匪賊を合すると四千五百名以上あり更にハルビンとの間農安縣下にも古くより巣喰ふ馬賊の大頭目の部下數百の外小匪賊出沒し特産物の出廻りを阻害する外許し難き行動に出づるので我軍部は近くこれ等不逞の輩に對し斷乎討伐を決行する事となり既に方案を決定した模樣である【長春電話】

楡樹屯に二百名 公安隊と交戰

渾河西方約一里の楡樹屯部落に八日朝兵匪二百名現はれ途中公安隊と交戰中との急報により奉天警察署より警官十數名急行した【奉天電話】

チチハル附近の匪賊は約千百名

目下チチハル附近に横行せる匪賊の狀況左の如し

東方三十支里附近に約二百名、南方二十支里附近に二百三十名、西方約十五支里乃至三十支里の間に三百名、北方十八支里乃至六十支里の間に四百名【奉天電話】

安奉線に匪賊現はる 警官隊急行す

七日午後三時安奉線鷄冠山驛附近に匪賊の一團現れ急報により奉天より警官隊出動討伐に向つた【奉天電話】

白旗堡驛を匪賊襲撃 有金を掠奪逃走

北寧鐵路局の情報によれば六日數十名の匪賊は白旗堡驛を襲ひ驛長を脅迫し金庫の有金その他を掠奪逃走した【奉天電話】

增兵を要望 外務當局を鞭撻

決議文を直ちに要路へ打電 旅順で非常市民大會

增兵を要望し、外務當局を鞭撻せんとする旅順非常市民大會は七日午後六時三十分より昭和園に於て開催、千三百餘名の聽衆場内を埋めた、定刻大塚乾一氏開會の辭を述べ永山市長を座長に押し次で各辯士は交々起つて熱辯を揮ひ左記の如き宣言、決議文を滿場一致可決の上陸山助役の閉會の辭を以て盛會裡に散會したが當夜の決議文は直に母國各要路に向つて打電した

宣言文

我が在滿軍隊は東奔西馳常に數倍の敵に對抗し鐵石の身尙困憊其極に達す、加ふるに錦州假政府は敗兵馬賊を使嗾し戰備を整へ沿線各地を擾亂しつゝありて我が在滿邦人の脅威甚大なるものあり政府は速かに增兵を斷行し禍根絶滅を期せられたし

中立地帶設定の議は支那側の錦州以東說と聯盟側の山海關以東說とあるもいづれも支那側及び聯盟側の利益に過ぎず、若し設定の必要ありとせば其の地點は少くとも山海關長城線を限る西南の地點たるべきことを宣言す

決議文

旅順非常市民大會

一、現在滿洲の形勢に對し地元旅順市民は憂慮に堪へず政府當局は速かに增兵を斷行せられたし

一、公明なる我が自衞權に危害を加ふる兵匪馬賊群を剿滅し併せて皇軍に挑戰せる錦州假政府の現狀に對し政府當局は速かに之れが驅逐の方策を執られたし

一、中立地帶の設定必要ありとせば山海關長城線以南たるべく政府當局の主張を望む

尙當夜は大連よりも應援辯士參加した演題辯士左の如し

一、滿蒙に對する帝國の地位　小川順之助
一、時局の前途　實性　確成
一、題未定　恩田熊壽郎
一、同　竹中延太郎
一、國論一致　眞野　岱城
一、恐米論者に與ふ　福永　新七
一、皇軍を待つ滿蒙の天地　岡野榮次郎
一、滿地倭血を以て彩らん　津田　元德
一、外交は自主的たれ增兵は焦眉の急　村上　信二
一、題未定　山本　政雄

牛心臺の邦人は無事 本溪湖も嚴重に警戒

牛心臺の停車場、派出所は賊團に包圍され停車場は全燒、派出所は半燒となり警官隊は三名即死、三名重傷の報に接して本溪湖上田署長以下二十五名は急遽出動し八日午前八時二十分牛心臺に到着し賊を追撃中であるが輕鐵從業員その他日本人家族は異狀なしとの報があつた、本溪湖守備隊は歪頭山方面に全員出動し不在のため在鄕軍人會で直に非常召集を行ひ賊團の逃げ路と思はれる平頂山に四十名本多山に十五名を出動せしめて警戒に當り市中は軍人會員のみで警備についてゐるが市民は非常に脅怖に襲はれてゐる【本溪湖電話】

部下を殺し 有馬警部補泣く 遺骸と共に太子河着

死傷者及び有馬警部補等は八日午前十一時太子河驛に歸着したが、後部無蓋車には三個の遺骨白雪を冠りて横はり負傷者遺族等は全部客車に乗りて到着したるが、左腕に繃帶したる有馬警部補は下車するや出迎への大岩署長に抱きつきオオと聲を揚げて泣き「部下を殺してしまひました」と自分の負傷を顧みず泣いて居たのを見て居合せた人々はいづれも熱涙を催した、それより直に迎への擔架にて滿鐵醫院に收容された【本溪湖電話】

死傷者の氏名は左の如くである

即死者　金巡捕長(右頸部貫通銃創)姜巡捕(口から頭蓋骨貫通銃創)劉巡捕前頭部貫通銃創

負傷者　有馬警部補(左前膊銃創)高橋巡査(右肺骨下部盲貫通銃創)門屋巡査左觀、銃創【奉天電話】

門屋巡査の苦戰談 漸く血路を開く

今朝未明より牛心臺を發したる警官偵察隊五名は牛心臺北方にて賊團に遭遇し直に交戰したるが賊百二十名の大部隊にて警官隊は漸次包圍さるゝ狀態となりたるより何れも一方の血路を開いて辛うじて逃れたるが門屋巡査は九時頃驢馬にて歸署した、同巡査は偵察隊は包圍され全く危地に陷つたので自分は太子河を渡り西岸の支那部落にて驢馬を徵發し撫順街道に入り守備隊宴に出で歸署したが同僚の生死はもとより一切の消息は不明であると非常に昂奮して語つた【本溪湖電話】

負傷兵の無聊を慰む 文庫や映畫で 關東廳學務課

關東廳學務課では目下旅順衞戍病院に入院治療中の負傷兵達百八十餘人の身心を慰むるため、今回圖書館で「軍隊慰問文庫」五個を調製し病院内の各病室に夫々備へ付くることとし書籍も取敢ず思想、宗敎、小說、旅行記、傳記等肩の凝らぬ通俗新刊讀物二百餘册を新に購入し八日から備へる、尙映畫班では十二日頃病院内で慰安映畫會も催す由であるが、ガランとした病室内で無聊の日を送つてゐる負傷者達はこれ等の設備や催しで今後大いに慰められるであらう

連山關の守備隊應援に出動

牛心臺より東北方に移動せる匪賊掃蕩のため我偵察隊は第一線に起ち追擊中であるが連山關守備隊より三川中尉以下五十名急遽出動八日午後十二時四十分牛心臺に到着直に現場に向つた【奉天電話】

死傷者 全部で六名

牛心臺で匪賊と交戰し死傷した我警官隊は八日午後一時牛本溪湖に到着、負傷者は直に滿鐵醫院に收容加療中であるが生命には別條ない模樣である、なほ即死者、負傷

昂々溪大興戰 勇士の遺骨 十二日に大連に到着 十三日のばいかる丸で歸國

酷寒肌を刺す朔北の荒野昂々溪大興方面の戰鬪に於て壯烈な戰死を遂げた勇士の遺骨百四體は十二日旅順部隊は午後三時十分、奉天、遼陽、海城、鐵嶺部隊は午後四時五十分着列車でそれぞれ大連驛に到着するが、その內譯は左の如し

長春駐剳歩兵第二十九聯隊十一、遼陽駐剳歩兵第十六聯隊六十六、海公主嶺駐剳騎兵第二聯隊六、鐵嶺駐城駐剳野砲第二聯隊六、旅順駐剳歩兵第三十聯隊三十、自動車班一、剳工兵第二大隊一

なほ遺骨は到着の上關東倉庫內に安置され翌十三日正午出帆のはるびん丸でそれぞれ原隊に送還される筈である

下賜の眞綿を謹製

皇后、皇太后兩陛下には酷寒の滿洲警備の任に當る將士の勞苦を思召され眞綿下賜の思命があり宮內省では農林省を通じ大日本蠶糸會に委託し目下同會では東京蠶糸學校內に於て調製中であるが五日午後二時から宮內省、陸軍省より係官が同校に出張し製綿振りを檢分した【寫眞は右より野口侍從武官宮內省用度課長、原田少佐、千葉大尉】

兵匪襲撃をうけて 華興公司殆ど全滅

約百萬圓を投じた理想的農場 鮮農五百名氣遣はる

通遼華興公司における兵匪襲擊事件の結果は詳細不明であるが同地は四里四方もある廣大な農場でこれ迄大倉組、華興公司等で約百萬圓の經費を投じ井戶を掘鑿し、羊を移し或はトラクターを設置するなど諸設備を完了した理想的な同公司農場も之によつて殆ど全滅せるもの、如く同地居住鮮農五百名の生命も非常に氣遣はれてゐる【奉天電話】

三業組合が慰問金 大連署に屆出

置屋側が單獨で慰問金の醵集をしようとした事は警察官並に警察官の命令によつて取止めとなつたので大連三業組合では去る十一月二十六日役員會を開催、組合員中から慰問金募集を行ふことを申合せ、翌日から直に役員の手で募集を行つた結果、一千九百三圓四十錢集つたので、うち千六百三圓四十錢を軍隊へ、三百圓を警官慰問金として田中副組合長、若松會計係は七日大連署に出頭寄贈の手續きをとつた

淺間乘組員が慰問金

七日午後小崗子署の受付に目下大連入港中の練習艦隊淺間の乘組員が來て金一封を在滿軍人への慰問金として取扱ひ方を依賴し名も告げず立去つたがこの奇特な行爲に署員は非常に感激してゐた

遭難同胞の義捐金品を送附

暴戾なる支那兵匪のため放火虐殺されたり或ひは掠奪暴行された上その住居を追はれた遭難同胞のため大連市役所では之が救濟の目的を以て過般來義捐金並に同情品の募集中であつたが今回締切の上現金三千圓、衣類、食料品六十梱包を奉天總領事館あてに送附し分配かたを依賴した

練習艦隊けふ旅順港へ廻航

入港中の帝國海軍練習艦隊淺間、磐手は在泊五日間戰跡視察に市內見學に或は時局講演會にアットホームに頗る意義のある日を送つたが、九日早朝旅順に廻航する事なり今村司令官代理として副官は市內各方面挨拶に廻つた、兩艦は八日午後四時拔錨一旦港外に假泊九日午前五時出港すると

北太平洋橫斷中止

【東京七日發】コンナー・マクドネルは十二月太平洋橫斷決行を傳へられたが使用機製造のヘランカ會社支配人談によると飛行機は作製したが金が拂へず兩氏とも横斷を斷念しシカゴに歸つたと

日本邦樂學校開校

【東京七日發】三味線界の一人者杵屋榮藏の日本邦樂學校は明春二月から開校に決した

慰問金寄贈

逢坂町遊廓快樂樓主八尋雄次郎氏は七日大連署を通じ二百圓を軍隊へ、百圓を警察官慰問金として寄贈した

滿洲軍の動靜や慰問の放送

近く技術者が來連し 內滿の放送連絡を完備

【東京特電七日發】滿鐵理學試驗所の中谷技師は某方面の用務を帶び上京中であつたが大體研究事務を果したので八日東京驛發歸連する事となつた、中谷技師の斡旋により關東州と內地との放送連絡を完全にする打合が出來たが約六名の技術者が近く內地より出張する筈である、極寒の奧地に於ける日本軍に對しても時に慰問のラヂオ放送をなし、また滿洲軍の動靜に就ても差支なき程度に於て隨時內地に放送し熱烈なる國民の後援に報い軍部と民衆との接近を出來るかぎりはかる方針であると

北平の學生團 目的達成南下す

七日約一千名が

【北平七日發】前後三日間飢餓と寒氣に耐えて北平東西兩停車場を占領してゐた學生團は遂に目的を達成し本日正午約一千名列車に搭乘し南下の途に就いた、これ明かに蔣介石及張學良の押へがきかなくなつた事を證するもので學生を中心とする民衆運動は今後益々惡化暴動化すべく、結局廣東派の反蔣運動と相俟つて蔣張の自發的下野なきかぎり收拾し難き事態を惹起するものと觀られる

陸軍省が獻金で『愛國號』を購入

戰線に送るに決定

【東京七日發】陸軍省は獻金十三萬圓をもつて陸軍愛國號を購入し戰線に送る事となつた

宮城縣鄕軍が飛行機獻納の資金を募集

【仙臺七日發】宮城縣在鄕軍人團は陸軍重爆擊機「宮城野號」を獻納するため二十萬圓の募集に着手した

神奈川縣商工協會から慰問

滿洲における邦商及び軍隊を慰問し勞々關係商取引の實況を視察するため神奈川縣商工協會より派遣された神奈川縣商工課秋野直一、同山口忠彦、橫濱商工民友會理事長石渡清作、同理事齋藤猛の四氏は八日はいかる丸にて來連各方面を訪問して慰問の挨拶を述べた、大連には兩三日滯在し十日大連發旅順を始め沿線各地を訪問、ハルビンに赴き來る二十日過ぎ安東から朝鮮經由にて歸國する筈

安樂椅子

(手紙一)……兵隊さんたちな隣國祈願祭たまのあたり見た小學生五名が感謝の手紙に、ため小遣錢十八錢を添て獻金方を本社に賴んできたことは既報しましたが、お手紙が大變よく出來てゐるので、所々を原文のまゝ紹介して、兵隊さんと共に感謝と微笑みを五人の坊ちやん達に捧げたいと思ひます。

(手紙一)……兵隊さんたちなんぎするでせう。僕は兵たいさんのこどもがきになつてたまりません。兵たいさん御國のためはたらいてください。

(手紙二)兵隊さんありがたうございます。僕は兵隊さんのために學問やあそんだりしていられます。……お金をおくつてやりますからどうぞゆつくりとしてください。そうしてどうかしてしなの兵隊おやつけてください。

(手紙三)……僕は大きくなつたら飛行家になつて支那の國にばくだんをおとしてやらうと思ひます。……いつもこの滿洲をまもつて下さるので僕たちはらくらくとさぬくいふさんにねられますのでありがたうございます……日本の軍隊のだいきんが五十萬圓以上たまつてゐるさいふことをきいてもやくにきれました。兵隊さん日本帝國のためにはたらいて下さい。

曙の鐘 (133)

倉田潮
河野想多畫

夜船情話 (四)

浦吉はおしの屍體を舟に乘せて親舟に歸つて行くことは出來なかつた。仕方なく彼は屍體を小舟にのせたまま、一二町沖の方に舟をこぎ出した。

月のよい冬の夜だつた。月光に屍體をしらべて見ると、咽喉に鋭利なナイフのあさがあつた。假名書きの遺書によると、おしのは若衆に見つけられ押て來られて、兩親が無解に窮してゐるのを聞きながら、自殺したのだつた。浦吉は烈しい悲しみに襲はれてそのまま自分もそこで死んでしまひ度いと思つた。彼は屍體に取りすがつてごうこくし號泣した。がよく見ると、屍體は死んでゐるとは思はれぬほど美しい。顏は透き通るほど白く、眼は睡つてゐるやうに安らかに閉ぢてゐる。彼は幾度となく屍體の顏に接吻した。と、おしのがそれを喜んでゐるやうにさへ見えるのであつた。

彼は屍體を水葬する氣にはなれなかつた。何時までもおしのと一緒にゐたい。そして、最後に彼も屍體と共に海に身を投じて死んでしまはふ。さう思つて彼は屍體と共に沖へ沖へと舟をこぎ出した。

冬の月は青い鐵のやうに空にかゝつて、海は青鱗の如くその光を反射してゐた。舟はその上を黒く沖へ流れて行く。彼はその夜屍體と共に臨落ちの一夜をあかした。が、曉の夢がさめた時、屍體と共に海のもくずとならうと思つたことは破れて、舟は金華山沖に出漁してゐた多くの漁船に取りまかれてゐた。洋上にたゞよふ小舟を彼等は難波船のボートだと思つたのだつた。浦吉はそこから警察に連れて行かれ、仔細に取り査べられた末に釋放されたが、その時は勿論おしのゝ屍體とは別れてゐた。彼は完全に死に遲れてしまつた。が、おしのに對するせめてもの義理立てと、それ以來今に至るまで獨身を守つて、利根川通ひの舟に船頭をしてゐるのだつた。

「あゐれえでご座んせう」

と船頭は話を終つた。春木はそのロマンスに興を覺えた。海と川とはことなつてゐるが、それもこれも水の上であり、そして、月光の夜の出來事である。

よしづをすかして河上を見ると、月は光を波に投げて、川一面を青い憂鬱に染めてゐる。波の音はさゝ響きと聲を合せて、恰も悲しみ泣いてゐるやうに聞えた。

春木はコップの火酒をのみほした。燒酎の中に梅の實を入れたもので、味は非常によかつた。

舟に乘る時、春木が船頭に暗い影を見たのは、船頭の心にやましい處のある爲ではなく、限りない悲しみのある爲であつた。若い日に心に烙印された悲劇が彼の面に暗い影をつくつてゐたのだつた。

春木はすゝめられるまゝに快く盃を重ねた。たえ子も船頭に好意「自分の兩親ともおしのゝ親とも、それ以來一度も逢つたことは御座んせん。が、もう今は誰も生きちの瞳を投げてゐた。

船頭は酒がつきると、船底から瓶を出し、再び酒をくみ初めた。酒より外に彼の殘生を慰めるものは無いのであらう。が、盃をくみ交してゐる春木は、強い火酒の酔に全くよつて、つひには眞菰に眠つて眠り初めた。たえ子も彼の背に顏をうづめて、輕くまどろむもののやうだつた。

ろの聲と波の音が春木を深い眠りに導いて行く。眠るまいとしてゐた彼は次第に眠りの底の沈んで行つた。……

ふと彼は輕く體を揺り動かされたやうに感じた。眼を開くと、艫の先に船頭が微笑を浮べながらイんでゐたが、

「もう間もなく着きますよ」

と云つて戸を開いた。起き上ると何時か朝になつてゐた。舟は大利根の波をかきわけながら、勢ひよく水上へすすんでゐる。見ると舟には白帆が張られてゐるのであつた。

新年俳句川柳募集

◇俳句 課題「新年雜詠」五句以內、東京市牛込區若松町八一島田靑峰氏宛(滿什俳句と朱書の事)
◇川柳 課題「鶴」五句以內大連市能登町十高橋月南氏宛
◇締切 十二月十五日
◇賞金 俳句川柳とも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

けふの放送

大連 JQAK 十二月九日

▲午前七時 ラヂオ體操
▲午後六時五十分 ニュース
▲英語講座「テキスト第三十四課」大連神明高等女學校山田長三郎
▲マンドリン獨奏「ポルカバリアータ」(ベッテルー作)「降誕歌」(ベッテイーネ作)「ボレロー」(デリー作)伊藤十五郎
▲筑前琵琶「旅順の乃木」法慮山川原旭華
▲人情噺「情の雲井龍雄」愛田泰輔
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK 十二月九日午後六時三十分

▲時事講座「滿洲事變と日本財界」法學博士渡邊鐵藏 ▲運動競技「送別日比拳鬪試合狀況」日比谷公會堂より ▲常磐津「新荷雪間の市川新山姥」淨瑠璃常磐津和佐太夫、同綾瀨太夫、同和喜太夫、三味線市松、上調子小和佐

滿洲日報

討伐權は我代表宣言 撤兵問題條項は削除
今曉の理事會にて意見一致
聯盟會議は愈よ終幕

【パリ七日發】本日の理事會十二ヶ國會議は午後五時十五分（滿洲時間八日午前一時十五分）より午後六時四十五分まで前後一時間半に亘り決議草案を審議したが、會議の結果決議案並に議長宣言字句に關し全員意見の一致を見るに至ったものと解される斯くて日支紛爭に關する三週間に亘る會議は結末を告ぐるに至った、而してその方針は撤兵期明示とか、匪賊討伐權とかいふ如き暗礁多き問題は決議案若しくは議長宣言文中から除くことによって婉曲に回避し、萬事は現地に派遣せらるべき調査委員の活動に聯盟の實質的效果を期待せんとするものでその要項は左の通りである

一、匪賊討伐權に關する日本の主張は議長の宣言文中から削除し、その代り公開理事會席上芳澤代表より右趣旨を宣言することを許し且つ他の理事國代表は爾後右宣言に關して批評の自由を保有すること、而してこの批評の自由なるものは日本をして今後極端な行動に出ることを遠慮せしめるための一種の婉曲な警告を意味するものと解する向もあるが、少なくとも形式上は單なる批評の自由なるにとゞまる

一、錦州を含む中立地帶の問題に關しては聯盟調査委員が現地に到着すれば委員會は撤兵その他の解決を促進するだけの充分有力な機關たり得るに至るべきを信ぜらる、故にこの際強ひて決定を求めずともその窮極的解決はこれを委員會に期待し得べく從って調査委員會が行ふ報告に關する決議草案第五項の條項は削除し議長はその宣言で右に同じく一般的言及をなす

一、對支混合調査委員の數を六名に增加するに決した旨傳へられたが、其後右報道は事實に相違ある事判明した、委員の數は依然五名を固執する事原案と變りなく然も英、米、佛の三國以外には委員を出す國が未だ決定を見るに至らぬといふのが現在の眞相である

日本案協議

【パリ七日發】今日午後の聯盟理事會決議案起草委員會は施肇基氏と中立地帶並に支那調査委員會に關する日本案につき協議したなほブリアン氏は午後三時半芳澤公使と會見した

錦州中立地帶案放棄
理事會日本の對案を曲解

【パリ七日發】十二ヶ國代表は七日午後の會議の結果錦州地方中立地帶設置案を放棄に決し單に錦州方面における現狀を承認して日支兩軍に衝突を回避することを要請するに決定した而してブリアン議長は特に日本政府に書翰を寄せ日本軍が同地方より撤退したる事實に關し感謝の意を表明するものと觀られてゐるが、右の如く芳澤代表からブリアン議長に通告した日本政府の中立地帶案が理事會の容れるところとならなかった理由として今夜聯盟方面で傳へられる處によると日本案は結局錦州（就中錦州より山海關に至る地帶）を全く日本軍の手中に歸せしむる魂膽だと甚だしき曲解をなせる結果であると觀られてゐる

公開會議は九日
討伐權宣言字句承認

【パリ七日發】理事會公開會議は九日開會に暫定的決定を見た、恐らく最終會議とならう

【パリ七日發】決議案起草委員會は十二ヶ國會議の散會後午後七時より伊藤述史氏を招き八時半まで審議一時間半に及んだ 匪賊討伐權に關し芳澤代表が公開會議席上行ふべき宣言の字句については十二ヶ國會議の同意を得たが、右芳澤代表の宣言に對し會議席上反駁乃至批判を爲す事を禁ずべしとの日本代表部の要求は未だ十二ヶ國會議の受諾を見るに至らない、依って決議案の本極りを見るのが多少遲れるかも知れぬが右宣言は全然匪賊に言及せず專ら軍事行動の自由に關するものだとの説がある之は全然根據がない

天津管理案立消え
理事會は最早難關を乘越えた
施支那代表の意見

紛爭の圓滿解決を妨げるやうな乘越え難い障碍がなくなった

【パリ七日發】本日午前の決議起草委員會においてはセシル卿が支那代表施肇基氏に對し決議草案に對する日本政府の主張を説明起草委員會としては出來るだけ日本政府の希望を容れたい意向であると力説したさいはれる之に對し施代表は

本國政府の訓令は決議原案に關するもので修正を加へられた點については改めて請訓しなければならぬ

と自己の立場を明かにしたがセシル卿は施代表に對し支那側が之に應ずる事を促した、右委員會後支那代表施肇基氏は語る

余は一寸風を引いてゐる、余は天津國際管理案を持出したがその案には一定の地域を限ったものではなかった、然し兎に角現在では天津國際管理案は全く立消えとなってしまった、今日の起草委員會では日本の提案を聽取し決議案の全般につき審議を遂げた 最早紛爭の圓滿解決を妨げるやうな乘越え難い障碍がなくなったと信ずる

中立地帶問題と南京政府の不信
重光公使の聲明書

【南京七日發】重光公使は先月末來京以來中立地帶問題に關し顧維鈞氏と交渉中なりしが支那側の不誠意から交渉決裂したので今日午後四時日清汽船の城陽丸で遂に上海に引揚げた出發に際し重光公使は大要左の如き聲明書を發表した

錦州軍及び錦州政府は馬賊便衣隊を使嗾し表面無抵抗を唱へながら裏面で盛んに對日敵對行動を奬勵しつゝあり若し日軍が徹底的に土匪討伐を行はば勢ひ錦州軍と衝突を免れぬ顧維鈞氏は此點を考慮し先月廿四日英米佛三國公使に對し日本に異存なくば錦州より山海關に至る間に中立地帶を設定し錦州軍は全部關内に撤退する案を提出し日本は聯盟の九月三十日の勸告に副ふやう多大の困難を排し之を受諾し同時に非常な犠牲を忍んで日本軍を後退せしめた、よって今回余は顧維鈞氏との會見において繰返し日支兩國の困難を脱するため最初にして唯一の方法は兩軍衝突の防止にあり、このため中立地帶設置を實現するは極めて重要にして日本が既に受諾せる以上支那も同樣誠意を示されたいと勸説したが、顧維鈞氏は日本軍隊が引揚たるを見て既に右案實現の必要なきに至ったと感じたか又は右提案により單に英、米、佛及び聯盟を引入れて事態を複雜化し日本を牽制せんと考へたるか或は學生その他種々の内部的困難事情によるか詳かでないが兎に角今日では顧維鈞氏は最初の提案の趣旨實現に極めて冷淡で余は遺憾に堪へない

まだ安心は出來ぬ
伊藤述史氏談

【パリ七日發】匪賊討伐の點を日本代表の一方的宣言でなく議長の宣言に入れやうといふ日本の提案通りになった事、又兎も角調査委員報告の點を決議文から抜き出してしまふ方針になった事は起草委員會の仕事が大いに進歩したものと觀て樂觀してよきやと伊藤述史氏に質問したところ伊藤氏は「未だ〳〵安心は出來ない」と語った起草委員會が終った後伊藤氏は記者に對し「今日はなか〳〵骨が折れた」といったが伊藤氏は起草委員四人とドラモンド氏の五人を相手に一時間半に亘り盛んに討論して來たのである、伊藤氏の聲が馬鹿に大きいので隣の室では同氏の聲ばかりが聞えて來た【寫眞は伊藤述史氏】

全滿日本人聯合大會（きのふ奉天における）

國際聯盟脱退も對日宣戰も不能
于右任氏國府記念週で演説

【上海八日發】于右任氏は昨日の國民政府記念週で支那の聯盟脱退や對日宣戰布告は共にいふべくして行はれぬものだと左の如く述べた

國際聯盟脱退には二ケ年の豫告を必要としそれ迄規約を守る義務あり且つ聯盟は現在支那を支援し日本を制肘する唯一の機關であるから聯盟國として自國の立場を闡明しその援助を得る事が絶對必要である、對日宣戰布告問題は國民的熱情の發露で政府も考慮したが、日本が宣戰を敢てせざるは國際公約の責任を避けるためである、支那が若し宣戰を布告せば國際平和の破壞者として制裁を受け領土主權の維持も出來ない、即ち對日宣戰はいふべくして行ひ難い【寫眞は于氏】

日本勝てり
紛爭解決案の印象

【パリ七日發】本日聯盟理事國秘密十二ヶ國會議が到達し得た日支紛爭解決案については一般に日本が勝てりとの印象を與へ、起草委員會の中心たりし英代表セシル卿自身すら「我々の失敗は事實だ」と述懐し某理事國代表は「若し聯盟が來年二月軍縮會議召集を希望し來らば余は今回斯くも無力なりしを思ひ起し回答せねばなるまい」と述べ一般軍縮會議につき悲觀的觀測を下すに至った、なほ連日に亘る心勞著るしきためブリアン議長は目下休養に努めてゐる

北平學生團

【上海七日發】南京來電、示威運動で檢束された北平學生團は今朝その非を悟り嚴重警戒の下に浦口に護送せしめ津浦線で北上歸平せしめた

ガラ空きの外交部
顧維鈞部長以下職員行方不明
學生運動を恐れて

【上海七日發】南京來電によれば既報の南京、北平、上海の各學生は支那鐵道の大幹線たる津浦・京滬兩線を完全に杜絶せしめ、一方學生の面會強硬に恐れをなした顧維鈞外交部長は自己の威嚴どころか生命の危險を感じ朝來姿を隱し一國大臣の要職にある者が行方不明を演ずるに至った、その他の外交部職員も姿を見せず外交部はがらあきでホースを持った消防夫と巡警兵隊を以て物々しく警戒してゐるがこの二日間新聞記者や學生がその行方をやっきになって探してゐる

不法學生逮捕

【南京七日發】蔣介石氏は本日北平學生の釋放を請願する南京學生團と會見し「爾後學生運動にして不法行爲と認むる時は容赦なく逮捕すべし」と言明した尚監禁された北平學生の中百八十五名は既に北平に護送された

外交方針を學生に説明

【上海八日發】學生の請願運動は政府の嚴禁も何等の效なく北平學生の南下と相俟って濟南學生二千五百名も官憲の勸告を斥けて乘車を強要しつゝあり、其一部は既に徒歩で南下を開始した、斯くて全國各大都市の學生も之に倣ひ而も其の背後には恐るべき共産系の活動もあり政府攻撃運動より何時反政府運動に變るやも知れざる形勢にあるので國府教育部は各學校に政府の外交方針殊に中立地帶問題、日支直接交渉説に對し支那側の強硬的既定方針を説明せしむる事となった

通遼、鄭家屯で學良別働隊活動
滿鐵線脅威を圖る

張學良は最近遼北蒙邊騎兵第一旅司令部を開魯東方約二十粁の卓里克圖府に又第二旅司令部を通遼西北方約四十粁の達爾漢王府に開設しその別働隊を以て通遼、鄭家屯方面に活動せしめつゝある、右は錦州方面の支那軍と相策應して滿鐵線を脅威せんとするものと觀られてゐる【奉天電話】

張景惠を主席に馬占山に軍事を
黑龍江政府組織交渉

【ハルピン七日發】去る五日チチハルより來哈した黑龍江省民代表十八名は連日ハルピン行政長官張景惠氏に御百度を踏み黑龍江省の新政府組織のため張氏の可及的急速出發を懇望してゐるが、兵馬の權なき張氏は容易に御輿をあげず右顧左眄的態度を持して黑龍江省民代表を懐柔してゐる、その理由は

一、張景惠には兵馬の權なき事
二、差し當り軍費數百萬元の調達に困窮してゐる事
三、東四省の大勢觀望する必要ある事
四、張景惠の意を體して馬占山がその去就を鮮明にしない事
五、馬占山その他萬福麟系の將領との會見が極めて微妙である事

等である、依って某々方面では黑龍江省政府の急速な組織を實現せしむるため七日より馬占山と膝詰談判中であるが之が實現の上馬占山は黑龍江省の全體の軍事を、張景惠氏は黑龍江省政府主席となり專ら政務を執掌する事となるが、この御膳立が實現する迄にはなほ相當の紆餘曲折を經べく果して年内に實現するか疑問とされてゐる他方敗殘せる馬占山軍は匪賊と化して各地において放火掠奪の惡虐を恣にしてゐるのでチチハル方面の日本軍はチチハル政府が完全に組織される迄は已むなく駐屯さるべく年内の撤退は困難と見られてゐる

行財政審議會

【東京八日發】臨時行政審議會は八日午前十時開會昨日の閣議で決定した税制整理案につき審議した

人事

▲今津十郎氏（大連商業銀行重役）八日入港はいかる丸にて歸連
▲今尾登氏（大每社員）同上
▲大藤敏三氏（關東廳醫官）同上
▲中野醇氏（國際運輸東京支店長）同上
▲船津辰一郎氏（在華日本紡績同業會理事）八日入港長春丸にて來連
▲神田正雄氏（前代議士）同上

蛇角

皇后、皇太后兩陛下より御下賜の繃帶、十日奉天到着の豫定、畏し。

◇

南下した北平學生團、說諭されて歸平、此手合はそれで氣が濟むで收まるは必定。

◇

馬占山援助の上海學生團も、北平まで寄こして說諭すれば、それで收まるは必定。

◇

顧部長以下行方不明、南京外交部ガラ明き、學生の強制請願を恐れた結果だ、こんな手合を相手に日支交渉は到底出來ない。

◇

錦州中立地帶案も、天津國際管理案も共に立消え、第三國人の入込みさうな案は消えたがよし。

◇

國際聯盟理事會決議を急ぐ、事件の解決とは自ら別問題。

◇

淺間山近來稀な大爆發、何を怒るか、何を豫示するか。

滿蒙政策協議機關
折衷案作成に努力
けふ各關係者が協議

【東京八日發】滿洲における我恆久策を樹立せんとする軍部側の滿蒙國策確立機關設置に關しては政府並に軍部側において考究の結果國際關係をも考慮して政府に於ては關東都督制を避けて滿鐵、關東廳、朝鮮總督府、外務及び軍部を一丸とした滿蒙委員會を設定せんとの議があるが、軍部側の意向は政府の意向と多少の懸隔があるので政府としては軍部側の意向通りに該委員會設置を躊躇する者があり、その結果前後の情勢よりして政府においては極めて讓歩的なる會を設置して關東長官並に滿鐵總裁は單に顧問として該委員會に臨ましめんとする意向を有してをり八日各關係省と協議の上軍部案と妥協し得る案を得るに至ったならば九日の定例閣議で各閣僚の諒解を求め之が實現に努めんとするもの、如くであるが其實現性は國際關係も考慮して相當危ぶまれてゐる

韓軍平津乘込準備
兵を河北省境に集結中

【天津七日發】韓復榘氏は蔣介石氏より東北軍の錦州守備を支援するため河北省境に兵を移動すべしとの命令を受けたと稱しその部隊を德州より滄州に集結しつゝあり、一方滄州にある丁喜春軍の一部も之に呼應して既に兵變を起こした、これは韓氏の平津乘り込みの準備行動と見られてゐる、斯くて張學良打倒の火の手は津浦線方面より擧げられ各方面に波及するものと信ぜられてゐる

蔣介石氏北上決意
兩三日中出發か

【上海七日發】當地に達した信ずべき情報によれば廣東の代表會議は蔣介石氏が下野を實行せねば代表を南京に派遣せぬ事に決定しその旨南京に通告し來ったので蔣介石氏も愈々せつば詰つて先般の宣言を實行する名目で北上する決意を固め國民政府主席と行政院長を林森氏に臨時代行せしむる事とした、蔣氏は兩三日中に出發すべく目的地は河南の鄭州だといはれてゐる

駒井顧問一行
馬占山を訪問

【海倫七日發】馬占山と會見の爲め七日朝ハルピンを出發した駒井顧問金谷一等主計總領事館警察署員、新聞記者等の一行十九名は昨夜來降りしきる粉雪を衝いて呼海鐵路で本日午後五時無事海倫に到着し直に馬占山と會見した

東亞の謎（144）
國枝史郎　插畫　伊藤順三

危機から危機へ（十七）

洋子がピストルを撃ったのであった。

洋子は蒙古人に擔がれた瞬間、ハッと思って氣を失って了った。

さうして失心から醒めた時には依然として蒙古人に擔がれて居り、しかも是迄來たこともない、喇嘛寺院の堂内にゐた。

（どうしやう？）

と彼女は先づ思ひ

（逃げなければいけない）

と續いて思った。

その次に彼女は上衣の内ポケットに先刻日本人組から贈られた、ピストル一挺にひそめて贈られた、ピストルのあることに氣がついた。

そこで彼女はピストルを引き出し、殆ど夢中でぶっ放した。

これは非常に效果的であった。蒙古人達は狼狽し、て思はず洋子を放して了った。

洋子は立ち上るともう一發、一人に向ってぶっ放した。

彈丸は中りはしなかったが、蒙古人達は逃げ出した。

で、洋子も堂から飛び出し、廣い空地へ現はれた。

併し洋子は思ひ返した。

（蒙古人達も空地を走ってゐる。其方へ自分が走って行ったら、とっ摑まへられまいものでもない。反對へ逃げて行かう）

そこで彼女は堂の奥を目差し、引っ返して走り込んだ。

すると何うだらう堂の奥の方から、凄じい人聲や物の音が起こり、此方へ押し寄せて來るやうであった。

（あぶない〳〵、行っては不可ない、何か危險があるらしい）

彼女はギョッとして立ち竦んだ。奥の騒ぎはだん〳〵烈しくなり次第に此方へ移って來るやうであった。

洋子は後へ引っ返した。

さうして堂の出入口に立った。

と、一人の人間が、空地を走って行く蒙古人達の方へ、何か叫び乍ら走って來たが、四人の蒙古人達はその人間を見ると、地へ跪いて叩頭し出した。

それを見てゝその人間は、洋子の方へ走って來た。

それはヤポン、ダットであった。しかし距離が遠かったので、洋子には何物だか解らなかった。

いや、自分を捉へに來る、蒙古人の仲間だと感違ひした。

そこで彼女は復奥を目差して走った。

その奥の輪生堂では、凄まじい騒動が起ってゐた。

也速該は一聲悲鳴を上げたが、抱いてゐた小夜子を手から放した。で小夜子は寳座から、礫のやうにころがり落ちた。

その時には也速該は寳座の上に文字通り魔王のやうな獰猛な姿で咆吼しながら立ってゐた。見れば右の手で左の肩を、摑むやうに押へてゐ、其處から血が流れ出てゐた。

次郎の撃った彈丸が、そこへ命中したのであった。

也速該は幾度か咆吼した。

その咆吼に正氣づき――最初は意外の出來事のために、茫然としてゐた喇嘛僧達が、一齊に飛び上がって喚き出した。

侍女達も飛び上がって喚き出した。

彼等は伯と次郎とが、蒙古兵の姿をしてゐるので、事實城内の蒙古兵だと思ひその亂暴を内亂的行爲とな、叱り警める爲めに喚鳴ったのであった。

しかし遂々也速該は、二人の正體を見破ったらしかった。

牛心臺、賊に包圍されて 派出所停車所全燒す
わが警官隊四名死傷

牛心臺(溪城鐵道終端驛)の殘留部隊有馬警部補以下八名は賊團と交戰、必死に應戰しゐるが賊團は約百數十名となり攻擊猛烈を極め警官隊は苦戰に陷り、牛心臺は遂ひに賊團に包圍され殘留警官隊のうち金巡捕長及び劉、闞の兩巡捕は即死、有馬警部補、高橋巡查は重傷、また同地派出所及び停車場は賊團のため放火を受け全燒した【奉天電話】

牛心臺の派出所に 二萬圓と拳銃要求
警官隊が搜查中衝突

牛心臺復興公司杉山義正氏を拉去したる賊團の行方は本溪湖殘留部隊の本溪湖司法主任有馬警部補以下八名が極力搜查の結果、杉山氏が賊團に拉去された途中出會つて同じく拉去された王嗣溝居住の支那人を使者として牛心臺派出所に十日迄に金二萬圓、ブローニング拳銃十挺、彈丸一千發を牛心臺東北方十五支里の大柳灣まで持參せよと脅迫し來つた、同使者につき嚴重取調の結果賊は約九十名にして各自長銃を所持してゐる、右要求に應ぜざれば直に牛心臺を襲ひ同地を全滅に歸せんと豪語してゐるので賊團の行動を極力內偵中、

本溪湖警官隊 賊團を擊退
奉天撫順からも救援

八日午前六時四十分牛心臺に於てわが殘留部隊と兵匪と交戰中なり

この急報により本溪湖署長以下現場に急行した【奉天電話】

約百名からなる匪賊團は七日來牛心臺炭礦及び停車場を占領し形勢益々不穩となつて來たので本溪湖のわが警察隊は八日午前六時四十分これを討伐に向ひ交戰一時間半の後擊退、目下紅瞼溝炭坑方面に追擊中、また牛心臺の急報に接して奉天署から警部補以下九名、撫順署から警部補以下六名は武裝を整へ應援のため現場に急行した【奉天電話】

討伐主力隊 引揚げ後
八名だけ殘留

七日朝牛心臺を襲つた賊團は百名の兵匪が合同したもので三日夜牛心臺、紅瞼溝の村長敬吉春方に侵入して金品を掠奪しその後我軍の動靜を窺つてゐたもので自警團の休息を知り百名の賊は襲八時紅瞼溝復興公司事務員刈谷一郎方を襲ひ留守中の母ミヨと公司監督杉山義正を脅かし金品を要求、現大洋三十元時計一個着物二十枚を掠め盛んに發砲した、杉山は急を牛心臺派出所に告げたが、人質となり賊は東北の山へ逃げた、本溪湖署警官三十五名、守備隊二十五名と闘り午後一時賊を追擊したが遲く賊影を見失つた、同地に警部補以下八名を殘し午後六時主力は一先づ本溪湖に引返した【奉天電話】

甘井子を見學

目下入港中の練習艦隊士官候補生百七十名は八日午前十一時南島丸にて甘井子埠頭を見學午後三時歸艦した

下賜の繃帶を 捧持し奉天へ

【東京八日發】皇后皇太后兩陛下より下賜の繃帶は梶井陸軍省衞生課長が捧持して七日午後九時四十五分東京驛發滿洲に赴いた來る十日奉天到着の筈である

大宮御所へ 兩陛下行幸啓
御土產品を御贈進

【東京八日發】天皇皇后兩陛下には八日午前十一時半宮城御出門、一木宮相其他供奉員を從へさせられ自動車鹵簿で大宮御所に行幸啓、皇太后陛下を御訪問過般の大演習御統裁引續き地方御巡幸遊ばされたる御挨拶を述べさせられ御土產品を御贈進午餐を御會食午後も種々の御歡談遊ばされ同三時半大宮御所御出門宮城に還御遊ばされた

南支を視察して 各派要人と會談
「海外」社長神田正雄氏來る

雜誌「海外」社長前民政黨代議士神田正雄氏は約四十日に亘り南支各地を視察中であつたが事變後の滿洲視察のため八日入港長春丸にて來連した氏は船中サロンで語る

內地を出發する時支那の要人は恐らく面會もしないし話もすまいといはれて來たが行つて見ると實によく會へて實によく話が出來た、上海並びに長江筋は漢口まで足を延ばし更に福州まで行つて來た、南京では蔣介石をはじめあらゆる要人と會ひ廣東派の人達とも忌憚ない意見を交した、今後はどうしても廣東派と南京派の合作によつて內政の收攬を計るより他ないと思ふがそれ迄には仲々並大抵でない色々な惡い材料がある樣だ、張學良と蔣介石、二人は一寸相撲にはならぬよ、蔣介石の北上說も一種のトリックに外ならない排日貨に對しては最近にいたりその非が大分解つて來た樣な動きにあつた

公太堡農場に 救援隊が急行

公太堡よりの傳書鳩の通報によれば遼西方面よりの兵匪同地農場襲來せんとし危險に瀕してゐるがため奉天警察署では守備隊と連絡し倉迫警部補以下二十二名八日午前十一時自動車で現地に急行した【奉天電話】

淺間山大爆發

【前橋八日發】淺間山は八日午前七時三十分近來に稀なる大爆發し噴煙濛々天に沖してゐる前橋地方は震動物凄く市民は戶外に飛び出した輕井澤は降砂あるも損害は少い模樣である

滿鐵社員二名殉職
敦化東方で支那側狙擊

關東軍司令部發表=滿鐵技術員伊藤萬治、中村綠藏兩氏は吉長吉敦鐵路局の願により敦化東方地區の交通狀況調查中七日支那側より狙擊を受け即死した【奉天電話】

偽警官で 脅迫監禁
小崗子署檢擧

市內沙河口元町一〇九福和興洗布所外交員吳鳳池(三〇)は六日午前七時ごろ市內惠比須町某辯護士事務員方中正(二四)外三名を警官に仕立て小崗子新起街四九魚行商人王炳南(三三)をヘロイン密賣者の嫌疑で引致するからと稱し惠比須町方中正方へ監禁脅迫してゐるのを小崗子署員が探知し七日夜一網打盡に逮捕した

土地事件公判

民政署土地騷擾事件の續行公判は八日午前十時から大連地方法院長島裁判長係り開廷、前日に引續き事實審理の結果、大體被告全部の終了を見るに至つたので午後は辯護士團から證據の申請あつたものを後廻しとし、申請なき部分は結審し檢察官の論告及び求刑ある筈從つて辯護士團の辯論は來る十四十五兩日の豫定である

アットホーム けふ『磐手』で

碇泊中の練習艦隊旗艦磐手では八日正午より大連市官民名士を招待しアットホームを催したが滿鐵正副總裁及び辛島大連民政署長、小川大連市長以下官民多數出席盛會を極めた

春雨の樣な氣狂ひお天氣
平年よりも八度以上も暖かい
鞍山營口以北は雪

數日來のあたゝかさ、十二月の空にしとしとと霧雨が煙り街路樹の楡も青ばみさうな氣狂ひ天氣だ、五日午前十一時の十一度を最高に八日午前になつても未だ六度を降らぬ暖かさ、おまけに綿糸の雨あしがアスファルトを叩く音を聞かうといふ滿洲の十二月懷さしては珍しい風物を見せてゐる、この原因を若草山觀測所では語る

三日前に北滿洲、黃河下流に起つた低氣壓が東進して一昨日の雨から一時落ちついたと見えましたが又八日夜明に渤海方面に小低氣壓が生れた爲め天氣恢復が遲れその爲めに滿洲に氣壓の谷が出來て山東、遼東半島はこの雨となりこの異常な暖さとなつたのです、しかし營口、鞍山以北は雪です、明日頃高氣壓が出て天氣も恢復すると思ひますが溫度もぐつと下つて平常通りとなりませう、去年十二月初旬にもこんなことがあり每年今頃寒さの仲休みが出來るのですがこの頃の暖さは平年より最低溫度八度以上高いです

軍隊の送迎を 一層盛大に
けふ軍人後援會協議

大連軍人後援會では八日午後三時から民政署會議室に於て評議員會を開き今回の事變に鑑み左記事業を遂行のため昭和六年度追加豫算の件を附議する

一、軍隊の送迎を一層壯ならしむる事(日の丸の小旗を作り軍隊送迎の際一般送迎者、主として兒童學生に配布しその行を壯ならしむ)
二、大連を通過する戰傷病者に對し慰問金品を贈呈すること
三、大連を通過する戰死者遺骨に對し花環その他の供物を贈呈すること
四、大連管內在留者にして滿洲派遣軍人軍屬に對し慰問狀又は慰問金品を贈呈すること
五、前項の軍人軍屬にして死傷したる場合弔慰金を贈呈すること
六、第四項の軍人の家庭訪問を爲すこと
七、此際會旗および會名入提灯を作製すること

玩具拳銃で 強盜未遂
遊興中を逮捕

七日午後十時半ごろ市內西崗街支那料理店六二號に玩具拳銃を所持して遊興してゐる擧動不審の支那人があるのを小崗子署員が探知し本署に引致して取調べた結果この支那人は天津生れ當時住所不定王慶貴(二〇)と言ひ去る六日午後六時ごろ小崗子西崗街二十五金融業王鳳山(三〇)方へ偽拳銃で一儲けせんと侵入したが店員袁長禮(二〇)が戶外に飛び出し立ち騷いだため目的を果さず前記六十二號に潛伏中を逮捕されたもので最近西部大連方面を荒す拳銃強盜は此奴の仕業ではないかと目下引續き取調べ中

天津の反日運動巨頭 王を逮捕し取調中
我軍の警備狀況密告

【天津八日發】當地における反日運動の巨頭王某は過般の天津事件中境界線における日本軍の警備狀況並に防禦陣地を詳細敵方に報告してゐたのを探知しわが憲兵隊においては警察と協力、南旭街の新旅社にて難なく逮捕、目下憲兵隊に拘引嚴重取調中

賊の要求を拒絕し 三晝夜決死の奮戰
彈藥盡きて水盃を交はし脫出
華興農場の使用人

【矢】去月廿七日通遼の大倉組農場華興公司に七百餘名の兵匪來襲し同事務所を掠奪、放火せることは既報の通りであるが、賊團と交戰三晝夜折れ彈盡き賊團の重圍を脫出し九死に一生を得この旨奉天大倉組支店に傳令の使命を果した農場番人李某が奉天驛前某旅館(氏名、宿所特に本人の希望により秘す)に訪へば悲壯なる面持で語る

【發】二十七日午後一時頃突如七百餘名の賊團が我農場の二部落に來襲し先づ鮮人小作人を使者として派遣し來り「お前達は支那人のくせに日本人の財產の番をしてゐるとは何事だ農場所有の小銃三百挺彈丸三萬發をすぐ渡せばよし、さもなければ皆殺しにするがどうだ」と迫し來つた、自分等留守番の三十名は鄉巡官長と相談の結果「我等の此處にゐるは日本人のためのみでなく、この地の治安維持に當るためだ、而も此處の守備を委託されてゐる以上縱れてもその義務を完ふせねばならぬ、遺憾ながらその儀はお斷りする」と一同死を決しキッパリと賊團の要求を拒絕した、果せるかな、彼等は時ならずして潮の如く我等の部落を襲擊し來り早くも

【火】を放つた、そして賊團の一隊は部落東方に迂廻して牛舍、種羊場を襲ひ、他の一隊は南方に出て南營子を衝き、此處に二隊相合し我等のゐる事務所を包圍するに至つた、我等は全く高原中の一軒屋に袋の鼠となつた、二十七日午後三時我等三十名は敵に應戰して徹宵警戒翌二十八日夜に及ぶや彼等は事務所と道路一つ隔てた小部落に現はれ一齊射擊を始めた、我等は萬一の場合に用意の塹壕の中に入り交戰々々東側土塀を破壞し事務所內に入らんとする賊三名を殪した、然るに他の一部は既に

【表】門に迫りこれを破壞し內部に侵入せんとせるにより我等は必死に戰つた結果やうやくこれを擊退したが遺憾ながらその時には肝腎の彈丸が盡きて

【砂】仕舞つた、最早これまでだ、たゞこの上はこゝを脫出し三十名中一名でも事の急を大倉組に通報するに決し各々水杯交し銘々に暗夜を利用しその夜脫出した、余は二十九日夜鼠の如く軒から軒傳ひに賊團重圍の部落を脫出東南方の山に逃り着いた、折よくも其處に避難の鮮農家族八名に會合そこで髮を切り辮髮を剃つて苦力に變裝し東南二百四十支里の打通線甘旗卡驛に無我夢中で驅けつけた、その間六日、初めて人家なきところをえらび踵を續けること二晝夜、とても單紙に盡せぬ艱難苦行であつた、余が部落を離れる時後方にサツと火の手の揚つたのを見たが事務所も遂に賊團にやられたなと思つた、三十名中八名は余と同樣奉天に着いたが後はどうなつたことやら、また同地には四百からの

【鮮】農がゐるが彼等もどんな憂目を見てゐることやら暴虐な匪賊のことだ、想像に難くない、この賊團の隊長は元巡捕長であつた李明亞が王國祥頭目と結託して今回の暴擧を敢てしたので同じ支那人同志でありながらその暴虐は八裂きにしても飽き足らぬ

◇

【勇】敢なる行爲に對し篤く同國に大倉組俱樂部では死を以て農場を守護したこれら中國人使用人の事變後の日支協助美談として當地一般の話題にのぼつてゐる【寫眞は華興農場牛舍の一部】【奉天電話】

不景氣と人心の緊張に 忘年會お流れ
年の瀨に喘ぐ花柳界

不景氣と滿洲事變とがカチ合つて一九三一年の暮は先づ花柳界に深刻な悲鳴が揚つてゐる、例年だと師走も十日に近づく頃になれば嚴芳亭、淡月、湖月の宴會料理屋は滿鐵、傍系會社、市中一般の會社銀行の忘年會申込みで、五六十人の宴會は缺かさないといふ活氣を見るのであるが今年は不況のうへに時局が重なり合つて、人心の緊張と世間への遠慮から公の忘年會は未だ一件も申込みがないといふ寂寥さ、檢番のアキ紙に約束で出てゐる藝妓は十人を數ふるに足りないといふ灯の消えたやうな有樣に美濃町筋では青息吐息である

乾干ですと 料理屋の帳場

或る宴會料理屋の帳場の話 每年不景氣だといつても師走に入れば二組や三組の宴會があり藝妓も一流どころです、二、三日前から約束しておかねば出來なかつたものですが、今年は一體どうしたといふのでせう、私の方では滿鐵へ忘年會の注文を聞きにゆきましたところ今年は公の宴會は一件もないよと追ひ歸されました、これぢあ全く同業者は乾干です、藝妓も可哀想に一流の姐さんでも小使に困つてゐる始末で華やかさうに見える我々社會の裏面は火の車ですよ

新酒の仕込み 七千五百石
意氣込む關東州內酒

昨年內地に於いて開催された全國清酒品評會に出品し斷然入賞してその聲價を謳はれまた本秋釜山に於て開催された全鮮清酒品評會に優秀な成績を以て入賞し好評を博した關東州酒造組合は來年度は更によりよき優良酒を釀造すべく組合員は何れも一段の馬力を加へ原料米の精白その他に細密の注意を拂ひ仕込みも着々進捗中であるが今シーズンの仕込みは七千五百石と云はれ五年度シーズンの仕込みに比し一千石增加の見込みで、既に檢査施行中であるが檢査酒のものの既に十本以上に達し前年に比し成績また極めて良好で、來年東京において開催される全國品評會には再び榮冠を期待され組合員の待望また熾烈なものがある

慰問栗募集 滿鮮經濟社では滿洲事變軍警慰問團有志の後援を得て出動皇軍慰問のため慰問品「東亞の勝栗」(一袋十錢、袋每に住所氏名明記)を募集中であるがその第一回發送は五千袋十二月中旬の豫定であると

尾形博士開業 醫學博士尾形一郎氏は今回大連醫院を辭し八日より若狹町三番地にて專門の皮膚病泌尿病の診療を開業した

天氣豫報 九日

北西の風 曇後驟雨模樣

各地溫度

	八日午前十一時	七日最低
大連	六、一	〇、九
旅順	七、二	一、一
營口	零下三、一	零下四、五
奉天	同四、一	同五、二
長春	同八、四	同一二、五

けふの小洋相場(正午)

金百圓は二二〇圓五五錢

暗流阿修羅館 (266)

生田蝶介
挿畫 藤井耕遶

傾く大樹(一)

「すりや父上、眞事でございまするか」

忠徳は、きちんと坐つて、固く握つた兩手を兩膝の上においてゐた。そして、さう云つた言葉は不服らしくひゞいた。

「どうも氣の毒であるが、生家に戻つて貰ひたい」

水野忠友は、これも困つたやうな顏をして何處か遠慮勝ちに云つた。

「いまさらこのやうなことは云へないのだが、事がこゝに至つては……」

「それは、たとへ私の生みの父上がどのやうな惡事をなされたか知りませぬが、それが私に何の關係がございませうや。まして、かうして私が當水野家の嗣子として成長して來ました以上は、田沼家とは最早父でも子でもございませぬ」

「だが、やはり、そこに切つても切れぬものがある。それが品物か何ぞならば、遣ればそれでよい、貰へばもう外方に關係がないとも云へるが、人間はそこが微妙なところぢや、貰つたきり遣つたきりで濟まないことがある。暑さ寒さあけくれには、離れてゐればなほ更、親は子を思ひ、子は親を思ふものぢや、思ふなと云つても思ふたとへ、それが常には自分のことのみを考へてゐるごとく思はれる親でも、何かの時には一層子を思ひ出す。この心持は不思議な位だ」

それはなるほど、いまは、上樣はじめ天下の、知れる程の人は、其方を松平忠友の嗣子であると思つてゐる。と同時に、あれは田沼意次の二男坊だつた、といふことも知つてゐる。な、こゝぢや」

「父上、それでは生みの父が惡事を働いたからと云つて、その子はどの樣な正しいことをしてゐても、どのやうなところにゐてもその罪を負はせられるのでございませうか。父上はいましがた人間は品物とはちがふと仰せられましたな」

「云つた」

「なれば、なぜ、戻すだの返すだのと仰せられます。それでは一人の人間の意思を無視して品物同樣に見たものではないのでございませんか。私一個の意思はどうなります」

「其方は、人間一個の意思にたてこもつて、生みの親を棄ててもよいと云ふか」

「生みの親などはこゝで云ひませぬ、生みの親を棄てる棄てないよりは、育ての大恩ある親を棄てゝ歸ることこそまちがつては居りませんでせうか」

忠徳の眸は怨めしさうに養父を見つめた。

忠友は、どう云つたら忠徳が納得して生家に戻つて行くだらうかと頭をなやましてゐた。

考へて見れば、忠徳には何も罪はないのである。むしろ汚れのない清らかな心をもつて、稀に見る眞面目な青年である。

「この樣な惡人の子が、水野の御家の嗣子として、やがては、このお家をいたゞくといふことが、水野家にとつて、水野家の系圖を穢すことになりますことゝ思ふと、私も堪へられなく思ふのです。父上もそのことを思つておいでになるのでございませう」

今朝も、厩に入つてゐると、それとは知らず使用人たちのひそひそばなし、

(お家の若殿の兄上だよ、お城で殺されたのは)

(さうか、あのづぶッとやられたのが、何でもひどい惡人ちうぢやないか)

(さうだよ、惡人だから殺されたのさ、それに、あの殺された田沼樣の築地屋敷の門前には、田沼父子の阿漕を怨んで、ぶらりと首をくゝつた者があるんだとさ)

(へええ)

(それが恐ろしいものだな、丁度三月たつた、その日、日が丁度同じ日だとさ)

さいふ話を、忠徳は聞いてゐたのだつた。

出動軍人慰問の義捐琵琶演奏會

來る十二、三日滿日講堂で 大連愛吟會が主催

大連愛吟會では來る十二、十三兩日本社講堂に於て出動軍人慰問義捐金募集琵琶演奏會を開催することになつたが、本社では右の趣意に贊成し、これを後援することになつた、風韻雅懷の情緒、勇壯美妙の曲調によつて出兵軍人慰問の義捐金募集をなすことは最も時局に適した催しである、會費は五十錢であるが、愛吟會ではこの會の收入を關東軍司令部に獻金し、慰問の意を表することになつてゐるなほ當日のプログラムは左の如し

十二日 △橘大隊長 錦心流一由椒水 △西郷隆盛 錦心流細川務水 △後寛(下) 錦心流川西祿水 △別れの國歟 錦心流矢吹濟水 △臺灣人 錦心流淺顧水 △常陸丸 錦心流鹽谷幣水 △盡せよ盡せ 錦心流鈴木价水 △北條時宗(橘流旭會) 法秀山江崎旭友 △湖水渡(橘流旭會) 法嶋山徳軍旭一 △身延山と信玄 法日山山田中旭師 △乃木將軍 筑流鍛川筑雪

十三日 △雪晴 錦心流一由椒水 △城山 錦心流細川務水 △壽饅頭 錦心流川西祿水 △吉野落(下) 錦心流淺顧水 △別れの盃 錦心流鹽谷幣水 △廣瀬中佐 錦心流鈴木价水 △項羽(上)(橘流旭會) 法價山加藤旭明 △橘中佐(橘流旭會) 法洸地山上旭靜 △平野の最後 法日山田中旭師 △旅順開城 筑流鍛川筑雪 △九連城 正派橘溝湖城

噂話

大連劇場の正月興行は大藏明石潮の一座で蓋を開ける計畫らしく目下頻りに交渉を進めてゐる樣子▲來春は歌舞伎座がなくなつて大連劇場一つとなつたが、折角舞臺があるのだから常設館がいれものに制限されない樣に劇場としての許可を受けるべく關東廳に出願中である▲まだ許可指令がないらしいが、年內に許可されたら正月興行は目覺ましい活躍を計畫してゐるのでないかと見られてゐる▲大連劇場は來る十一日から曾我廼家一郎一座の家庭劇で忘年興行をするが入場料は一圓と八十錢に小供は三十錢均一であると

華版殉教血史「日本廿六聖人」十九日で會費は五十錢で社員倶樂部で傳票扱ひをなしてゐるが、同映畫會券は八日から十四日まで同映畫上映中の帝國館にも通用すると

協和會館で同胞救濟映畫會

大連基督教聯合婦人會主催大連滿鐵社員倶樂部後援の遭難同胞救濟義捐映畫會は八、九日の兩夜六時二十分から協和會館にて開催・上映々畫は日活秋期超特作品國際豪

本社特選 新棋戰 (其五)

平手 香交 七段 △溝呂木光治
番 六段 ▲山北孫三郎

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	△香	△桂		△金	△角	△王		△桂	△香
二		△飛					△金		
三					△銀	△歩		△歩	△歩
四	△歩		△歩		△歩	△銀	△歩		
五								歩	
六	歩		歩	歩	歩	銀	歩		歩
七		歩		銀		歩	桂		
八		角	金		金			飛	
九	香	桂		玉					香

【圖は五三銀引迄の局面】
△溝呂木氏「持駒」 歩歩
▲山北氏「持駒」 ナシ

△六七金右 ▲五二金
△四五桂● ▲同 銀
△同 銀 ▲四四歩
△三四銀 ▲二二桂
△二三銀成 ▲同 金

【土居八段講評】▲山北君の四五桂の目的は敵四二銀引ならば一旦二筋の歩を交換し、而して中央より攻勢を採らうとの意で、又敵六二銀引なら直に五筋より攻勢を執らうとの良策である。以下銀を犧牲にして敵の二筋の形を亂したのは活氣ある好手段である。

【萩原六段解説】山北氏の六七金右は飛車の活用を廣め陣形を整備してよかつた。次の四五桂は五五歩と指掛け、同歩、同銀左と攻めても五四歩と打たれ、四四銀、同銀で敵より八四角の手があるから、強く四五桂と先手を取つて攻勢に出たのである。その時四二銀又は六二銀でも五五歩と攻めて先手がよくなる。溝呂木氏の四五銀は次に四四歩と突き二二桂打により急戰になり陣形亂れるも銀を取りもどし結局桂得をなさんとする含みで強手であつた。

映畫界の總決算(二) 昭和六年度

▲三月 篤野商會十萬圓の株式組織となる、日活時代劇の新制度マキノで消費組合設置、マキノキネマ株式會社創立總會を開催、嵐寛壽郎東亞と再契約、映寫速度に新制限實施、福井福三郎氏帝キネ常務に就任、ユーナイト映畫配給權平田敬一氏獲得、メトロ社邦文字幕採用、フォックス日本版製作、興行取締嚴重を極め常設館痛手、白井信太郎氏京都撮影所長辭任、東亞京都撮影所の新陣容成る、日本劇場更生の新重役決定

▲四月 田村幸彦氏歸朝、蒲田で健康美男募集、東亞の中部配給紛糾、月形龍之介再度の旗擧げ活動寫眞協會で全國上映米價統一、阪妻映畫をパ社が配給、チヤツプリンの來朝立消、新宿帝都座開館、市都洋畫封切館が三日會を組織、木村普門氏月形プロ所長となる

▲五月 川喜多長政氏渡歐、大阪の館主連が結束して經營難の打開策を講ず、早川雪洲パ社映畫出演の爲渡米、文部省が教育映畫の中で映畫業者と懇談會、團徳麿の擬首で帝キネの騒動、松竹大谷社長母堂逝く、松竹パ社二大チエーン併合

▲六月 東京映畫常設館組合結成河合、坂間提携、蒲田の吉田百人氏マイクの自動移動機完成、東亞キネマ大改革、文部省に映畫教育調査會生る、地方常設館不況で閉館續出、河部五郎日活に歸る、新歌舞伎松竹封切場となる、BIP社東洋代表者ウイリアムス氏來朝

▲七月 フォックスが地方常設館經營に乘り出す、日本發聲と月形プロの提携成る、東亞の河崎技師佛デブライ會社へ研究に赴く、皆川芳造氏渡米、松竹電氣課長、櫻井新太郎氏歸朝、名古屋に中部映畫同人組合生る、山縣直代日活入り、帝キネ大改革され堤友次郎氏社長になる、京都檢閲支所問題再燃す、河合トーキー製作中止、大阪府下に上映尺數延長運動起る、舊債償還の根本策成り東亞の大更新

▲八月 ハアリー・ガアスン監督來朝、立石駒吉氏獨立プロで暗中飛躍、石田榮君フイルム引火の完全なる防止裝置完成

▲九月 鈴木傳明、高田稔、岡田時彦外十餘名の蒲田スター松竹を退社、日活愈々トーキー製作を發表、傳明外蒲田脱退組不二映畫を創立、高村正次氏大衆文藝の映畫を創立旗揚げ、傳明等の退社で蒲田新人を抜擢對策を練る、東亞映畫の製作は東活が全部やることになる、東洋寶塚と提携、東活新陣容成る、澤村國太郎東活と提携、全國最初の映畫從業員組合兵庫縣下に結成さる

阪神、京濱行特産物の連絡運賃を引下げ

商船が海運界不況で

基隆、高雄行の運賃新たに決定

深刻なる一般財界の不況は依然さしてその濃度を加へ行くがこれがため荷動きは極度に激減し過剰船腹の増大に正比例して運賃市況の如きは逐日軟化の一途を辿り不況の色を愈々濃くして居る、大阪商船會社では今回逐日軟化し行く海運界の大勢に順應して阪神、京濱行特産物連絡運賃の引下げを左の如く決定し本月三日より實施した

▲關門阪神行連絡運賃（各品百瓩につき）

	舊運賃	新運賃
豆	一七錢	一三錢
大小豆、雜穀	二〇錢	一六錢
麥、蕎麥、粿、胡麻、小麻子、大麻子、蘇子、棉實、撒粕、混合飼料、硫安、骨粉	二三錢	一九錢

▲横濱名古屋行連絡運賃

豆粕	一七錢	一五錢
大小豆、雜穀	二〇錢	一七錢
麥、蕎麥、粿、胡麻、小麻子、大麻子、蘇子、棉實、撒粕、混合飼料、硫安、骨粉	二三錢	一八錢

なほ基雄、高雄等臺灣行特産物の連絡運賃は從來臨時に運賃の取極めを行つたが、今回他航路に同樣運賃率を左の如く決定して近日中實施する筈である

▲基隆高雄行連絡運賃

	百瓩に付
豆粕	一五錢
大小豆、雜穀	同 一七錢
麥、蕎麥、粿、胡麻、小麻子、蘇子、大麻子、棉實、撒粕、混合飼料、硫安、骨粉	同 一八錢

マグネサイト、滑石（一瓩に付き）一圓八十錢、ドロマイド、粘土類、セメント（同）二圓三十錢、銑鐵（同）一圓七十錢

煙臺丸東豐丸河北丸の四船に總計一萬四千三十九噸を積込み同埠頭開始以來の新記錄を出した、なほ今日までの積込記錄は本春三月二十二日の一萬三千五百八十噸で前記總計の内譯は輸出炭一萬二千七百九十七噸、焚料炭千二百四十二噸である、因に萬達、煙臺兩船は大連神戸向、東豐丸にマニラ向、河北丸は清水に向けて出帆したと

今度は滿洲の紡績業務視察だ

此儘ゆけば支那財界に變動

船津辰一郎氏來連談

在華日本紡績同業組合理事船津辰一郎氏は八日入港の長春丸にて來連したが語る

自分はもう外交官でもなければ政治家でもない、今度來たのは全く自分の關係してゐる紡績事業の視察に來たのだ、金州、周水、遼陽の三ケ所に工場があるからその業務視察だ、

上海に　おける日貨は事變後恐ろしい打撃を蒙り殊に紡績業は支那內地における取引一切皆無で僅かに滿洲、南洋、印度に全生産の四割を出してゐるのみである、その他はストックの有樣でやむなく操短を實施しこの難局に當つてゐる工場を閉鎖する事は支那人職工の失業のみならず日本人社員の蒙むる打撃も少くないのでストックは愈々增える一方である、支那側では

日貨に　代るにこれを英國に注文したが急な間に合はないので最近にいたり急に困りだし手數料を拂ふと云ふ事にして今商務總會が抗日救國會に日貨の公賣を要望してゐる樣だつた、さにかく排日は單に日本側が困る許りでなく支那自身も困ると云ふ事が支那商人の頭にハッキリ判つたらしい、目下の上海における日貨のストックは約六千萬テールと云はれ奥地を合して一億テールと云はれるものが固定して動かないのだから恐らくこの儘で行つたら

年末を　控へ財界に大きな變動が起ると云はれてゐる、自分は約一週間位滯滿、この間昔自分が奉天になつた時分の故張作霖顧問だつた本庄軍司令官にもお會ひして慰問の言葉を述べたいと思つてゐる

積出石炭

大連甘井子

新記錄を出す

石炭出廻期に入り昨今の埠頭は漸く殷盛を極めてゐるが、八日埠頭事務所への報告によると甘井子石炭積込埠頭では十二月四日萬達丸

滿洲の賣掛金回收には

相當同情と理解

內地駐在員は豫定通り整理

中村輸組聯合會常務理事談

既報の如く中村輸組聯合會常務理事は內地駐在員整理のため內地出張中のところ、八日朝陸路歸任したが語る

豫定通り整理を行つて來た、個人的にいへば勇退者中にはまことに氣の毒な人があるが已むを得ない、內地の經濟界は御承知の通り益々惡い、一流銀行は極力預金をかき集めて抱へ込んでをりながら

貸出を　嚴重にしてゐるので、年末を控へ、著しく金融難に陷つてゐる、ところで滿洲事件に關しては一般に非常に關心を有つてゐるせいか、關係方面の滿洲地方に對する賣掛金回收についても、事情柄想像以上の同情と理解を有つてゐるのを相當見届けて嬉しく思つた、そこで自分の觀測によれば大節季を

目前に　控へてゐるが、これら賣掛金の回收成行については大して心配するほどのことはないのではないかと思ふ

篠崎大連商議書記長赴奉

東京における日本商工會議所第四回總會並に支那問題常設委員會に滿洲商議聯合會より特派され出席した篠崎大連商議書記長は六日夜陸路歸連したが軍部の委囑に基き東京、大阪、神戸、名古屋、四都市の實業家と會見滿洲問題に就て內地實業家の意見を聽取したのでこれを軍部に報告すべく八日夜發列車にて赴奉すると

委員會を組織して硫安の價格を決定

滿洲産にも除外例

外國硫安の內地市場ダンピングを防止するため今夏來農林、商工兩省方面において考究されつゝあつた一定量を限り手數料を徵收して外安を輸入せしめる所謂輸入許可制度については滿洲硫安とも關係があるのでその後の推移、實施方法等に關し滿鐵側でも注視しつゝあつたが、最近東京、大阪及び臺灣における硫安の

需給狀況　等を約四週間に亘り視察して八日歸任せる滿鐵鑛鐵課の寶珠山雜品係主任は左の如く語る

滿洲硫安は臺灣、朝鮮の植民地硫安と等しく除外例として內地輸入には何等制限を受けないことになつた、輸入許可制の實施に當り一方內地市場の價格を如何にして決定するかゞ最も難問題視され、農林省が先般各製造會社に諮問した生産費の如きも算出の基礎が各社區々で公正なる最高並に最低價格の設定方法につき愼重研究されてゐたが最近に至り農林、商工、大藏、臺灣朝鮮總督府等から代表者を出しこれに民間製造業者の代表を加へた委員會を組織して

價格決定　の審議をなすことに決定した、取敢へず省令で實施することになり來議會にも提出されるだらうがこれでよく懸案の硫安輸入の全國的統制は近く實現することになる製造業者としても農林省の背後には帝國農會や全購聯が控へてゐるので結局これに服するより外ないだらう

魚群の回游狀況をラヂオで速報

關係方面に意見擡頭

文明の利器による魚群回游狀況の速報が內地方面にて著るしく進歩してゐるので、關東州にてもラヂオを應用したいといふことが從來、相當研究されてゐたが、春季になれば靑看たるサバ、サハラなどが豐富に回游するので、明春こそはラヂオを應用したいといふ意見が早くも相當行はれてゐる、而してその方法は水産試驗所の旅順丸から魚群の所在、數量、回游方向などを放送局に通報し、放送局より各漁船に速報することゝすれば、希望漁船において僅少の費用を以て受信裝置をすれば足るから、この方法が最もよいであらうといはれてゐる

金本位制の惱と金爲替準備

(一) 金本位制時代に後る

今日の世界的不況はその範圍や期間や深刻さにおいて、人類が嘗て經驗したものゝうち、一番辛辣なものゝ一つださいつても過言ではあるまい、そしてその原因としては國際的、國內的、地方的などに亘つて大小幾多のものが擧げられてゐるが、數年來頓に注目されだした所謂金の偏在や金の不能化も一つの有力な原因として見逃すわけにゆくまい

◇

この金の偏在や不能化を甚だしからしめた原因も各方面から檢討せねばならぬが、それは要するに、幣制上の建前となつてゐる各國の金本位制度が今日の經濟活動の欲求するところに適合せず、時代おくれのものとなつたのに因るといふ點にある、そして以前においては大體この目的を達することが出來たのである

◇

ところが資本主義經濟が高度の發達を遂げた今日の經濟機構では大分樣子が變つてきたので、必ずしも紙幣の濫發がなくともインフレーションを起すやうになつた、いふまでもなく現代は信用經濟の時代であつて紙幣よりは寧ろ預金さ小切手の時代といつた方がよりよく當はまるそこで紙幣の數量は少くとも信用はいくらでも膨脹する

◇

されば現今の金本位制度は紙幣の濫發防止は出來てもその他の信用膨脹を有效に統制することは出來ないのであつて肝腎の機能が少からず傷つけられてゐるのである、それにも拘はらず各國とも紙幣發行高を氣に挨んで、それが唯一の原因ではないが、それがため國際通貨たる金の動きがさまたげられるやうにしてゐるのである、この意味において金本位制度が時代の遺物だといつても強ち過言ではあるまい

◇

金本位制度の惱みは既に著るしいものがあるが、各國における不況はまのあたり深刻化すばかりだ、英國を初め多くの國において今秋來、金本位制度を停止してしまつた、そしてクレヂットの設立、爲替管理、財政調整、貿易回復、海外投資の回收などにつき總ゆる努力を拂つて正貨の蓄積をはかつてゐるが、なかなか樂觀を許さざるものがある、結局これらの努力と共に貨幣制度につき何らかの改革を行ふことが必要とされるらしく既に幣制改革に關するいろいろの議論が行はれてゐる

◇

金本位制度を停止しない國々も不況に喘いでゐるのは全く同樣であつて、英國などにおける停止を對岸の火災視してゐることも許されず不安にさせられてゐる、佛國、アメリカでさへウナるほど金を抱へ込んでゐながら不景氣に弱りきつてゐる、日本は既に三億圓に上る正貨を現送し、而も再禁止の噂が絶えず傳はつてくる、唯一の銀貨國支那においては幣制の完成どころか創業さへ殆ど見當がつかぬが、幣制改善論は折々われらの耳朶をうつて刺戟してゐる

◇

かくて各國において行はれてゐる金中心、金銀併立、或は纔か金を離さうとするいろいろの幣制論を檢討することは意義あることだと思ふが、餘りに多岐に亘るので、本稿においては、廣義に解釋すれば同じ金本位ではあるが、從來金貨を見返りとする本位制を改善した金本位制度即ち正貨準備に減ぜよといふ觀點から行はれる金爲替準備への考察のみを取扱つてみやう

◇

然らばなぜに金爲替準備問題を選んだのであるかといへば、戰前の金貨本位制度は戰後において益々存在の理由を失ひ、既にあちこちにて正貨準備即ち金準備の縮小のため發券準備として金地金と共に金爲替のみを採用し、中には純粹に金爲替のみを採用してゐるといふ風に現實の問題であり、しかも種々の利害得失論が行はれてゐるからである

獨賠償の支拂ひ繼續不可能

メルヒオル獨代表要求

【バーゼル七日發】國際決濟理事會ドイツ代表メルヒオル氏は、七日ドイツ對外債務に關係ある六國代表に對しドイツ財政及び一般經濟狀態を詳述せる浩瀚な書類を提示し、ドイツの經濟狀態は最も甚だしき窮地に陷つた旨公言せざるを得なくなつたこと、その結果ヤング賠償計畫規定に依る賠償支拂を繼續する事は絶對不可能となつたと述べ關係諸國に至急考慮方を求めた

大連豆信の配當六分

總會は廿四日に開催

大連豆信會社にては既報の如く去る二日の重役會の決定により來る二十四日午後三時より取引所樓上會議室に於て定時株主總會を開催することゝなつた、しかして今期は滿洲事變の突發や爲替の激落等で先物取引の手控へ乃至は夏枯期に當面してゐたゝめ手數料收入には金の三萬六千圓程度の減收を來し、買入減資差益金十二萬四千六百四十五圓も有價證券償却金に充當したので株主配當は前期通り六分即ち舊株一圓五十錢、新株三十七錢五厘に內定目下關東廳へ認可申請中である、因に今期の損益計算書を示せば左の如し（單位圓）

▲收入之部

賣買手數料	二七、九三五、四〇
諸預ケ金利息	六九、四六五、六六
貸付金利息	一七、〇八三、八六
有價證券配當金	三、二三一、〇〇
株式名義書換手數料	二、三六七、四〇
買入減資差益金	一二四、六四五、二五
合計	二六五、六五〇、二〇

▲支出之部

諸税	三九、九一三、二〇
當座借越利息	三二、一三三、一三
取引人身元保證金利息	一二、四五四、〇〇
社員身元保證金利息	二、一一九、四三
有價證券償却金	一一、〇〇〇、〇〇
役員退職慰勞金	三、六〇〇、〇一
雜損金	四四、五八八、〇〇
營業費	一一九、〇〇〇
當期益金	一八〇、七四四、六一
合計	二六五、六五〇、二〇

大連港の雜穀輸出高

十一月中調べ

滿洲重要物産組合調査による十一月の大連港輸出特産物中大豆、豆粕、豆油、高粱の四品を除いた他の諸雜穀の輸出高は左の通りで、前年十一月に比し小豆は四千噸の減少を示したが小麻子は一千三百餘噸の增加で他は差したる相違がない（單位噸）

	本年十一月	前年十一月
包米	一、二〇〇	一、一一一
小米	一八一	四六五
小豆	六、二二〇	一〇、一八六
吉豆	一、七五〇	一、一三六
小麥	一〇	一
蕎麥	一、〇二七	一、一八七
胡麻	三二二	六五
小麻子	二、〇四二	七二一
大麻子	一一二	四四一
蘇子	四二六	四八四
麥子	九三六	六六二
落花生	五、六八五	六、一三七

東洋煙草 二十本入八錢 曙

黄塵

◇…從來中部支那に對する輸出は我國が首位を占めてゐたが十月中のわが對支貿易は第五位に落ちて了つた。

◇…日貨排斥の發展と共に英米獨などが商品の支那市場進出に全力を盡し出した影響からである

◇…無論これは時局の齎す一時的影響でもあるが商品輸出から資本輸出に全力を注ぎだした英國などの商權擴張振りなどをみたら安閑としてはゐられまい。

◇…壓迫された我が商權を如何にして挽回するか、吾等は日支問題の解決と日貨排斥の終熄のみを慢然と待つてゐる譯には行くまいじやないか。

◇…皇軍の貴い鮮血に染められた滿蒙の曠野は新市場として吾等の開拓を待つてゐる、肉彈戰の次ぎは經濟戰だ、吾等は皇軍と等しき意氣を以て商權の伸長に全力を注ぐより外にとるべき道はない筈だ。

市況（八日）

特産

銀高を移し一般軟弱

今朝の定期は銀高を移して軟調を辿り豆粕は保合豆油なく低落を示し高粱また軟した

◇定期前場

◇現物前場

定期喰合高

錢鈔

銀塊昂騰 當市小蹺り

◇定期前場

株式

內地變らず 當市も保合

前場

後場（東新高）

滿鐵株（保合）

商品

麻袋變らず 綿絲反撥

市場電報

銀塊及爲替

棉花

東京期米

神戸期米

大阪株式

東京株式

大阪綿花

大阪綿糸

横濱生糸

印度麻袋

上海爲替情報

上海標金

爲替相場

手形交換高（八日）

奥地市況

各地特産發送高

大連埠頭到着高

貨物在高埠頭